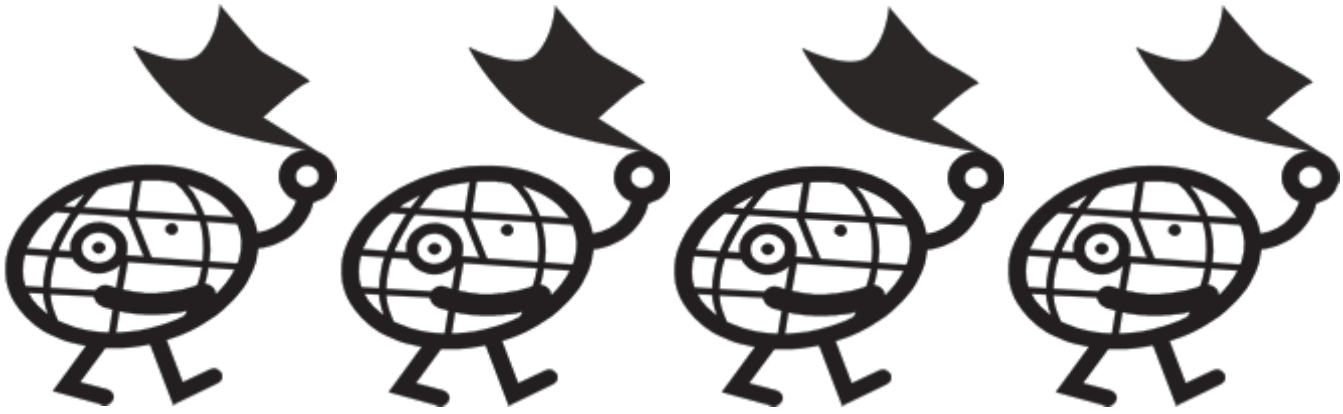
平成 29 年度第４回
新宿区区政モニターアンケート

テーマ１　「めざすまちの姿」の実現のために　～新宿区総合計画～



新宿区総合政策部区政情報課広聴係

目　　次

Ⅰ　調査の概要.....1
１　調査の目的.....1
２　調査の概要.....1
３　集計・分析結果を読む際の注意点.....1
４　回答者の属性.....2
Ⅱ　調査の結果.....5
テーマ１　「めざすまちの姿」の実現のために　～新宿区総合計画～.....5
基本目標Ⅰ　区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち.....5
［１］地域活動.....5
（１）地域活動への参加.....5
基本目標Ⅱ　だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち.....9
［１］人権意識.....9
（１）人権に対する意識.....9
［２］健康.....11
（１）現在の健康状態.....11
（２）がん検診の受診状況.....13
（３）区が実施するがん検診の受診状況.....17
（４）健康診査の受診状況.....18
（５）健康診査を受けていない理由.....20
（６）食育への関心.....21
（７）食べ物の量や組み合わせ.....22
（８）友人・知人との食事.....23
［３］生涯学習.....24
（１）スポーツ・生涯学習等の実施状況.....24
（２）スポーツ・生涯学習等の頻度.....26
（３）活動内容.....27
（４）活動目的.....28
（５）行っていない理由.....29
［４］子育て支援活動への参加.....30
（１）子育て支援に関する活動状況.....30
（２）子育て支援に関する活動内容.....32
（３）子育て支援に関する活動をしていない理由.....34
［５］地域連携による教育.....35
（１）地域連携による教育に関する意識.....35

（２）地域連携による教育活動の認知度 36
基本目標Ⅲ　安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち 38
［１］地域福祉 38
（１）高齢者・障害者の見守りに関する意識 38
（２）「高齢者総合相談センター」の認知状況 39
（３）在宅療養を送ることになった場合、どこに（誰に）相談するか 40
（４）利用したい介護サービス 41
［２］障害福祉 43
（１）障害者の社会参加のしやすさ 43
（２）障害者が社会参加しやすいまちだと思う点 44
［３］生きがい 45
（１）生きがいを感じること 45
［４］防災対策 48
（１）避難場所・避難所の認知度 48
（２）家庭内の防災対策 51
（３）防災対策の内容 52
［５］安全・安心 54
（１）犯罪への不安 54
（２）不安を感じる理由 55
（３）安全・安心のまちにするための取り組み 56
［６］安全な消費生活 58
（１）消費者問題への関心度 58
（２）区の消費生活センターへの相談 59
基本目標Ⅳ　持続可能な都市と環境を創造するまち 60
［１］安全で快適な道路 60
（１）道路の歩きやすさの満足度 60
（２）安全で快適な道路だと思わない理由 61
基本目標Ⅴ　まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち 62
［１］美しいまちづくり 62
（１）新宿区全体の景観に対する区民意識 62
（２）居住地域の景観に対する区民意識 63
（３）新宿の景観づくりに重要なこと 64
［２］地域特性をふまえたまちづくり 65
（１）地域の特性をふまえたまちづくりへの意識 65
［３］公園整備 66
（１）公園の利用状況 66
（２）公園の満足度 67

（３）公園を利用しない理由 68
（４）地域の公園に望むこと 70
基本目標Ⅵ　多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち 72
［１］文化・芸術 72
（１）新宿区の伝統文化や文化財への関心度 72
（２）関心のある事柄 73
（３）文化・芸術に触れる機会の有無 76
（４）関心のある内容 78
（５）「新宿フィールドミュージアム」の認知度 80
（６）文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況 81
（７）どのようなジャンルのイベントに参加したか 82
区政運営の目標Ⅰ　好感度一番の区役所の実現 84
［１］しんじゅくコール（新宿区コールセンター） 84
（１）「しんじゅくコール」の認知度 84
（２）「しんじゅくコール」利用の有無 86
（３）オペレーターの案内について 87
［２］区民意見を反映するしくみ 88
（１）区民意見を反映する制度やしくみの認知度 88
基本政策Ⅱ　新宿の高度防災都市化と安全安心の強化 91
［１］感染症予防 91
（１）手洗い習慣 91
（２）「咳エチケット」の実施 93
（３）食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況 94
（４）ノロウイルス食中毒の認知 95
（５）ノロウイルス食中毒の予防方法 96
基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造 97
［１］新宿駅周辺の回遊性 97
（１）新宿駅周辺の歩きやすさ 97
（２）新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由 98
［２］環境 100
（１）環境配慮のために実施していること 100
基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造 102
［１］多文化共生 102
（１）多文化共生の進捗度 102
（２）多文化共生を進めるために区が力を入れるべきこと 103
基本政策Ⅴ　好感度１番の区役所 104
［１］行政サービス 104

（1）行政サービスの印象 104
Ⅲ　資料（調査票） 109

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、アンケート区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

２　調査の概要

《第４回》	調査対象	アンケート区政モニター　985 名
	調査内容	テーマ１　「めざすまちの姿」の実現のために ～新宿区総合計画～
	調査期間	平成 29 年 12 月 8 日～平成 29 年 12 月 26 日
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	回答数	874 票（回収率 88.7%）

３　集計・分析結果を読む際の注意点

○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
○「ｎ」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
○「ＭＴ」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
○回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第２位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は 100%を前後する場合がある。
○複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがある。
○図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
○クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

（例）		（表現）
80.1～80.9%	⇒	約８割
81.0～82.9%	⇒	８割強
83.0～84.9%	⇒	８割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒	８割台半ば
86.0～87.9%	⇒	８割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒	９割近く
89.0～89.9%	⇒	９割弱

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期　　：40歳未満の独身者
家族形成期　：40歳未満の子どものいない夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人
家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人
家族成熟期　：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
　　（生計を別にした子どもがいる人を含む）
高齢期　　：65歳以上の人（生計を別にした子どもがいる人を含む）
その他　　：40歳から64歳の独身者、40歳から64歳の子どものいない夫婦など

4　回答者の属性

（１）居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　四谷	111	12.7	7　落合第一	85	9.7
2　箪笥町	120	13.7	8　落合第二	98	11.2
3　榎町	86	9.8	9　柏木	73	8.4
4　若松町	85	9.7	10　角筈・区役所	28	3.2
5　大久保	89	10.2	無回答	0	0.0
6　戸塚	99	11.3	計	874	100.0%

（２）性別

選択肢	回答数	割合(%)
1　男性	349	39.9
2　女性	525	60.1
無回答	0	0.0
計	874	100.0%

（３）年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１８～１９歳	8	0.9	9　５５～５９歳	55	6.3
2　２０～２４歳	21	2.4	10　６０～６４歳	44	5.0
3　２５～２９歳	42	4.8	11　６５～６９歳	63	7.2
4　３０～３４歳	70	8.0	12　７０～７４歳	63	7.2
5　３５～３９歳	67	7.7	13　７５～７９歳	53	6.1
6　４０～４４歳	95	10.9	14　８０歳以上	63	7.2
7　４５～４９歳	107	12.2	無回答	37	4.2
8　５０～５４歳	86	9.8	計	874	100.0%

（４）職業

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　会社員・団体職員	308	35.2	5　学生	22	2.5
2　会社役員・団体役員	41	4.7	6　専業主婦・主夫	127	14.5
3　パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など	130	14.9	7　無職	117	13.4
			8　その他	7	0.8
4　自営業、自由業	82	9.4	無回答	40	4.6
			計	874	100.0%

（５）職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合(%)
1　新宿区内	221	37.9
2　新宿区外	357	61.2
無回答	5	0.9
計	583	100.0%

（６）同居している家族等

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　子	363	41.5	6　兄弟姉妹	44	5.0
2　妻または夫	505	57.8	7　その他	17	1.9
3　親	117	13.4	8　ひとり暮らし	166	19.0
4　祖父母	9	1.0	無回答	43	4.9
5　孫	26	3.0	回答総計	1,290	147.6%
			計	874	100.0%

（７）同居者数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１人	254	38.2	4　４人	38	5.7
2　２人	196	29.5	5　５人以上	24	3.6
3　３人	151	22.7	無回答	2	0.3
			計	665	100.0%

（８）同居している子

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　一番上の子が小学校入学前	88	24.2	4　一番上の子が学校を卒業	113	31.1
2　一番上の子が小・中学生	100	27.5	無回答	12	3.3
3　一番上の子が高・大学生	50	13.8	計	363	100.0%

（９）新宿区での居住年数

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　１年未満	0	0.0	5　１０年以上２０年未満	167	19.1
2　１年以上３年未満	76	8.7	6　２０年以上３０年未満	91	10.4
3　３年以上５年未満	86	9.8	7　３０年以上	289	33.1
4　５年以上１０年未満	126	14.4	無回答	39	4.5
			計	874	100.0%

(10) 住居形態

	選択肢	回答数	割合(%)		選択肢	回答数	割合(%)
一戸建て	1　持ち家の一戸建て	255	29.2	集合住宅	5　分譲マンション・アパート	306	35.0
	2　賃貸の一戸建て	14	1.6		6　賃貸マンション・アパート	188	21.5
	3　社宅・公務員官舎の一戸建て	6	0.7		7　賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	7	0.8
	4　その他	2	0.2		8　賃貸の都営・区営住宅	27	3.1
					9　社宅・公務員官舎	14	1.6
					10　その他	9	1.0
					無回答	46	5.3
					計	874	100.0%

(11) ライフステージ

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1　独身期	44	5.0	5　家族成熟期	46	5.3
2　家族形成期	114	13.0	6　高齢期	242	27.7
3　家族成長前期	99	11.3	7　その他	283	32.4
4　家族成長後期	46	5.3	計	874	100.0%

Ⅱ　調査の結果

テーマ１　「めざすまちの姿」の実現のために　～新宿区総合計画～

基本目標Ⅰ　区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち

［１］地域活動

（１）地域活動への参加

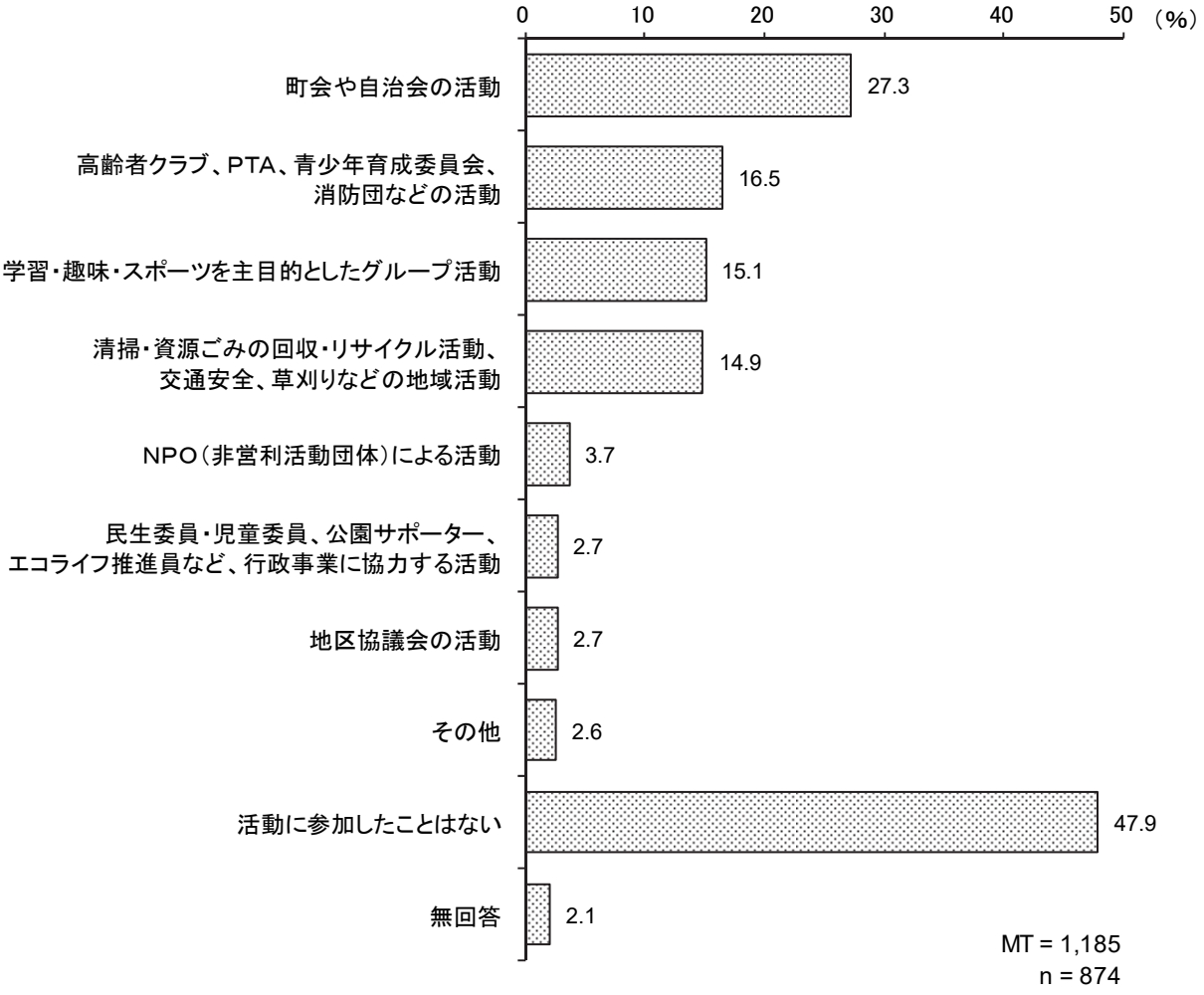
◎「町会や自治会の活動」が２割台半ばを超え、「活動に参加したことはない」は４割台半ばを超える

問１　次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=874）

1	町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）	27.3%
2	高齢者クラブ、ＰＴＡ、青少年育成委員会、消防団などの活動	16.5
3	民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員など、行政事業に協力する活動	2.7
4	学習・趣味・スポーツを主目的としたグループ活動	15.1
5	清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動	14.9
6	ＮＰＯ（非営利活動団体）による活動	3.7
7	地区協議会の活動	2.7
8	その他	2.6
9	活動に参加したことはない	47.9
	無回答	2.1

図１－１　地域活動への参加



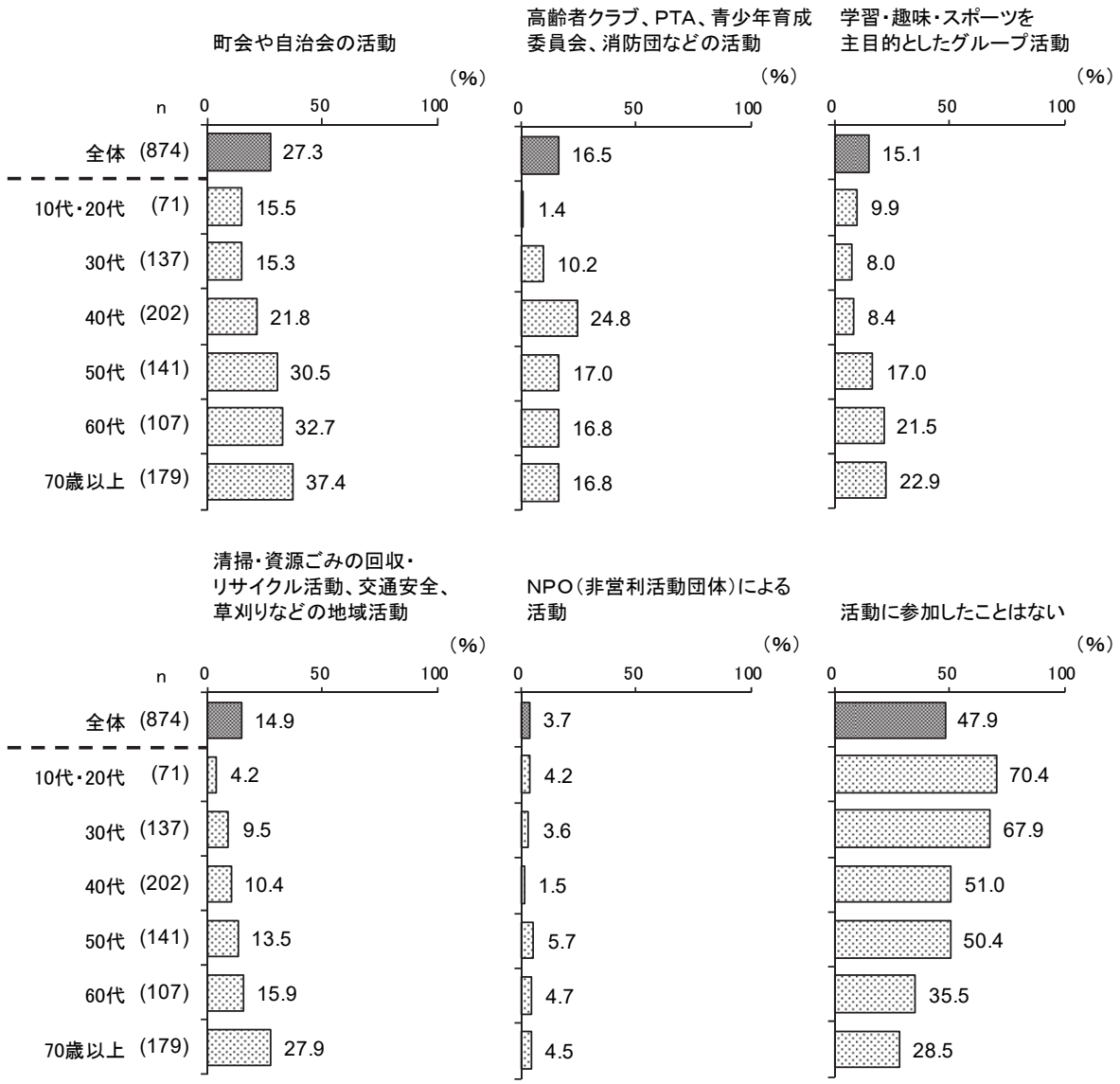
地域活動への参加について、「町会や自治会の活動」（27.3%）が２割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「高齢者クラブ、ＰＴＡ、青少年育成委員会、消防団などの活動」（16.5%）が１割台半ばを超え、「学習・趣味・スポーツを主目的としたグループ活動」（15.1%）が１割台半ば、「清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動」（14.9%）が１割台半ば近くで続いている。

一方、「活動に参加したことはない」（47.9%）は４割台半ばを超えている。（**図１－１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成19年度）	現状（平成29年度）	目標（平成29年度）
地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	地域における自主的なコミュニティ活動の活性化は地域における自治推進の大きな要素となるため	46.0%	50.0%	60.0%

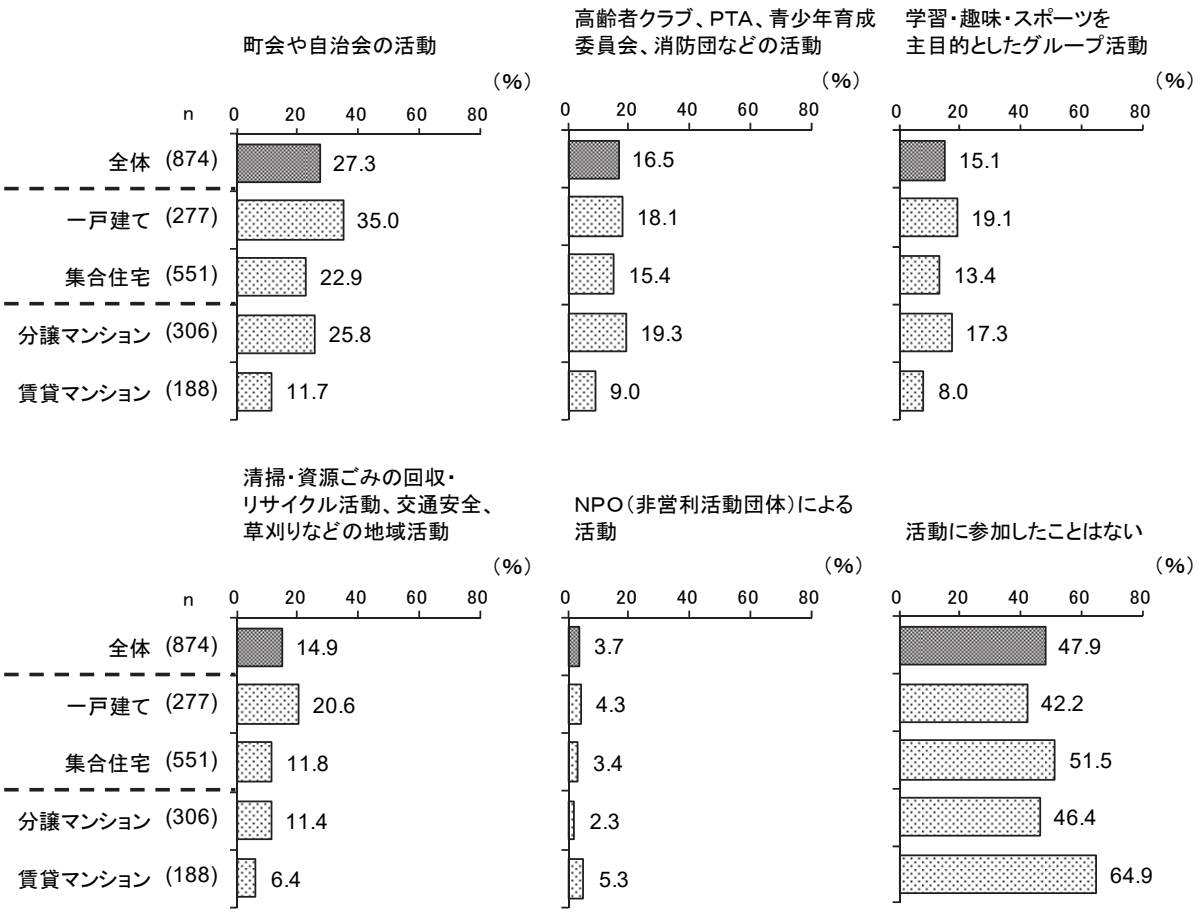
図１－２　地域活動への参加（年代別）
上位５項目＋「活動に参加したことはない」



上位５項目と「活動に参加したことはない」について、年代別にみると、「清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動」では、70 歳以上（27.9%）が２割台半ばを超え、全体（14.9%）を 13.0 ポイント上回っている。

「活動に参加したことはない」では 10 代・20 代（70.4%）が約７割で、全体（47.9%）を 22.5 ポイント上回っている。（**図１－２**）

図１－３　地域活動への参加（住居形態別）
上位５項目＋「活動に参加したことはない」



上位５項目と「活動に参加したことはない」について、住居形態別にみると、「町会や自治会の活動」では、一戸建て（35.0%）が３割台半ばと、集合住宅（22.9%）を 12.1 ポイント上回っている。

「活動に参加したことはない」では、賃貸マンション（64.9%）が６割台半ば近くで、全体（47.9%）を 17.0 ポイント上回っている。（**図１－３**）

基本目標Ⅱ　だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

［１］人権意識

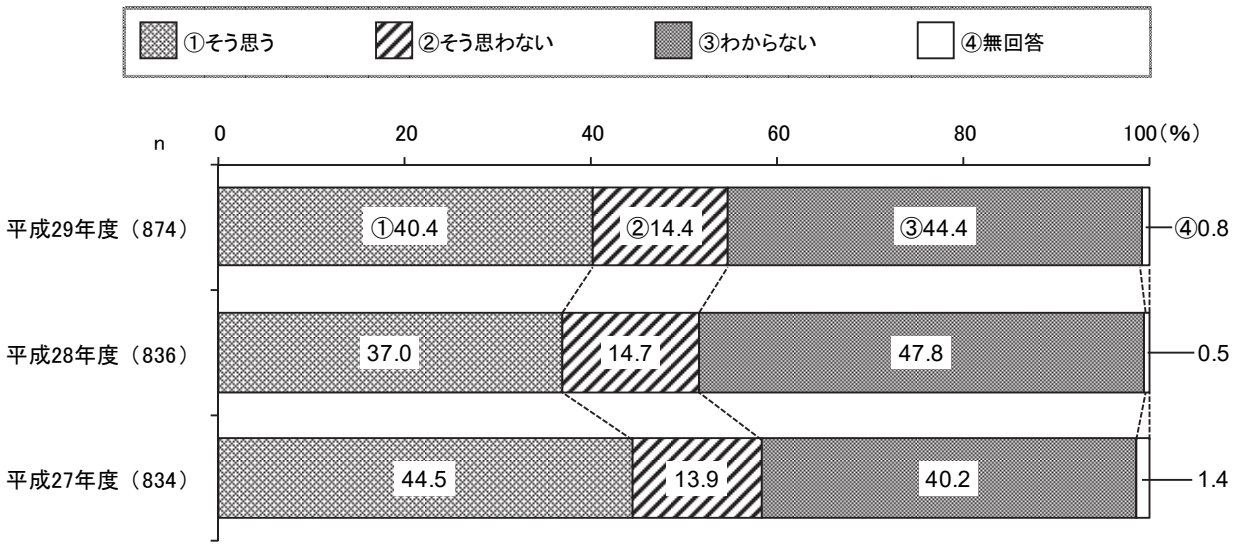
（１）人権に対する意識

◎「そう思う」が約４割

問２　新宿のまちは、性別や障害の有無、信条や職業、国籍の違いにかかわらず、お互いを尊重し、認めあうまちだと思いますか。（○は１つ）

		（n=874）
1	そう思う	40.4%
2	そう思わない	14.4
3	わからない	44.4
	無回答	0.8

図２－１　人権に対する意識（経年推移）



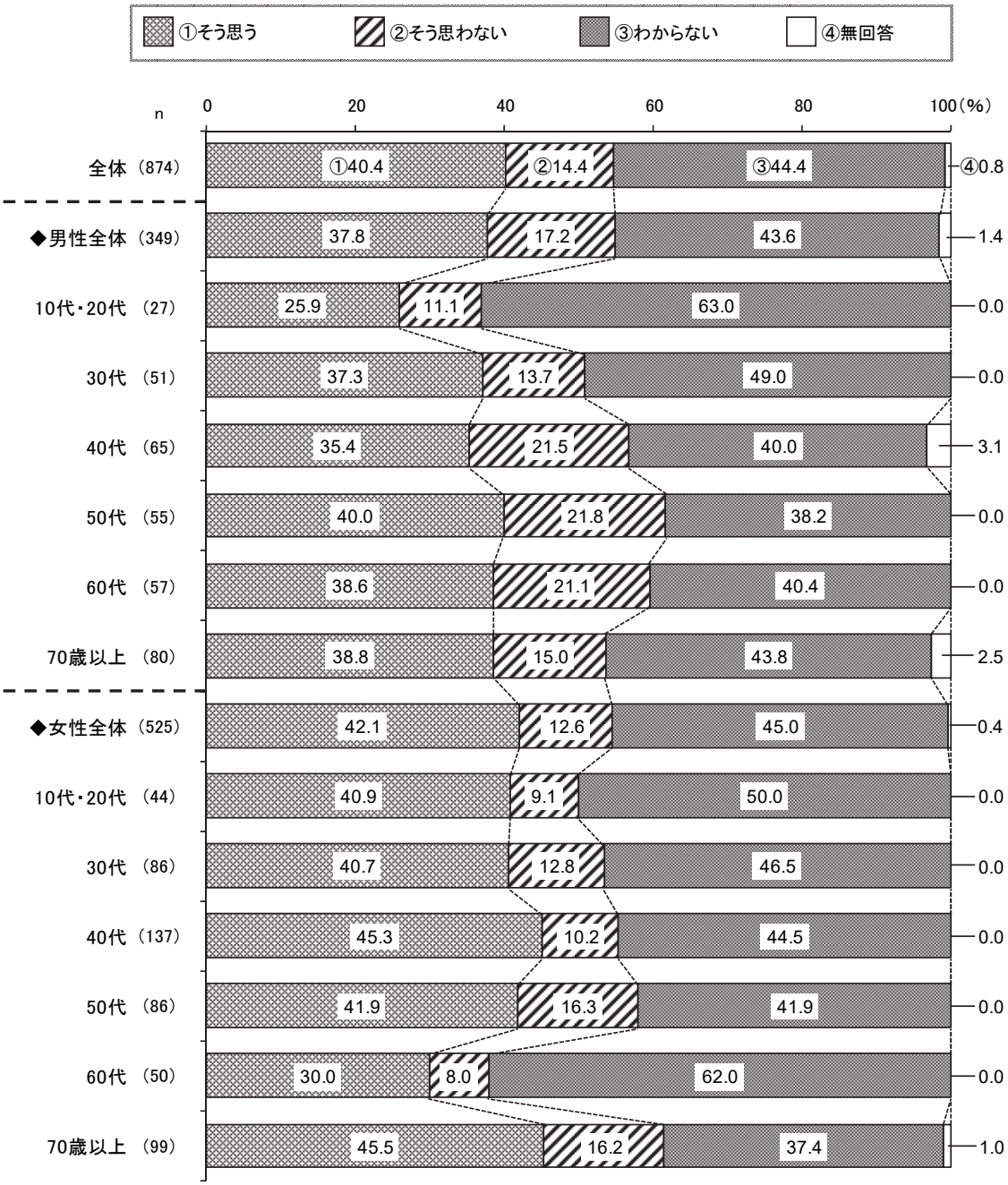
人権に対する意識について、「そう思う」（40.4%）が約４割、「そう思わない」（14.4%）が１割台半ば近く、「わからない」（44.4%）が４割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思う」は、平成 28 年度（37.0%）から平成 29 年度（40.4%）にかけて 3.4 ポイント高くなっている。（**図２－１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
区民の人権に対する意識	性別、障害の有無、信条、職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認め合っていると思う区民の割合	人権を育む取組に対する成果を示すため	29.7%	40.4%	↗

図２－２　人権に対する意識（性別・性／年代別）



性別でみると、「そう思う」では、女性（42.1%）が４割強と、男性（37.8%）を 4.3 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「そう思う」では、女性の 70 歳以上（45.5%）と 40 代（45.3%）が４割台半ばと他の年代より割合が高くなっている。（**図２－２**）

［２］健康

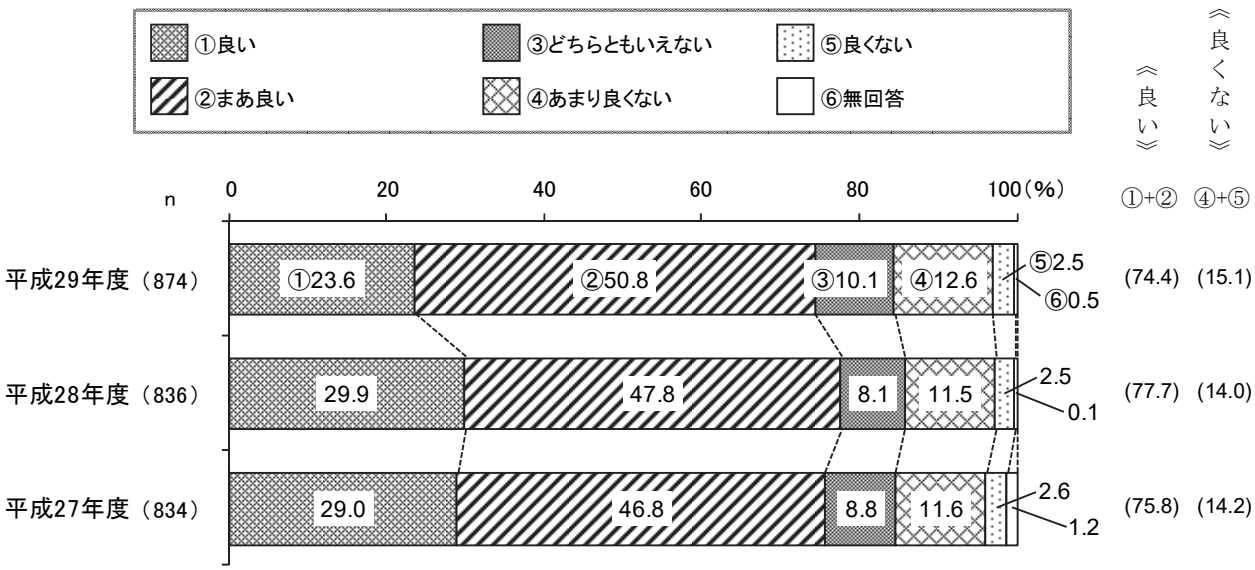
（１）現在の健康状態

◎《良い》が７割台半ば近く

問３　あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。（○は１つ）

		（n=874）
1	良い	23.6%
2	まあ良い	50.8
3	どちらともいえない	10.1
4	あまり良くない	12.6
5	良くない	2.5
	無回答	0.5

図２－３　現在の健康状態（経年推移）



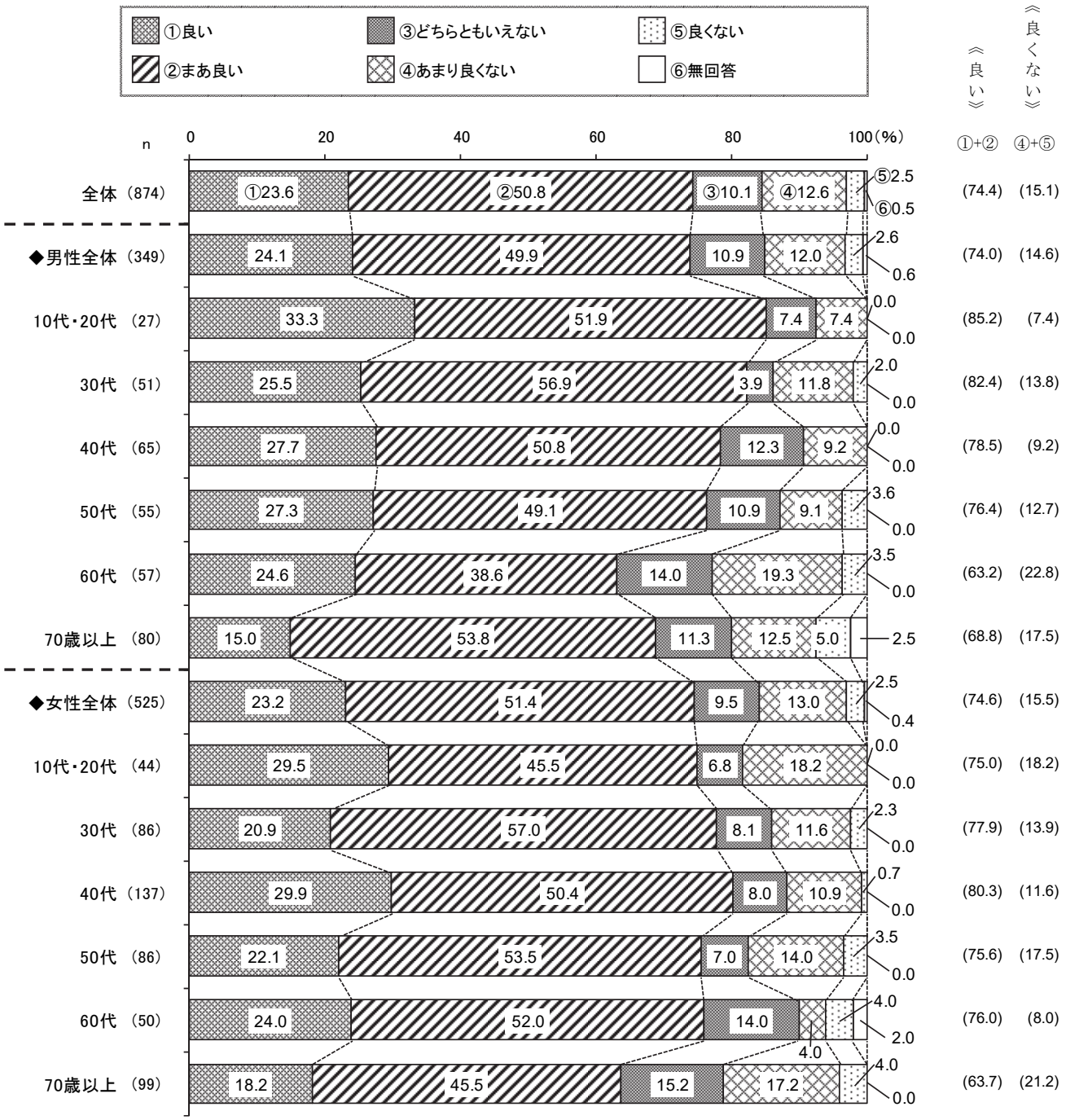
現在の健康状態について、「良い」（23.6%）と「まあ良い」（50.8%）を合わせた《良い》（74.4%）が７割台半ば近く、「あまり良くない」（12.6%）と「良くない」（2.5%）を合わせた《良くない》（15.1%）が１割台半ば、「どちらともいえない」（10.1%）が約１割となっている。

過去３年間の経年推移をみると、《良い》は、平成 28 年度（77.7%）から平成 29 年度（74.4%）にかけて 3.3 ポイント低くなっている。（**図２－３**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
健康に対する状態	現在の健康状態を良いと感じている人の割合	健康づくりに対する区民意識を示す	70.9%	74.4%	↗

図２－４　現在の健康状態（性別・性／年代別）



性別でみると、男女の割合に大きな差はみられない。

性／年代別でみると、《良い》では、男性の 10 代・20 代（85.2%）が８割台半ばと、全体（74.4%）を 10.8 ポイント上回っている。一方、男性では 60 歳以上、女性では 70 歳以上における《良い》の割合が７割未満と低くなっている。（**図２－４**）

（２）がん検診の受診状況

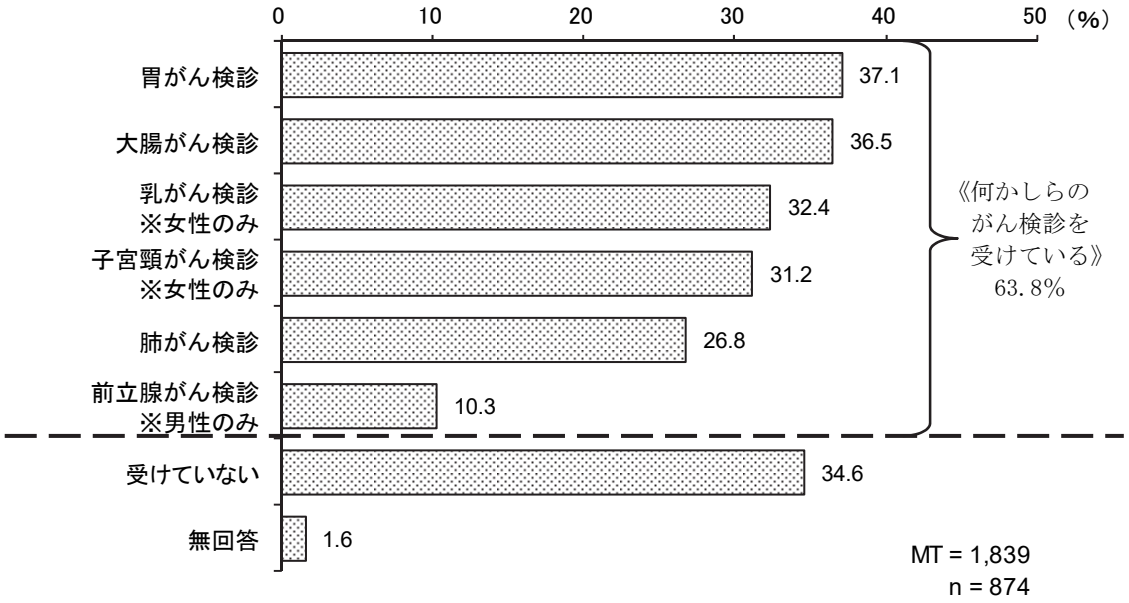
◎《何かしらのがん検診を受けている》は６割台半ば近く

問４　あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=874）

1	胃がん検診	37.1%
2	大腸がん検診	36.5
3	肺がん検診	26.8
4	前立腺がん検診　※男性のみ	10.3
5	子宮頸がん検診　※女性のみ	31.2
6	乳がん検診　※女性のみ	32.4
7	受けていない	34.6
	無回答	1.6

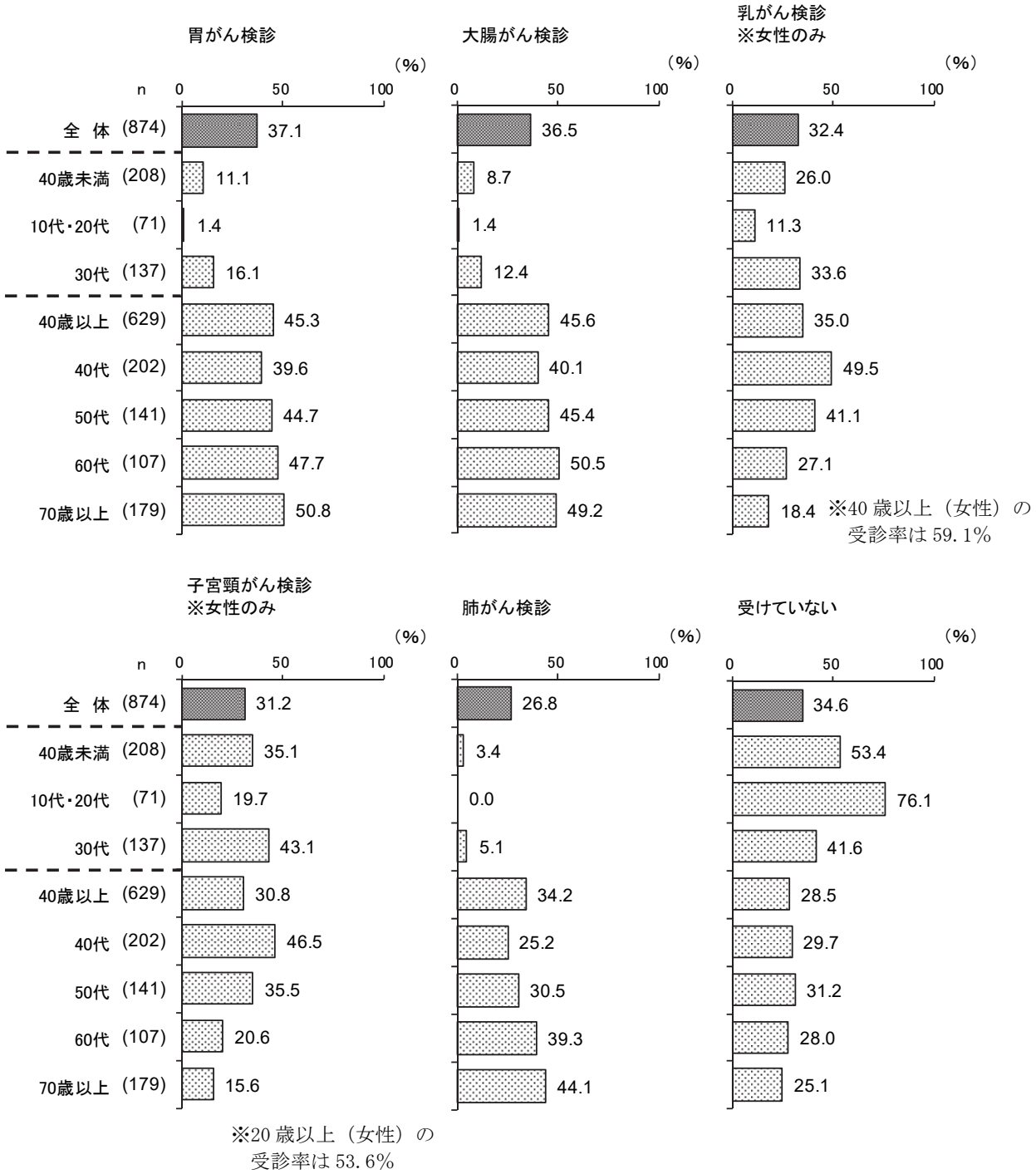
図２－５　がん検診の受診状況



がん検診の受診状況について、「胃がん検診」（37.1%）と「大腸がん検診」（36.5%）がともに３割台半ばを超えて最も高く、次いで「乳がん検診」（32.4%）と「子宮頸がん検診」（31.2%）がともに３割強と続いている。

全体から「受けていない」（34.6%）と「無回答」（1.6%）を除いた《何かしらのがん検診を受けている》（63.8%）は６割台半ば近くとなっている。（**図２－５**）

図２－６　がん検診の受診状況（年代別）
上位５項目＋「受けていない」



※40 歳以上（女性）の受診率は 59.1%

※20 歳以上（女性）の受診率は 53.6%

年代別でみると、「胃がん検診」では 70 歳以上（50.8％）、「大腸がん検診」では 60 代（50.5％）がともに約５割で高くなっている。

なお、厚生労働省の定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省健康局長通知）における、がん検診対象者※についてみると、40 歳以上が対象のがんでは、胃がん検診（45.3％）と大腸がん検診（45.6％）がともに４割台半ば、肺がん検診（34.2％）が３割台半ば近くとなっている。

また、女性のがんについては、40 歳以上が対象の乳がん検診（59.1％）が６割弱、20 歳以上が対象の子宮頸がん検診（53.6％）が５割台半ば近くとなっている。（**図２－６**）

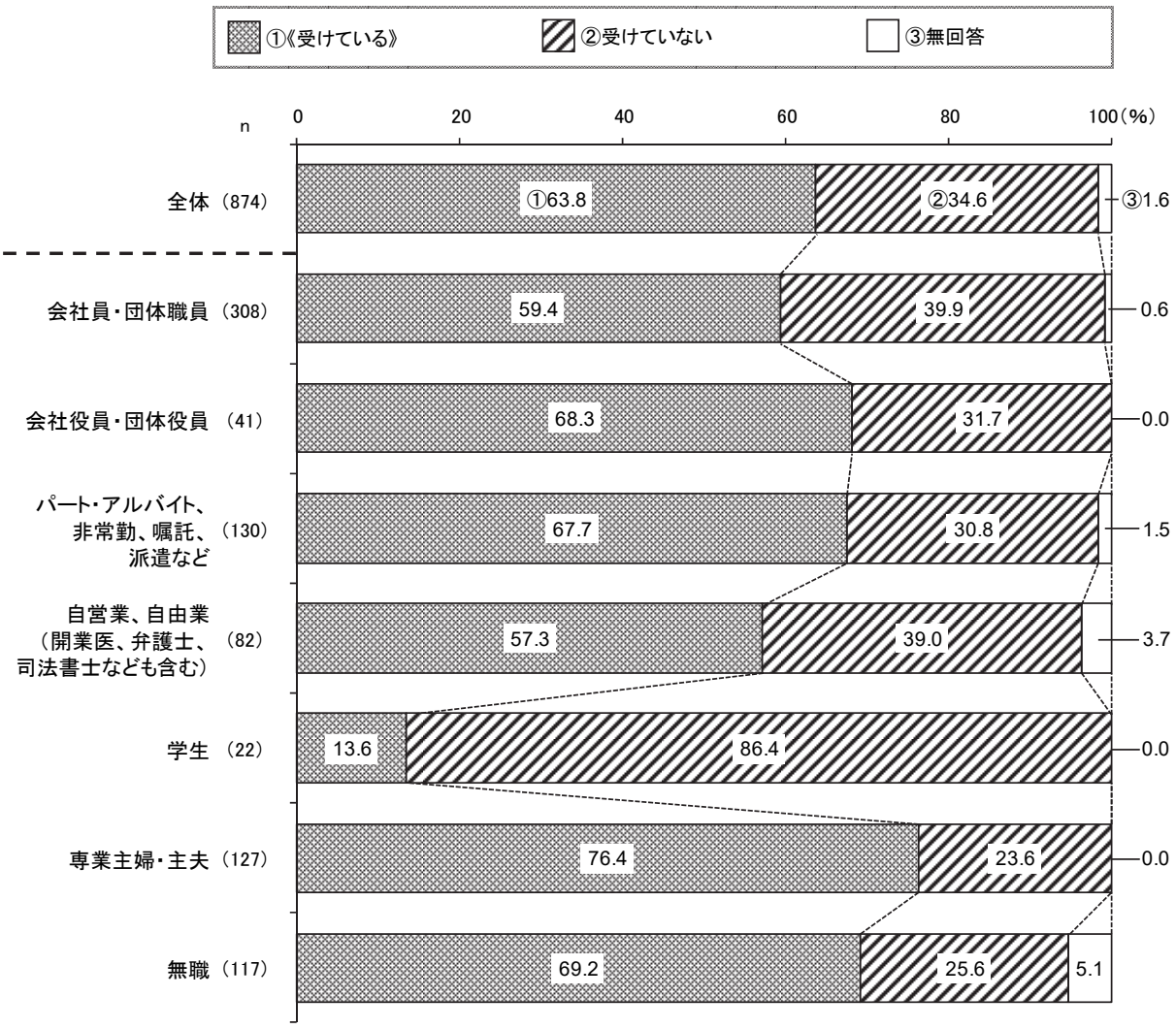
※厚生労働省が定めるがん検診対象者

胃がん検診、肺がん検診及び大腸がん検診：40 歳以上の者

乳がん検診：40 歳以上の女性

子宮頸がん検診：20 歳以上の女性

図２－７　がん検診の受診状況
受診の有無（職業別）



がん検診の受診の有無（《何かしらのがん検診を受けている》か否か）を職業別にみると、《受けている》では、専業主婦・主夫（76.4%）が７割台半ばを超え、「無職」（69.2%）が７割弱、会社役員・団体役員（68.3%）が７割近く、パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など（67.7%）が６割台半ばを超えている。（**図２－７**）

（３）区が実施するがん検診の受診状況

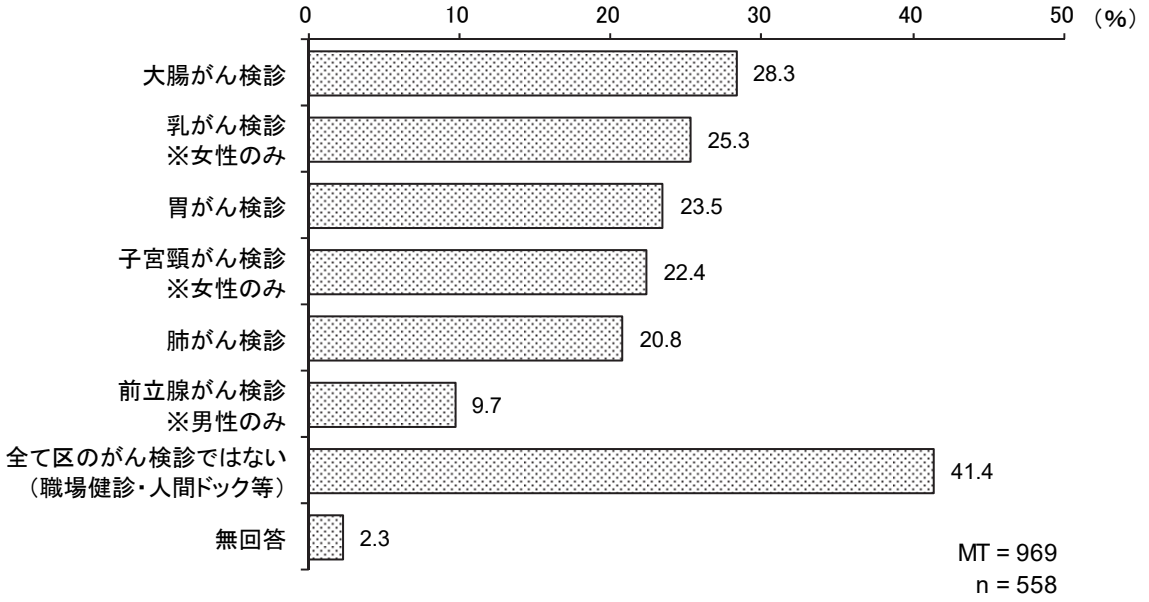
◎「大腸がん検診」が３割近く

問４－１　問４で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
問４のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちどの検診ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n= 558）

1	胃がん検診	23.5%
2	大腸がん検診	28.3
3	肺がん検診	20.8
4	前立腺がん検診　※男性のみ	9.7
5	子宮頸がん検診　※女性のみ	22.4
6	乳がん検診　※女性のみ	25.3
7	全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）	41.4
	無回答	2.3

図２－８　区が実施するがん検診の受診状況



問４で《何かしらのがん検診を受けている》とする回答者における、区が実施するがん検診の受診状況について、「大腸がん検診」（28.3%）が３割近くで最も高く、次いで「乳がん検診」（25.3%）、「胃がん検診」（23.5%）、「子宮頸がん検診」（22.4%）、「肺がん検診」（20.8%）が２割台で続いている。

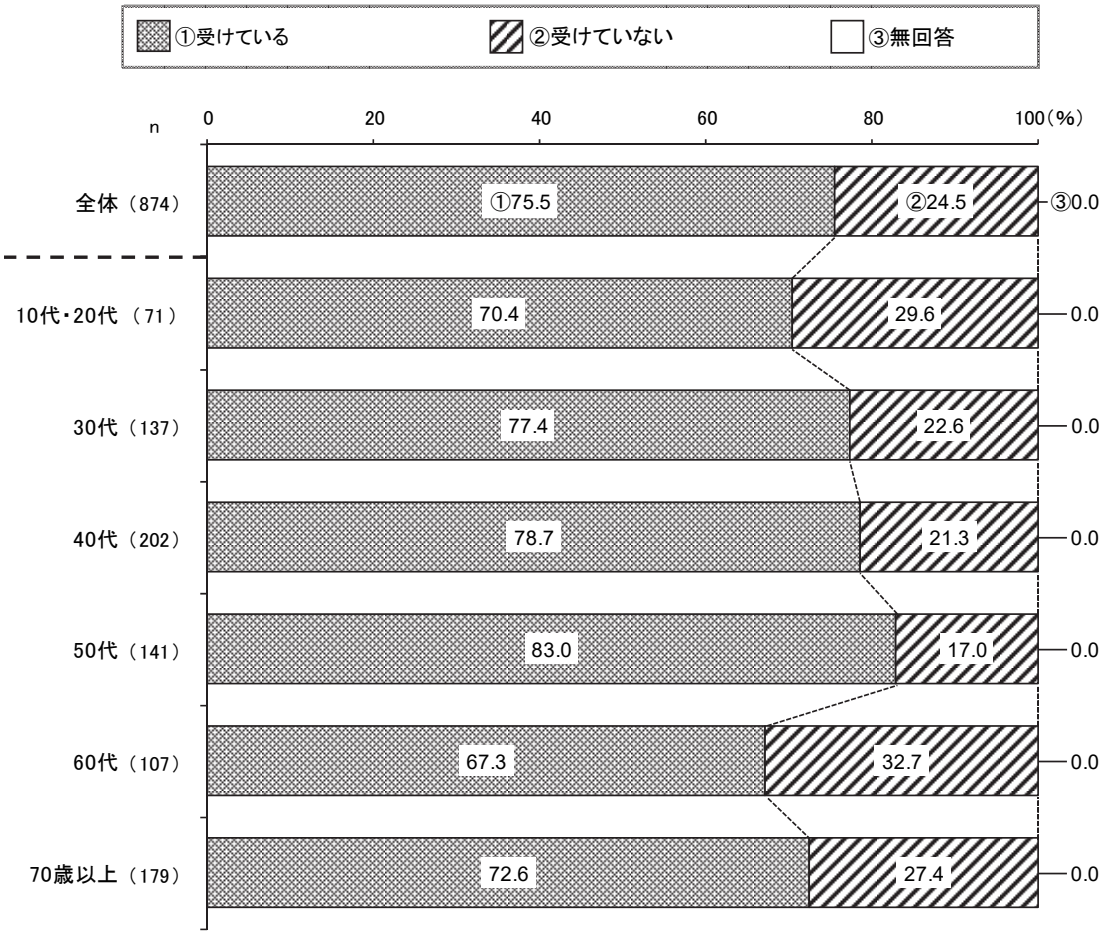
一方、「全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）」（41.4%）が４割強となっている。（**図２－８**）

（４）健康診査の受診状況

◎「受けている」が７割台半ば

問５　あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　受けている	75.5%
2　受けていない	24.5
無回答	0.0

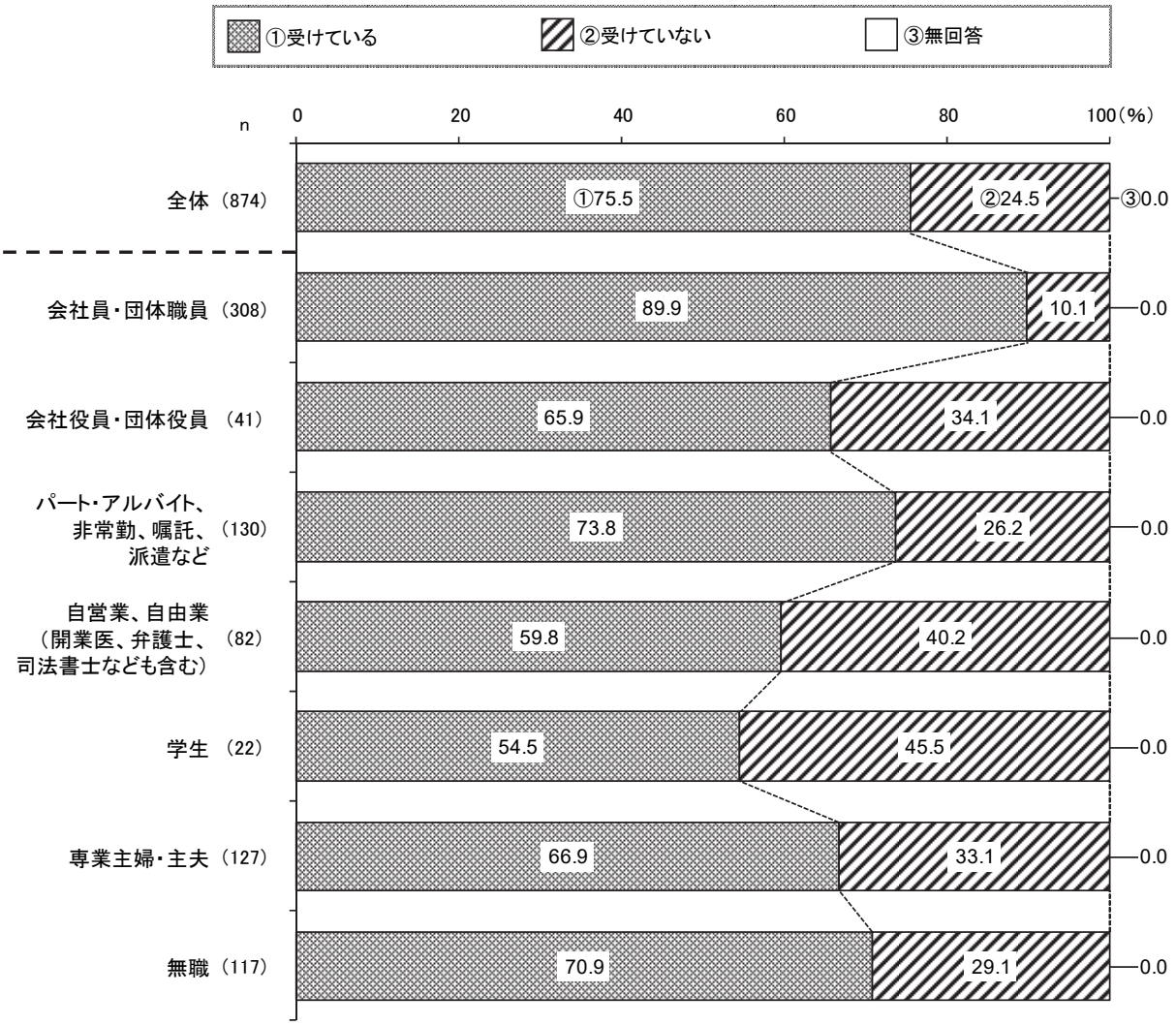
図２－９　健康診査の受診状況（年代別）



健康診査の受診状況について、「受けている」（75.5%）が７割台半ば、「受けていない」（24.5%）が２割台半ば近くとなっている。

年代別でみると、「受けている」は 50 代（83.0%）が８割台半ば近くで最も高く、「受けていない」は 60 代（32.7%）が３割強で最も高くなっている。（**図２－９**）

図２－１０　健康診査の受診状況（職業別）



職業別でみると、「受けている」では、会社員・団体職員（89.9%）が９割弱で最も高く、次いでパート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など（73.8%）が７割台半ば近く、無職（70.9%）が約７割と続いている。（**図２－１０**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成19年度）	現状（平成29年度）	目標（平成29年度）
毎年の健康診断の受診	毎年健康診断を受診している人の割合	区民の健康管理に対する意識と行動を示す	62.7%	75.5%	↗

（５）健康診査を受けていない理由

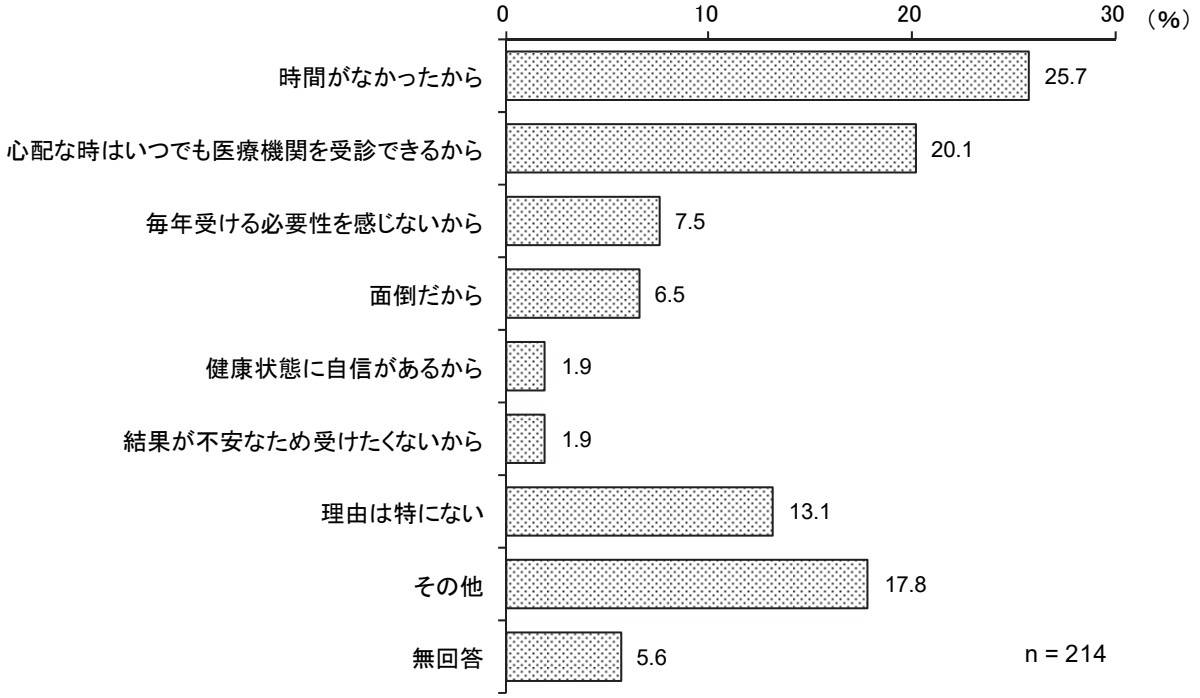
◎「時間がなかったから」が２割台半ば

問５－１　問５で、「２」に○をした方にお伺いします。
受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。（○は１つ）

（n= 214）

1	時間がなかったから	25.7%
2	毎年受ける必要性を感じないから	7.5
3	健康状態に自信があるから	1.9
4	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	20.1
5	結果が不安なため受けたくないから	1.9
6	面倒だから	6.5
7	理由は特にない	13.1
8	その他	17.8
	無回答	5.6

図２－１１　健康診査を受けていない理由



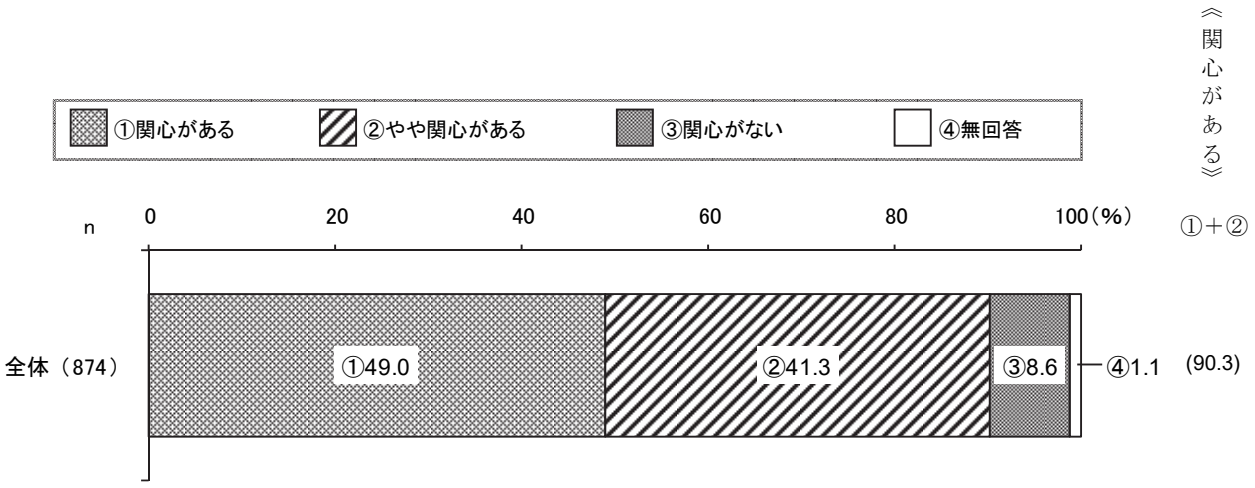
健康診査を受けていない理由としては、「時間がなかったから」（25.7%）が２割台半ばで最も高く、次いで「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」（20.1%）が約２割と続いている。一方、「理由は特にない」（13.1%）は１割台半ば近くとなっている。（**図２－１１**）

（６）食育への関心

◎《関心がある》は約９割

問６　あなたは、食育について関心がありますか。（○は１つ）		
		（n=874）
1	関心がある	49.0%
2	やや関心がある	41.3
3	関心がない	8.6
	無回答	1.1

図２－１２　食育への関心



食育への関心について、「関心がある」（49.0%）が５割弱、「やや関心がある」（41.3%）が４割強、「関心がない」（8.6%）が１割未満となっている。

「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた《関心がある》（90.3%）は約９割となっている。（**図２－１２**）

～参考～　新宿区第三次実行計画・成果指標

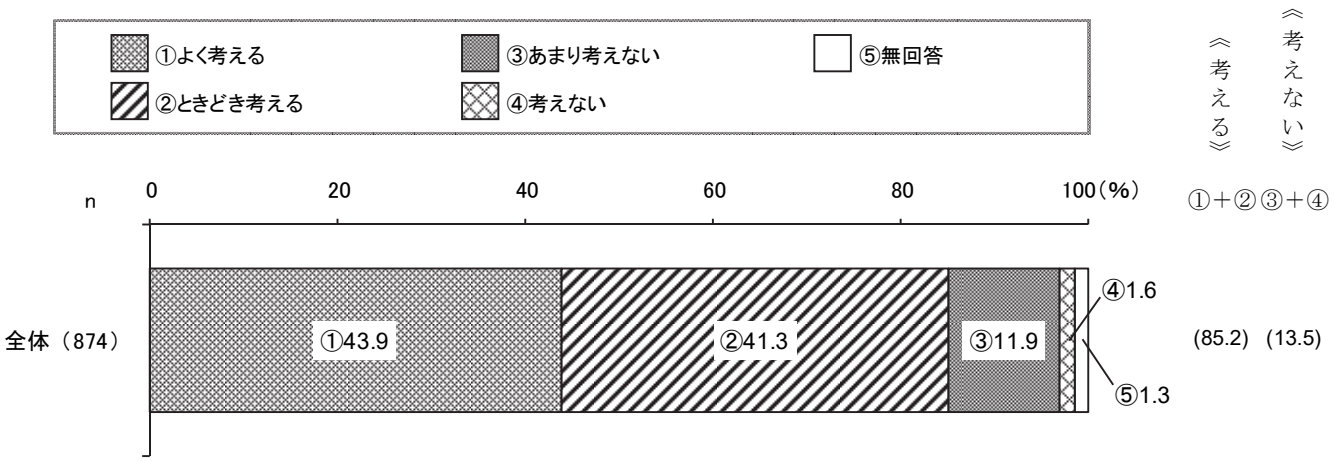
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 27 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
食育に関心を持っている区民の割合	「関心がある」「やや関心がある」と回答した人の割合	総合的な食育の普及度を把握するため	92.0%	90.3%	95.0%

（７）食べ物の量や組み合わせ

◎《考える》は８割台半ば

問７　あなたは、食べ物の量や組み合わせを考えて食べていますか。（○は１つ）		
		（n=874）
1	よく考える	43.9%
2	ときどき考える	41.3
3	あまり考えない	11.9
4	考えない	1.6
	無回答	1.3

図２－１３　食べ物の量や組み合わせ



食べ物の量や組み合わせについて、「よく考える」（43.9%）が４割台半ば近く、「ときどき考える」（41.3%）が４割強、「あまり考えない」（11.9%）が１割強、「考えない」（1.6%）が１割未満となっている。

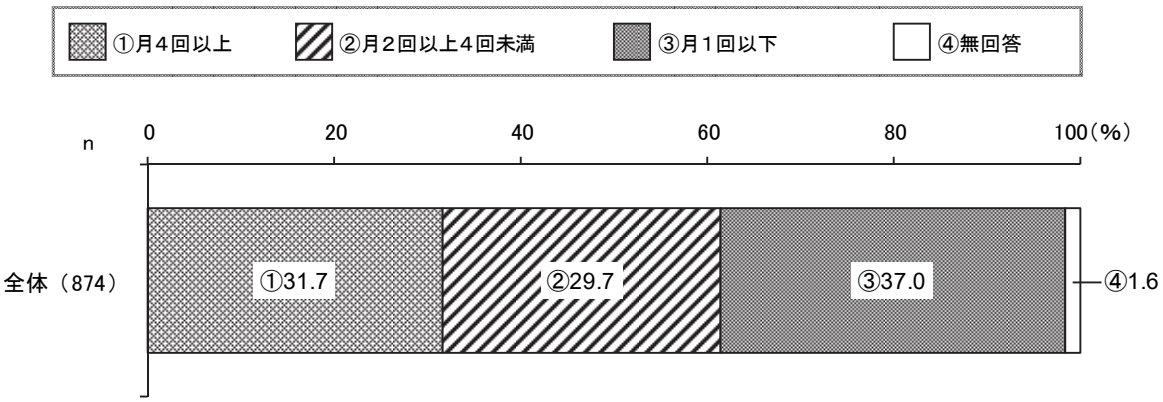
「よく考える」と「ときどき考える」を合わせた《考える》（85.2%）は８割台半ばとなっている。（**図２－１３**）

（８）友人・知人との食事

◎「月１回以下」が３割台半ばを超える

問８　あなたは、友人・知人などと一緒に食事をすることがありますか。（○は１つ）		
		（n=874）
1	月４回以上	31.7%
2	月２回以上４回未満	29.7
3	月１回以下	37.0
	無回答	1.6

図２－１４　友人・知人との食事



友人・知人との食事について、「月１回以下」（37.0%）が３割台半ばを超えて最も高く、次いで「月４回以上」（31.7%）が３割強、「月２回以上４回未満」（29.7%）が３割弱となっている。（**図２－１４**）

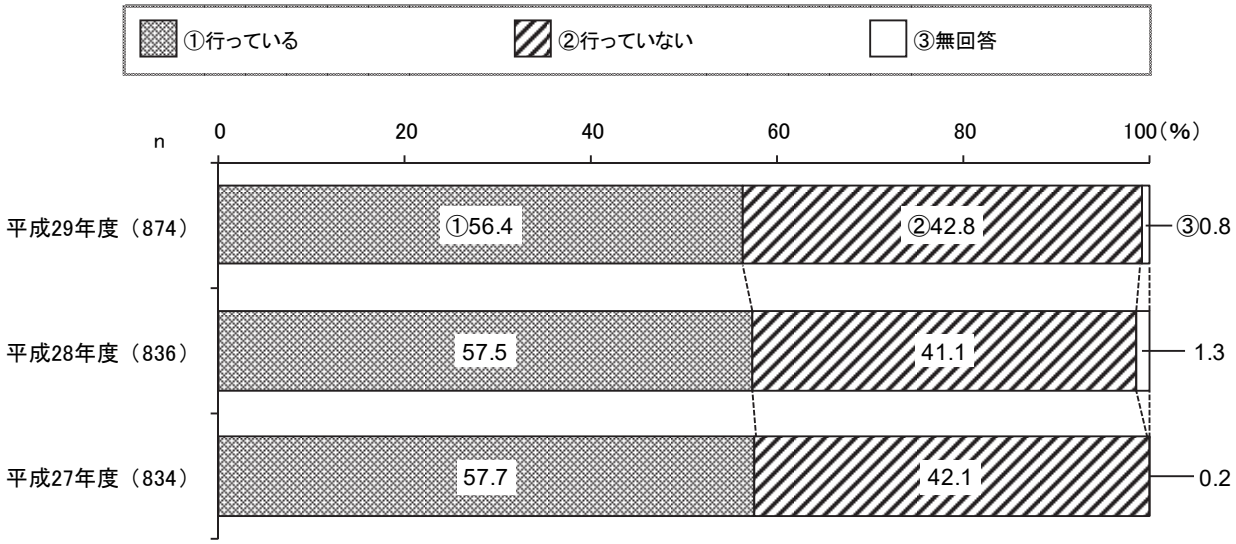
［３］生涯学習

（１）スポーツ・生涯学習等の実施状況

◎「行っている」が５割台半ばを超え、「行っていない」が４割強

問９　あなたは現在、スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　行っている	56.4%
2　行っていない	42.8
無回答	0.8

図２－１５　スポーツ・生涯学習等の実施状況（経年推移）



スポーツ・生涯学習等の実施状況について、「行っている」（56.4%）が５割台半ばを超え、「行っていない」（42.8%）が４割強となっている。

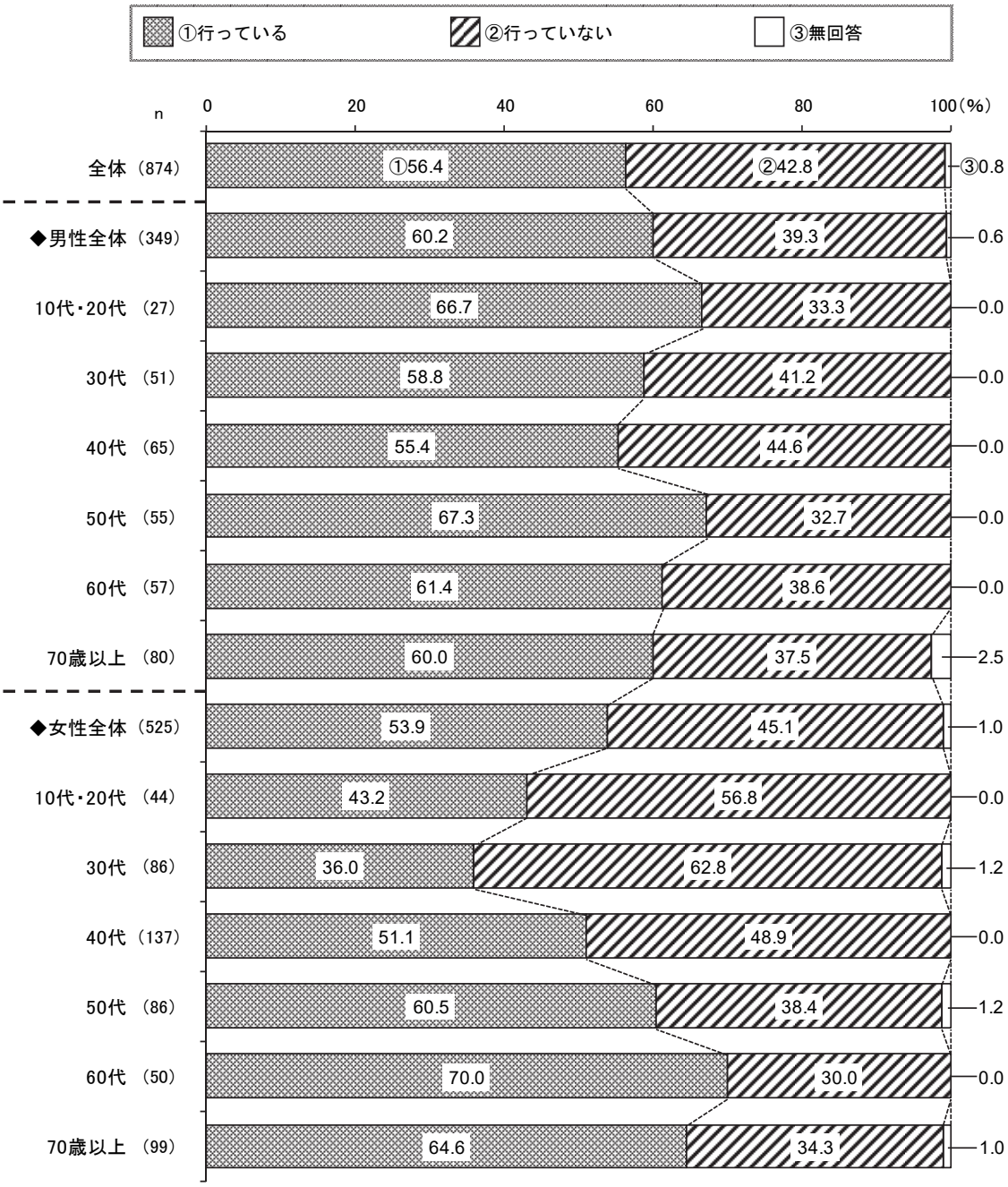
過去３年間の経年推移をみると、平成 27 年度から大きな変化はみられない。

（図２－１５）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を継続的に行っている区民の割合	学習・スポーツ活動の活性化が生きがいのある人生につながるため	51.7%	56.4%	↗

図２－１６　スポーツ・生涯学習等の実施状況（性別・性／年代別）



性別でみると、「行っている」では、男性（60.2%）が約６割と、女性（53.9%）を 6.3 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行っている」は女性の 60 代（70.0%）が７割で最も高くなっている。

「行っていない」では、女性の 30 代（62.8%）が６割強で最も高くなっている。

（図２－１６）

（２）スポーツ・生涯学習等の頻度

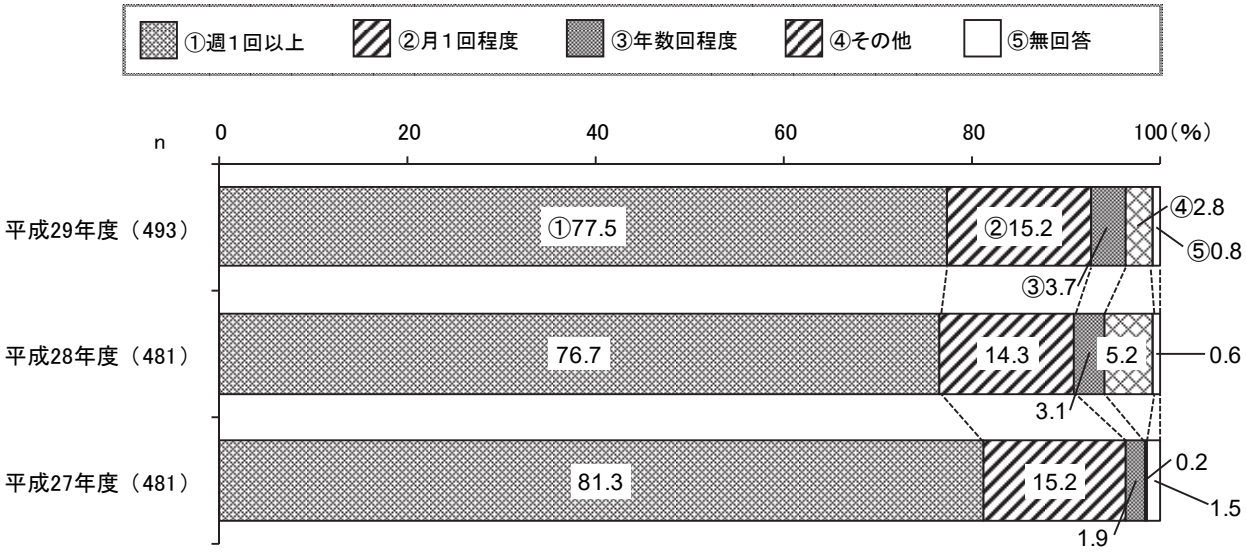
◎「週１回以上」が７割台半ばを超える

問９－１　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。（○は１つ）

（n= 493）

1	週１回以上	77.5%
2	月１回程度	15.2
3	年数回程度	3.7
4	その他	2.8
	無回答	0.8

図２－１７　スポーツ・生涯学習等の頻度（経年推移）



スポーツ・生涯学習等の頻度について、「週１回以上」（77.5%）が７割台半ばを超え、「月１回程度」（15.2%）が１割台半ばとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「週１回以上」は、平成 27 年度（81.3%）から平成 29 年度（77.5%）にかけて 3.8 ポイント低くなっている。（**図２－１７**）

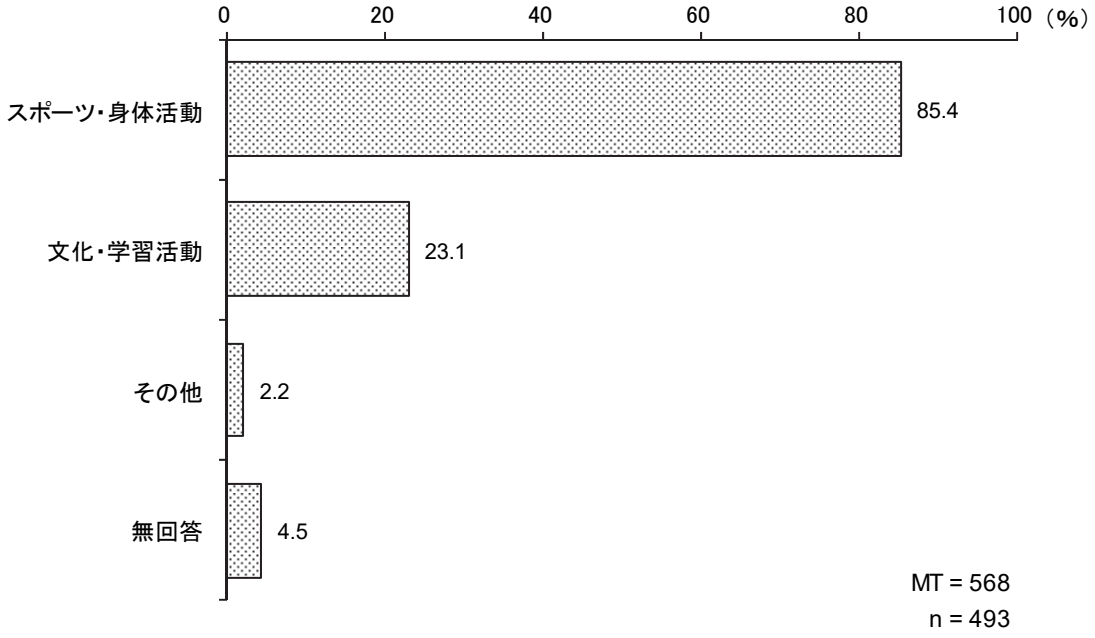
（３）活動内容

◎「スポーツ・身体活動」が８割台半ば

問９－２　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような活動をしていますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n= 493）
1	スポーツ・身体活動	85.4%
2	文化・学習活動	23.1
3	その他	2.2
	無回答	4.5

図２－１８　活動内容



活動内容について、「スポーツ・身体活動」（85.4%）が８割台半ばで最も高くなっている。以下「文化・学習活動」（23.1%）が２割台半ば近くとなっている。（**図２－１８**）

（４）活動目的

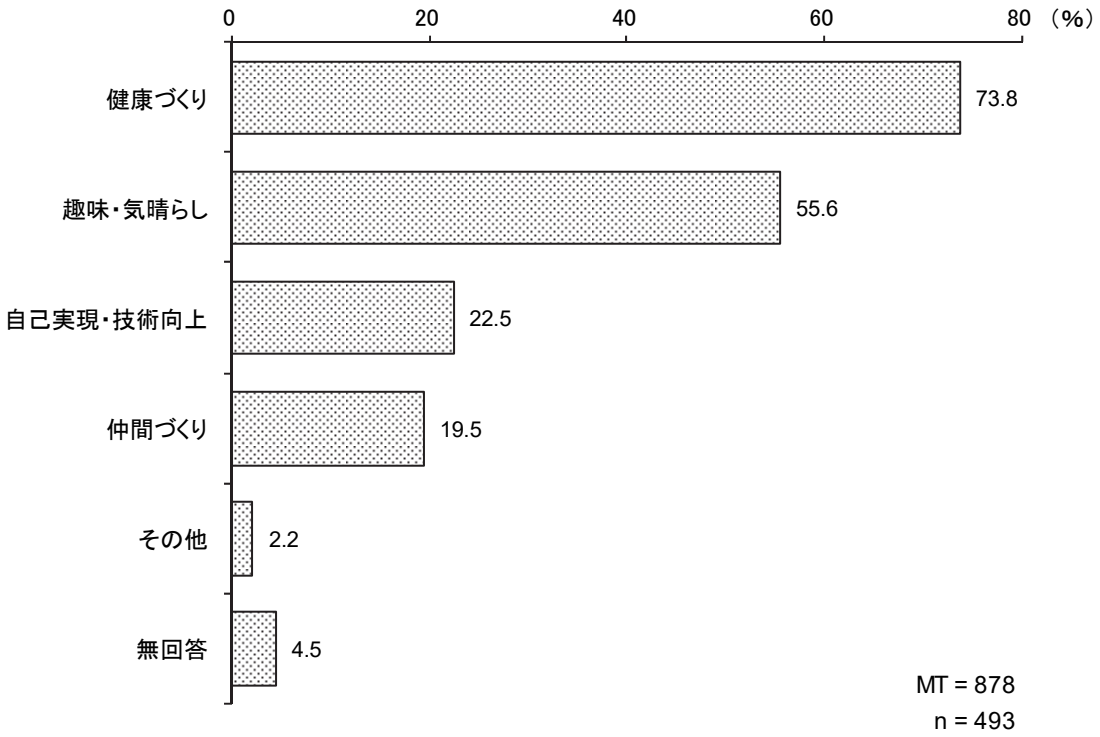
◎「健康づくり」が７割台半ば近く

問９－３　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
活動の目的はなんですか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n= 493）

1	趣味・気晴らし	55.6%
2	健康づくり	73.8
3	仲間づくり	19.5
4	自己実現・技術向上	22.5
5	その他	2.2
	無回答	4.5

図２－１９　活動目的



活動目的について、「健康づくり」（73.8%）が７割台半ば近くで最も高くなっている。次いで「趣味・気晴らし」（55.6%）が５割台半ばとなっている。（**図２－１９**）

（５）行っていない理由

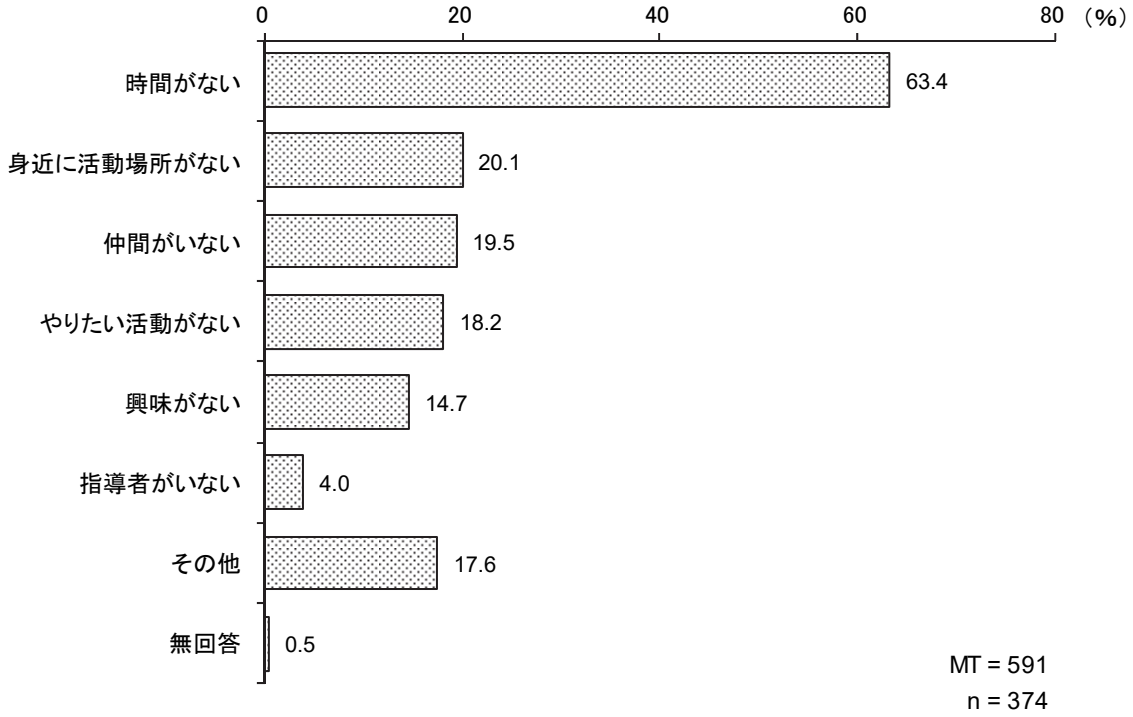
◎「時間がない」が６割台半ば近く

問９－４　問９で、「２」に○をした方にお伺いします。
行っていない理由はなんですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n= 374）

1	やりたい活動がない	18.2%
2	時間がない	63.4
3	身近に活動場所がない	20.1
4	指導者がいない	4.0
5	仲間がいない	19.5
6	興味がない	14.7
7	その他	17.6
	無回答	0.5

図２－２０　行っていない理由



行っていない理由としては、「時間がない」（63.4%）が６割台半ば近くで最も高くなっている。以下「身近に活動場所がない」（20.1%）が約２割、「仲間がいない」（19.5%）が２割弱、「やりたい活動がない」（18.2%）が２割近くとなっている。（**図２－２０**）

［４］子育て支援活動への参加

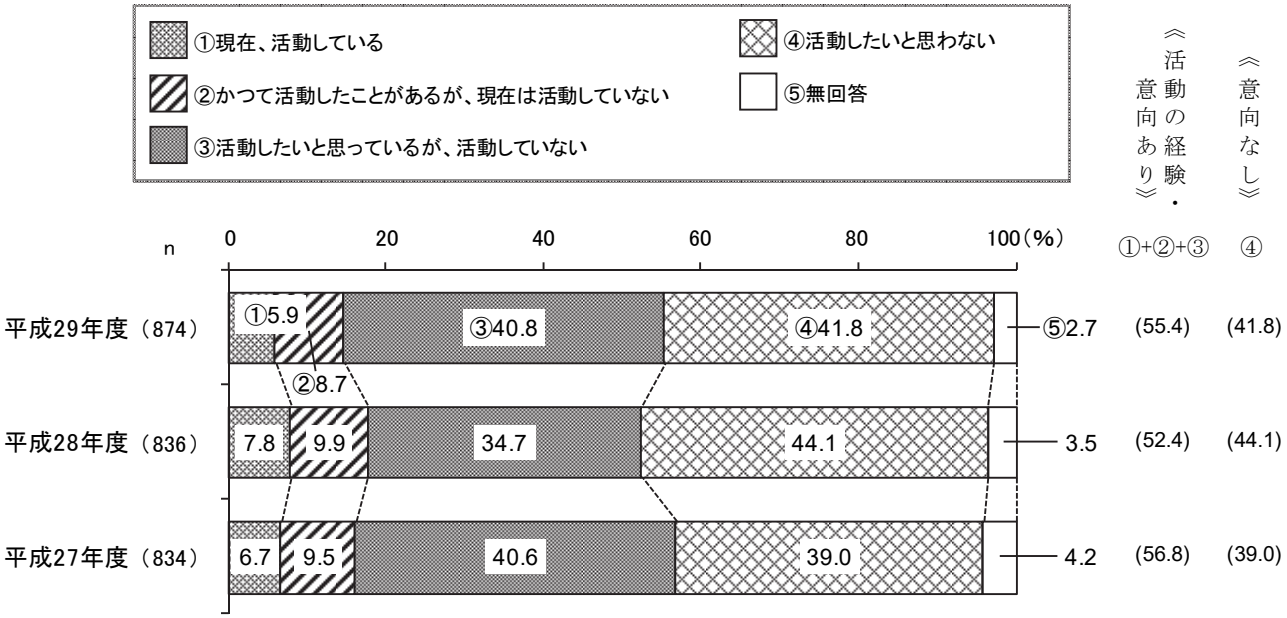
（１）子育て支援に関する活動状況

◎《活動の経験・意向あり》は５割台半ば

問１０　あなたは、子育て支援に関する活動をしていますか。（○は１つ）

		（n=874）
1	現在、活動している	5.9%
2	かつて活動したことがあるが、現在は活動していない	8.7
3	活動したいと思っているが、活動していない	40.8
4	活動したいと思わない	41.8
	無回答	2.7

図２－２１　子育て支援に関する活動状況（経年推移）



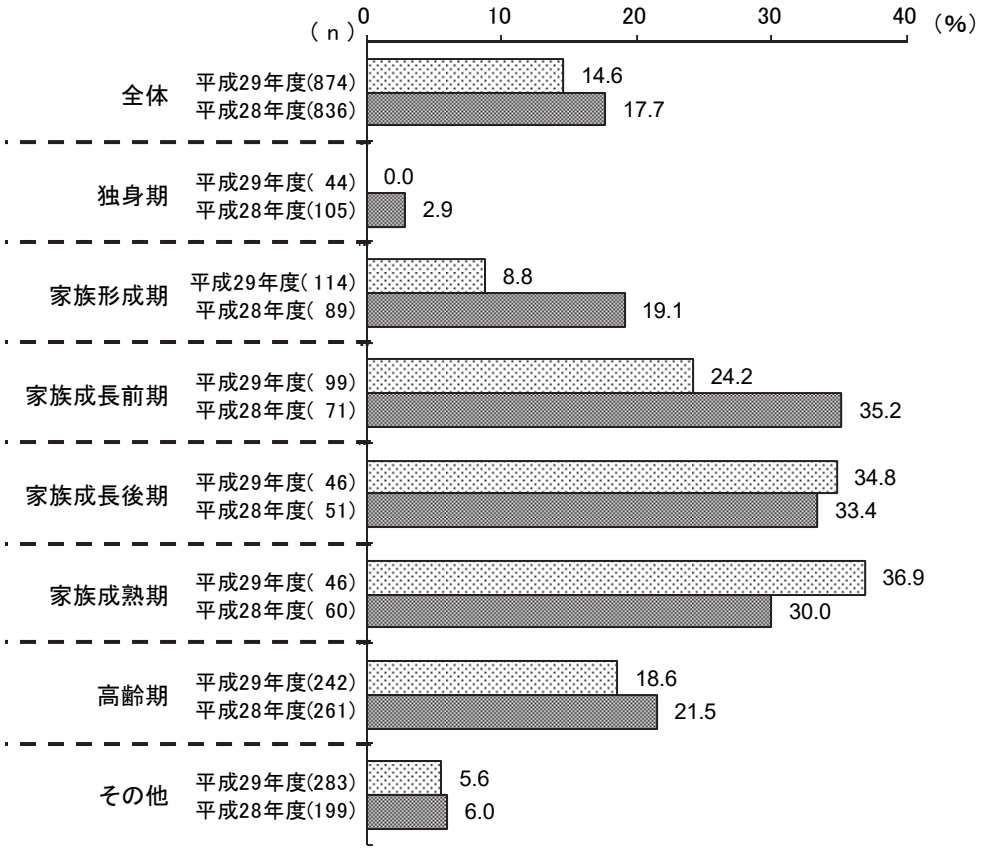
子育て支援に関する活動状況について、「現在、活動している」（5.9%）、「かつて活動したことがあるが、現在は活動していない」（8.7%）、「活動したいと思っているが、活動していない」（40.8%）を合わせた《活動の経験・意向あり》（55.4%）が５割台半ばとなっている。一方、「活動したいと思わない」（41.8%）は４割強となっている。

過去３年間の経年推移をみると、《活動の経験・意向あり》と《意向なし》の割合に大きな変化はみられない。（**図２－２１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
子育て支援に関する地域活動状況	子育て支援に関する活動に参加している人や参加意欲を持っている人の割合	子育てを応援するサポーターや活動の拡充が子育てしやすいまちの実現につながるため	56.5%	55.4%	70.0%

図２－２２　子育て支援に関する活動状況《活動経験あり》
（ライフステージ別・経年推移）



「現在、活動している」と「かつて活動したことがあるが、現在は活動していない」を合わせた《活動経験あり》について、ライフステージ別に前回の調査結果（平成 28 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、家族成長後期及び家族成熟期において、前回より割合が高くなっている。また、平成 28 年度、平成 29 年度ともに３割を超えている。**（図２－２２）**

（２）子育て支援に関する活動内容

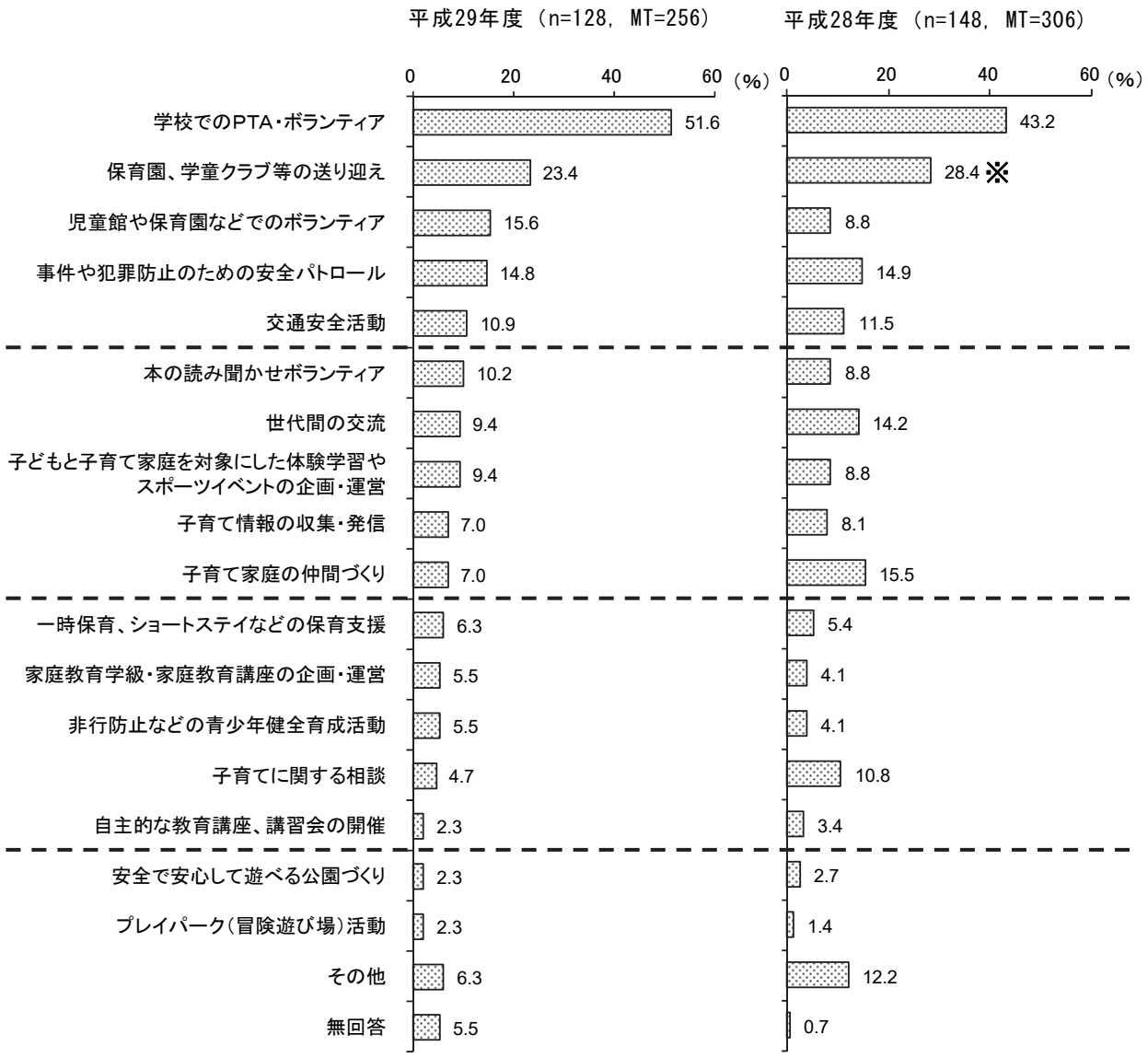
◎「学校でのＰＴＡ・ボランティア」が５割強

問１０－１　問１０で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
それはどんな活動ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n= 128）

1	一時保育、ショートステイなどの保育支援	6.3%
2	保育園、学童クラブ等の送り迎え	23.4
3	子育てに関する相談	4.7
4	子育て情報の収集・発信	7.0
5	子育て家庭の仲間づくり	7.0
6	世代間の交流	9.4
7	児童館や保育園などでのボランティア	15.6
8	学校でのＰＴＡ・ボランティア	51.6
9	本の読み聞かせボランティア	10.2
10	自主的な教育講座、講習会の開催	2.3
11	子どもと子育て家庭を対象にした体験学習やスポーツイベントの企画・運営	9.4
12	家庭教育学級・家庭教育講座の企画・運営	5.5
13	安全で安心して遊べる公園づくり	2.3
14	プレイパーク（冒険遊び場）活動	2.3
15	非行防止などの青少年健全育成活動	5.5
16	事件や犯罪防止のための安全パトロール	14.8
17	交通安全活動	10.9
18	その他	6.3
	無回答	5.5

図２－２３　子育て支援に関する活動内容（経年推移）



※平成 28 年度は「保育所の送り迎え」

子育て支援に関する活動内容について、「学校でのＰＴＡ・ボランティア」（51.6%）が５割強で最も高く、次いで「保育園、学童クラブ等の送り迎え」（23.4%）が２割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果（平成 28 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、「学校でのＰＴＡ・ボランティア」が最も高い割合であることに変わりはなく、平成 28 年度（43.2%）から平成 29 年度（51.6%）にかけて 8.4 ポイント高くなっている。（**図２－２３**）

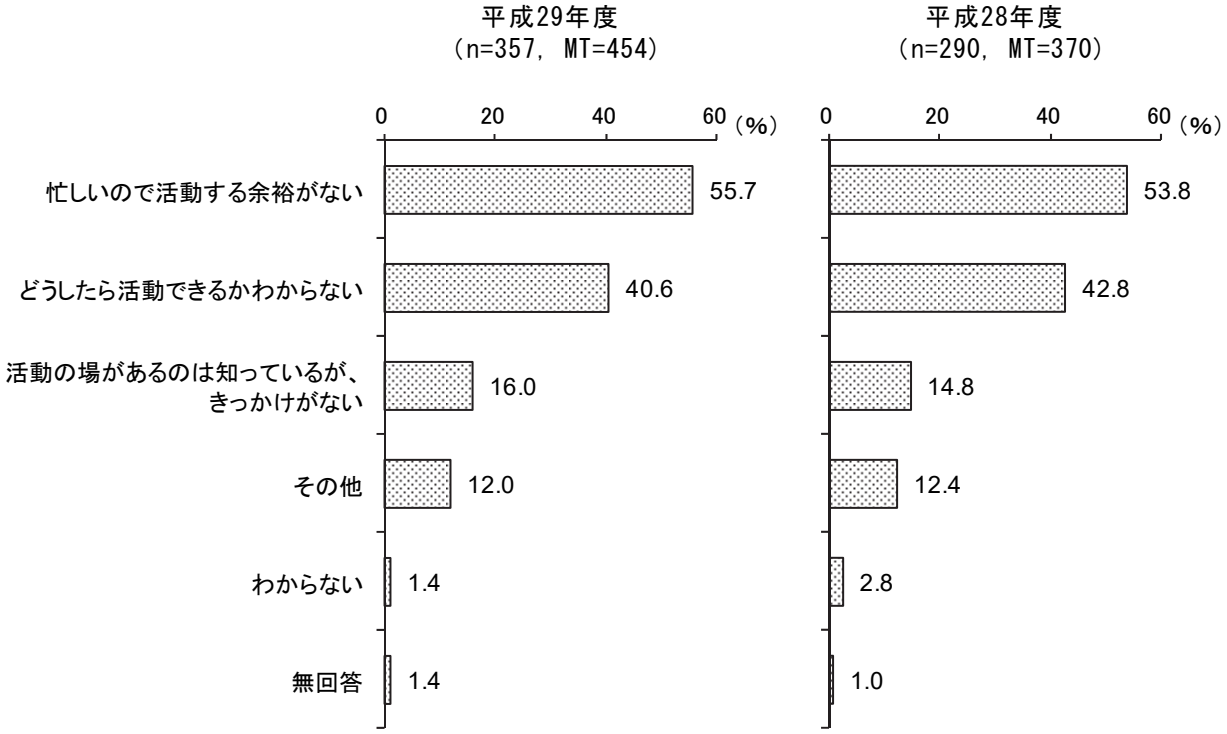
（３）子育て支援に関する活動をしていない理由

◎「忙しいので活動する余裕がない」が５割台半ば

問１０－２　問１０で、「３」に○をした方にお伺いします。
活動したいが、活動していない理由は何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=357）
1	どうしたら活動できるかわからない	40.6%
2	活動の場があるのは知っているが、きっかけがない	16.0
3	忙しいので活動する余裕がない	55.7
4	その他	12.0
5	わからない	1.4
	無回答	1.4

図２－２４　子育て支援に関する活動をしていない理由（経年推移）



子育て支援に関する活動をしたいと思っているが、していない理由としては、「忙しいので活動する余裕がない」（55.7%）が５割台半ばで最も高くなっている。次いで「どうしたら活動できるかわからない」（40.6%）が約４割と続いている。

前回の調査結果（平成 28 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、それぞれの割合に大きな変化みられない。（**図２－２４**）

［５］地域連携による教育

（１）地域連携による教育に関する意識

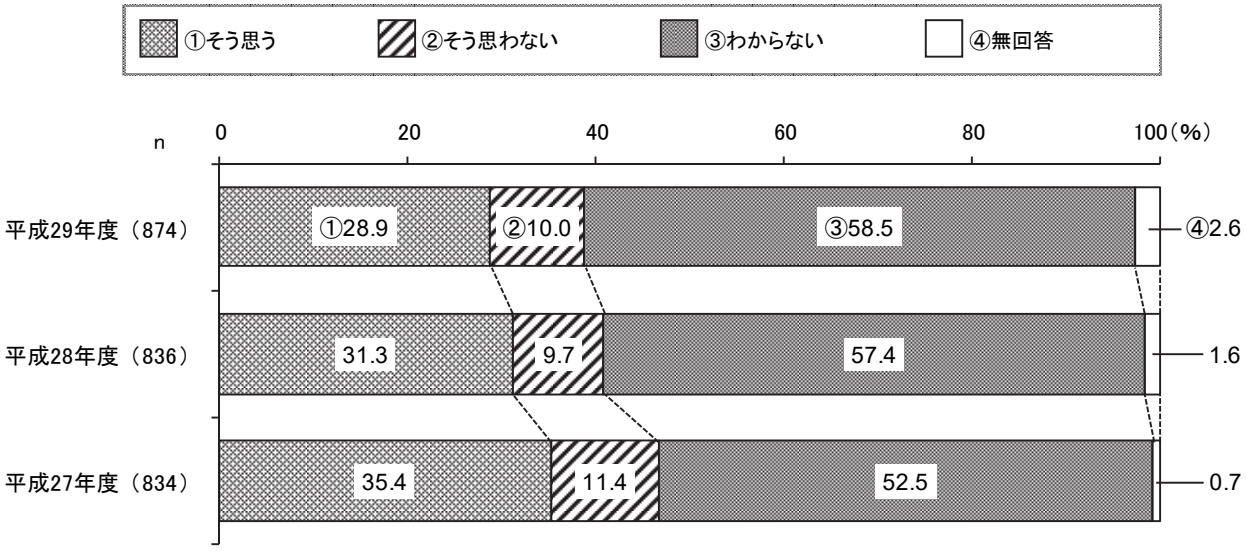
◎「そう思う」が３割近く

問１１　新宿のまちは、学校・家庭・地域が協力して子どもの教育に取り組んでいるまちだと思いますか。（○は１つ）

（n=874）

1	そう思う	28.9%
2	そう思わない	10.0
3	わからない	58.5
	無回答	2.6

図２－２５　地域連携による教育に関する意識（経年推移）



地域連携による教育に関する意識について、「そう思う」（28.9%）が３割近く、「そう思わない」（10.0%）が１割、「わからない」（58.5%）が６割近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思う」は平成 27 年度（35.4%）から平成 29 年度（28.9%）にかけて 6.5 ポイント低くなっている。（**図２－２５**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
学校・家庭・地域が協力した教育の取組	学校・家庭・地域が協力して教育に取り組んでいると感じる区民の割合	地域連携による教育に関する区民意識を示すため	24.9%	28.9%	↗

（２）地域連携による教育活動の認知度

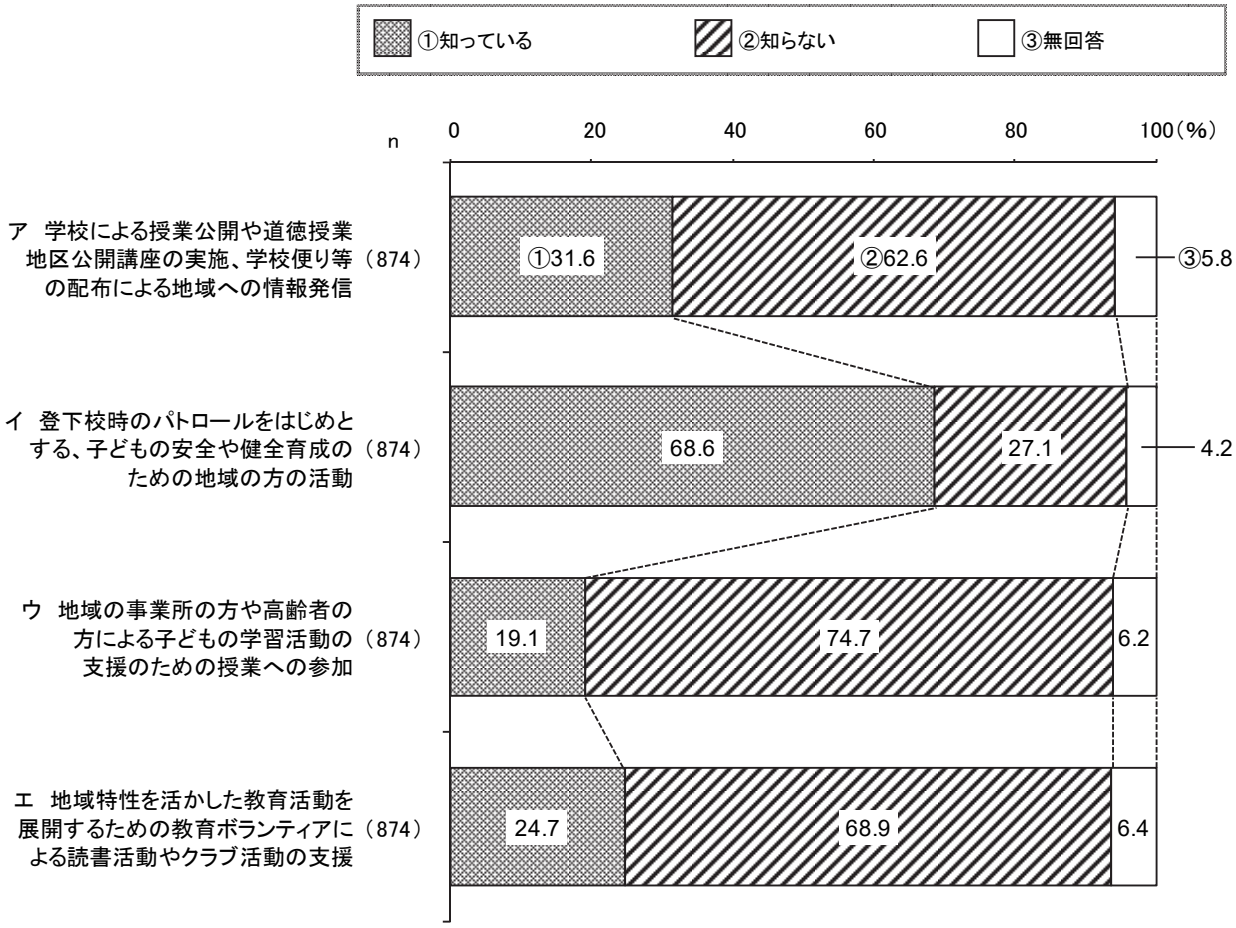
◎「知っている」は『登下校時のパトロールをはじめとする、子どもの安全や健全育成のための地域の方の活動』が７割近く

問１２　あなたは、地域連携による教育の一環として下記の活動等を知っていますか。
（ア～エそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

（n=874）

	知っている	知らない	無回答
ア　学校による授業公開や道徳授業地区公開講座の実施、学校便り等の配布による地域への情報発信	31.6%	62.6%	5.8%
イ　登下校時のパトロールをはじめとする、子どもの安全や健全育成のための地域の方の活動	68.6	27.1	4.2
ウ　地域の事業所の方や高齢者の方による子どもの学習活動の支援のための授業への参加	19.1	74.7	6.2
エ　地域特性を活かした教育活動を展開するための教育ボランティアによる読書活動やクラブ活動の支援	24.7	68.9	6.4

図２－２６　地域連携による教育活動の認知度



地域連携による教育活動の認知度について、「知っている」は『登下校時のパトロールをはじめとする、子どもの安全や健全育成のための地域の方の活動』（68.6%）が７割近くと高くなっている。

一方、「知らない」は『地域の事業所の方や高齢者の方による子どもの学習活動の支援のための授業への参加』（74.7%）が７割台半ば近く、『地域特性を活かした教育活動を展開するための教育ボランティアによる読書活動やクラブ活動の支援』（68.9%）が７割近くとなっている。（**図２－２６**）

基本目標Ⅲ　安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち

［１］地域福祉

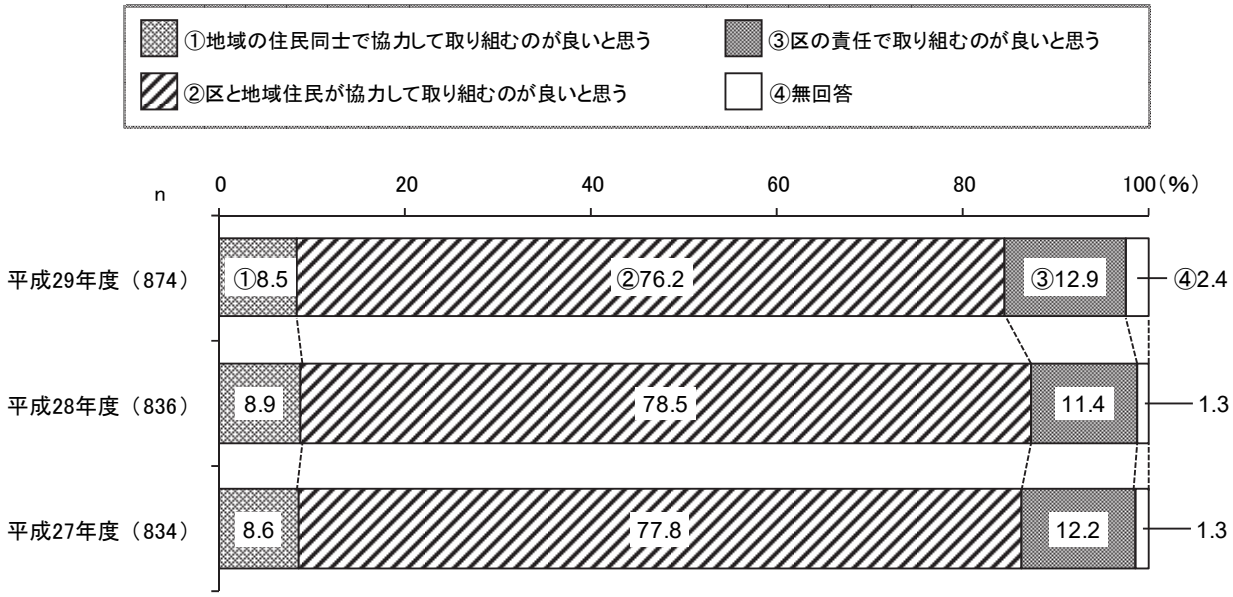
（１）高齢者・障害者の見守りに関する意識

◎「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」が７割台半ばを超える

問１３　あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのように推進していくのが良いと思いますか。（○は１つ）

		（n=874）
1	地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う	8.5%
2	区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う	76.2
3	区の責任で取り組むのが良いと思う	12.9
	無回答	2.4

図３－１　高齢者・障害者の見守りに関する意識（経年推移）



高齢者・障害者の見守りに関する意識について、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」(76.2%) が７割台半ばを超え、「区の責任で取り組むのが良いと思う」(12.9%) は１割強、「地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う」（8.5%）は１割未満となっている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。また、各年度ともに、「区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う」が７割以上と高くなっている。

（**図３－１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

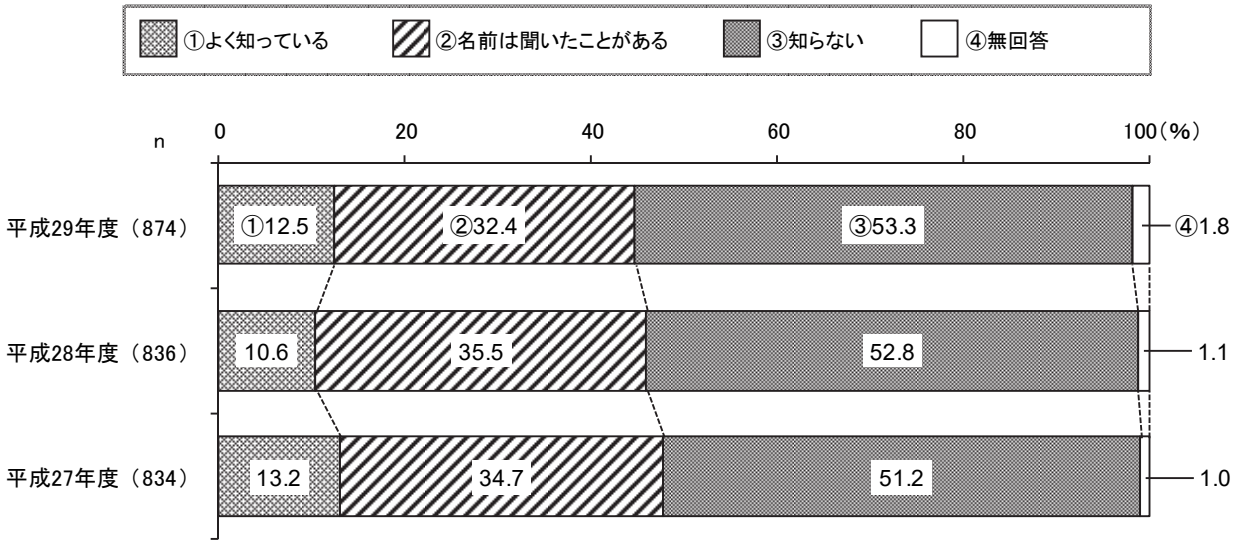
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成19年度）	現状（平成29年度）	目標（平成29年度）
区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	支え合いのしくみづくりの進捗度を検証するため	8.2%	8.5%	30.0%

（２）「高齢者総合相談センター」の認知状況

◎「知らない」が５割台半ば近く

問１４　あなたは、高齢者のための相談機関である「高齢者総合相談センター」を知っていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　よく知っている	12.5%
2　名前は聞いたことがある	32.4
3　知らない	53.3
無回答	1.8

図３－２　「高齢者総合相談センター」の認知状況（経年推移）



「高齢者総合相談センター」の認知状況について、「よく知っている」（12.5%）が１割強、「名前は聞いたことがある」（32.4%）が３割強、「知らない」（53.3%）が５割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「知らない」では、平成 27 年度（51.2%）から平成 29 年度（53.3%）にかけて 2.1 ポイント高くなっている。（**図３－２**）

（３）在宅療養を送ることになった場合、どこに（誰に）相談するか

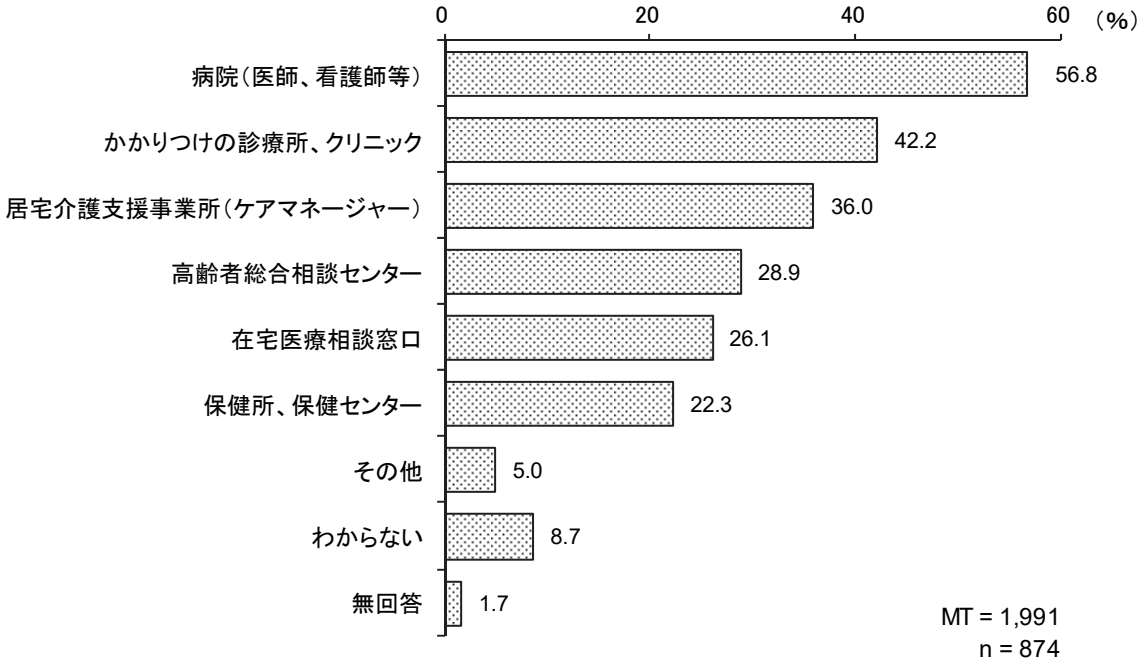
◎「病院（医師、看護師等）」が５割台半ばを超える

問１５　あなたやあなたの家族が自宅で療養生活（在宅療養）を送ることになった場合、どこに（誰に）相談しますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=874）

1	病院（医師、看護師等）	56.8%
2	かかりつけの診療所、クリニック	42.2
3	高齢者総合相談センター	28.9
4	居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）	36.0
5	在宅医療相談窓口	26.1
6	保健所、保健センター	22.3
7	その他	5.0
8	わからない	8.7
	無回答	1.7

図３－３　在宅療養を送ることになった場合、どこに（誰に）相談するか



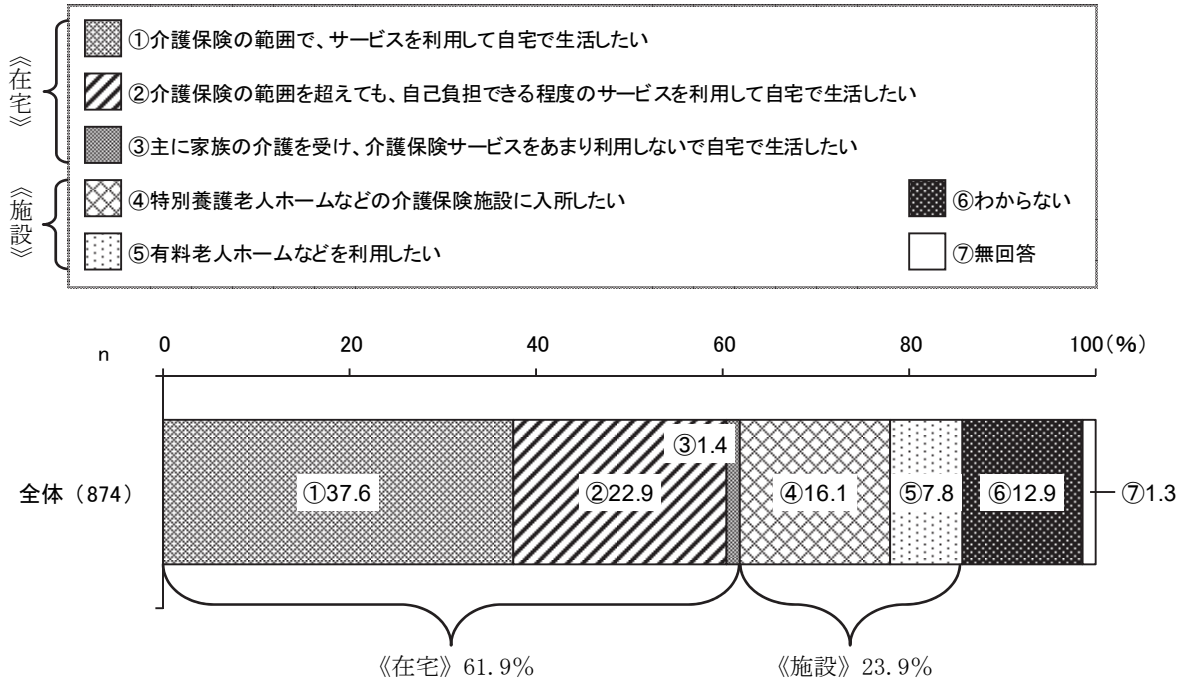
在宅療養を送ることになった場合、どこに（誰に）相談するかについて、「病院（医師、看護師等）」（56.8%）が５割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「かかりつけの診療所、クリニック」（42.2%）が４割強、「居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）」（36.0%）が３割台半ばを超え、「高齢者総合相談センター」（28.9%）が３割近くと続いている。（図３－３）

（４）利用したい介護サービス

◎《在宅》で介護を受けたいと考える人が６割強

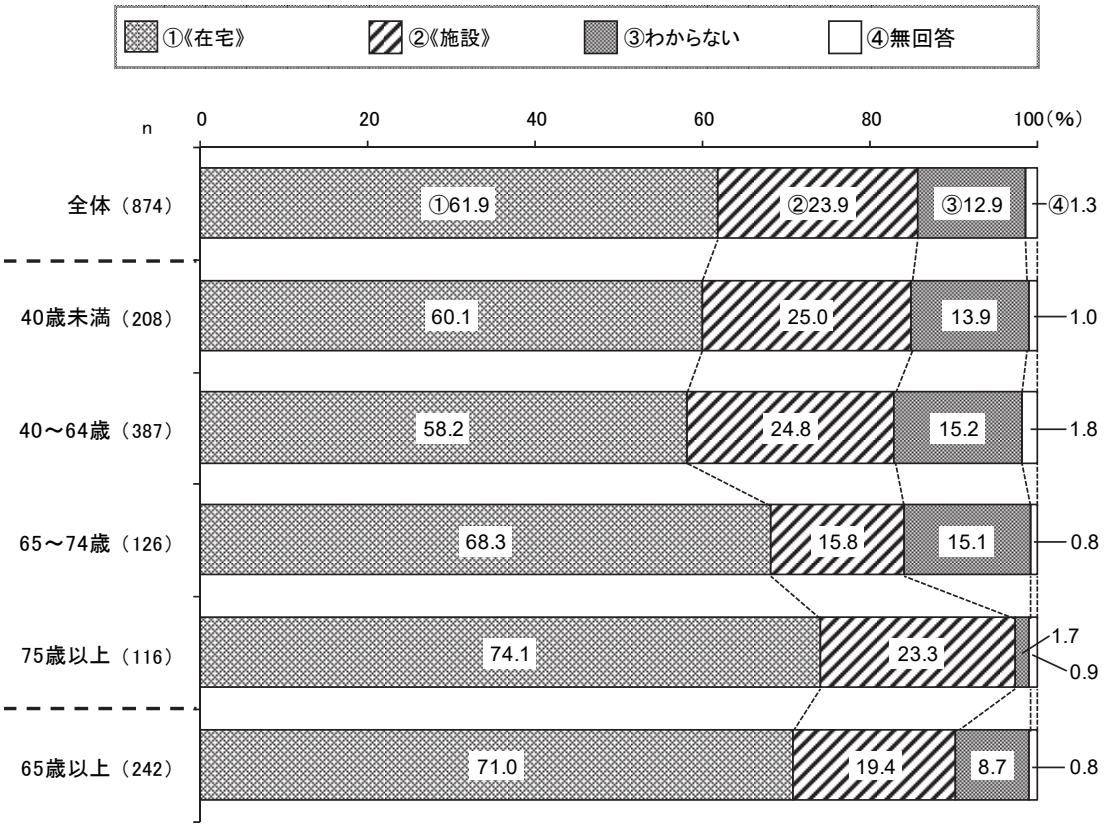
問１６　あなたは、介護が必要になったら介護サービスをどのように利用したいと思いますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　介護保険の範囲で、サービスを利用して自宅で生活したい	37.6%
2　介護保険の範囲を超えても、自己負担できる程度のサービスを利用して自宅で生活したい	22.9
3　主に家族の介護を受け、介護保険サービスをあまり利用しないで自宅で生活したい	1.4
4　特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい	16.1
5　有料老人ホームなどを利用したい	7.8
6　わからない	12.9
無回答	1.3

図３－４　利用したい介護サービス



利用したい介護サービスについて、「介護保険の範囲で、サービスを利用して自宅で生活したい」（37.6%）が３割台半ばを超えて最も高く、次いで「介護保険の範囲を超えても、自己負担できる程度のサービスを利用して自宅で生活したい」（22.9%）が２割強、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい」（16.1%）が１割台半ばを超え、続いている。（**図３－４**）

図３－５　利用したい介護サービス（年代別）



年代別でみると、「介護保険の範囲で、サービスを利用して自宅で生活したい」、「介護保険の範囲を超えても、自己負担できる程度のサービスを利用して自宅で生活したい」、「主に家族の介護を受け、介護保険サービスをあまり利用しないで自宅で生活したい」を合わせた《在宅》は 75 歳以上（74.1%）が７割台半ば近くで、全体（61.9%）を 12.2 ポイント上回っている。（**図３－５**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初 （平成 19 年度）	現状 （平成 29 年度）	目標 （平成 29 年度）
介護サービスを利用した在宅生活の継続	「介護サービスを受けたい場所」の「在宅」の割合	住み慣れた地域での生活希望者の増加は、在宅サービスの充実度を示すため	一般高齢者 60.4%	71.0%※	一般高齢者 70.0%

※65 歳以上の高齢者の割合（図３－５参照）

［２］障害福祉

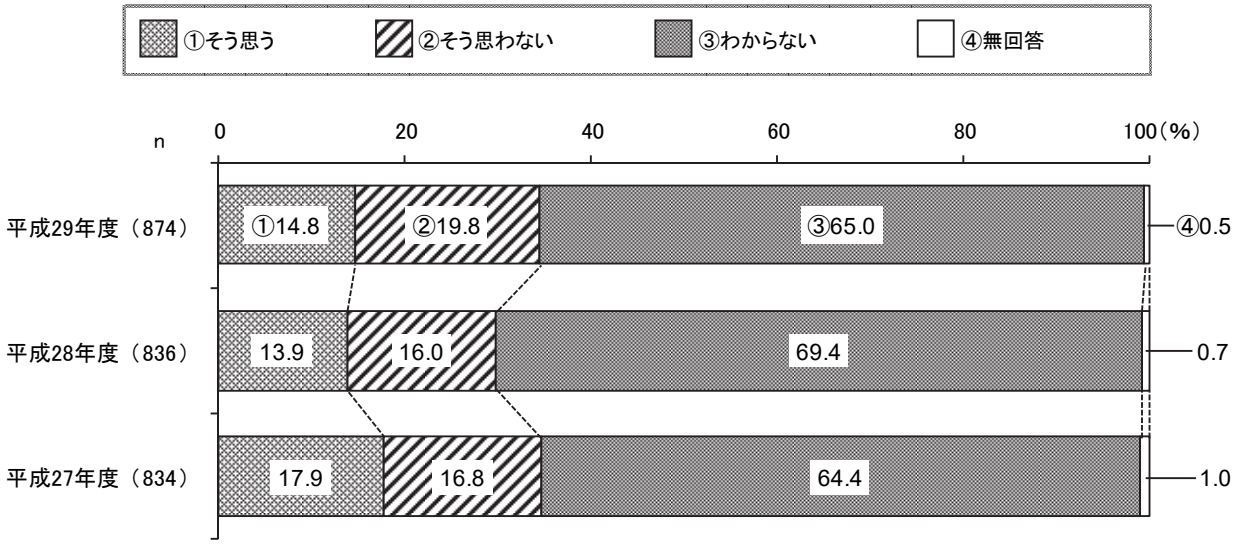
（１）障害者の社会参加のしやすさ

◎「そう思う」が１割台半ば近く

問１７　新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。
（○は１つ）

		（n=874）
1	そう思う	14.8%
2	そう思わない	19.8
3	わからない	65.0
	無回答	0.5

図３－６　障害者の社会参加のしやすさ（経年推移）



障害者の社会参加のしやすさについて、「そう思う」（14.8%）が１割台半ば近く、「そう思わない」（19.8%）が２割弱、「わからない」（65.0%）が６割台半ばとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思わない」では、平成 28 年度（16.0%）から平成 29 年度（19.8%）にかけて 3.8 ポイント高くなっている。（**図３－６**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	ノーマラーゼーション※の視点から障害者の社会参加や就労機会の拡大に対する実感を把握するため	16.2%	14.8%	↗

※高齢者や障害のある人等、社会的支援を必要とする人がそうでない人とともに、地域において普通の生活をし、ともに生きることができる社会をめざす考え方。

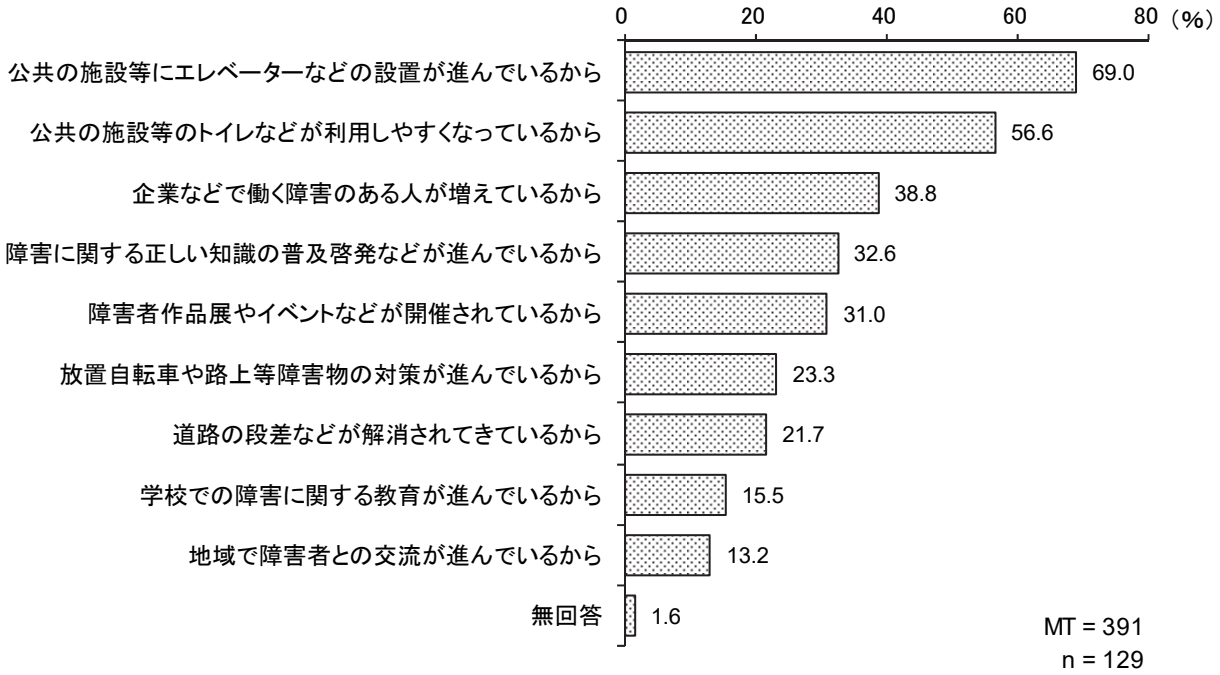
（２）障害者が社会参加しやすいまちだと思う点

◎「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」が７割弱

問１７－１　問１７で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような点でそう思いますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=129）
1	障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから	32.6%
2	企業などで働く障害のある人が増えているから	38.8
3	学校での障害に関する教育が進んでいるから	15.5
4	地域で障害者との交流が進んでいるから	13.2
5	障害者作品展やイベントなどが開催されているから	31.0
6	公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから	69.0
7	公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから	56.6
8	放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから	23.3
9	道路の段差などが解消されてきているから	21.7
	無回答	1.6

図３－７　障害者が社会参加しやすいまちだと思う点



障害者が社会参加しやすいまちだと思う点について、「公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから」（69.0%）が７割弱で最も高くなっている。次いで「公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから」（56.6%）が５割台半ばを超え、「企業などで働く障害のある人が増えているから」（38.8%）が４割近くと続いている。（**図３－７**）

［３］生きがい

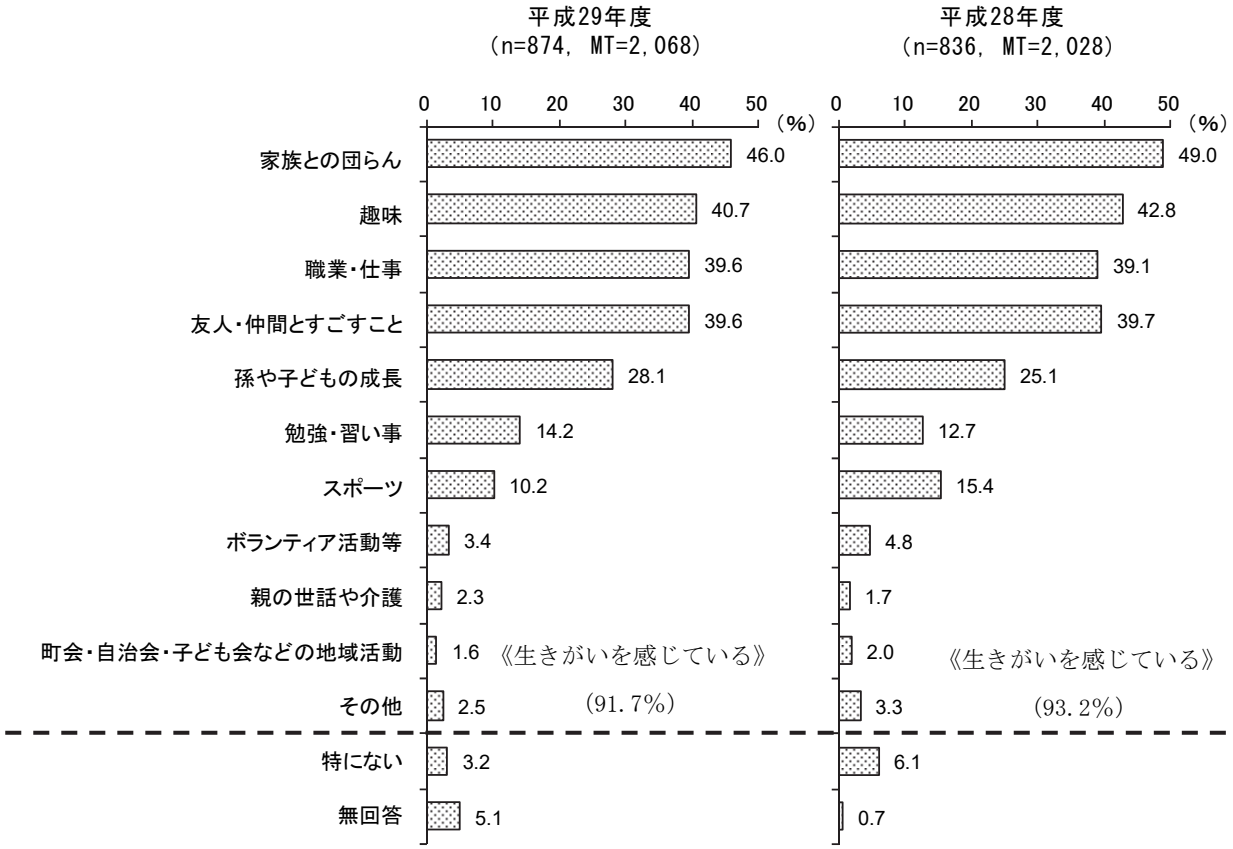
（１）生きがいを感じること

◎「家族との団らん」が４割台半ばを超える

問１８　あなたは、現在どのようなことに生きがいを感じていますか。
（○は３つまで）

		(n=874)
1	職業・仕事	39.6%
2	町会・自治会・子ども会などの地域活動	1.6
3	ボランティア活動等	3.4
4	趣味	40.7
5	スポーツ	10.2
6	勉強・習い事	14.2
7	友人・仲間とすごすこと	39.6
8	家族との団らん	46.0
9	孫や子どもの成長	28.1
10	親の世話や介護	2.3
11	その他	2.5
12	特にない	3.2
	無回答	5.1

図３－８　生きがいを感じること（経年推移）



生きがいを感じることについて、「家族との団らん」（46.0%）が４割台半ばを超えて最も高く、次いで「趣味」（40.7%）が約４割、「職業・仕事」（39.6%）と「友人・仲間とすごすこと」（39.6%）がともに４割弱と続いている。

前回の調査結果（平成 28 年度区政モニターアンケート調査）と比較すると、全体から「特にない」と無回答を除いた《生きがいを感じている》は平成 28 年度（93.2%）から平成 29 年度（91.7%）にかけて 1.5 ポイント低くなっている。**（図３－８）**

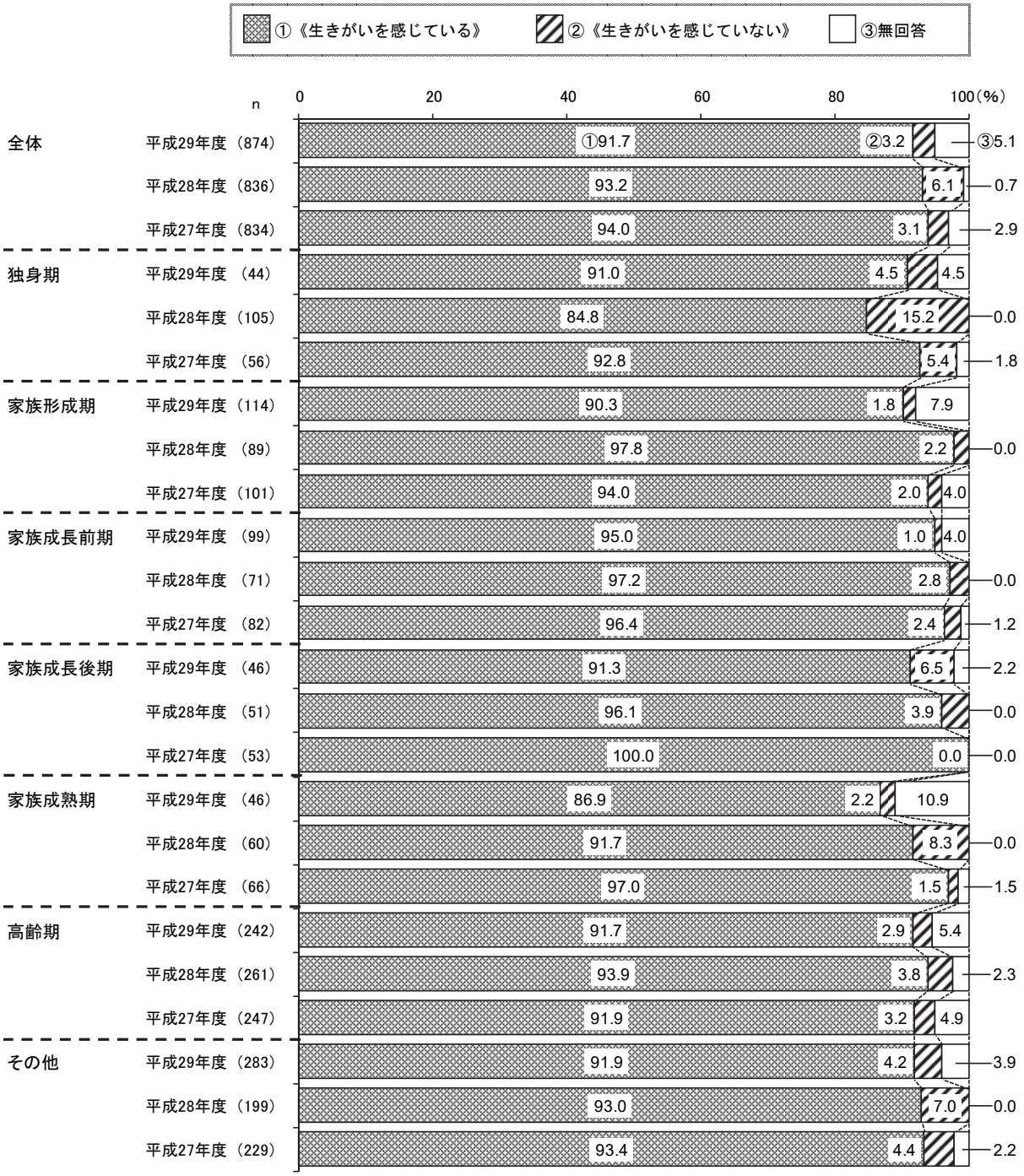
《生きがいを感じている》高齢者の割合は、再分類しライフステージ別に集計した**（P47、図３－９）**。

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者が自立して元気で暮らしていくためには高齢者が生きがいを持っていることが重要なため	94.1%	91.7%※	↗

※65 歳以上の高齢者の割合（P47、図３－９参照）

図３－９　生きがいを感じること（ライフステージ別・経年推移）



ライフステージ別に過去３年の経年推移をみると、家族成熟期の《生きがいを感じている》は、平成 27 年度（97.0%）から平成 29 年度（86.9%）にかけて 10.1 ポイント低くなっている。（**図３－９**）

［４］防災対策

（１）避難場所・避難所の認知度

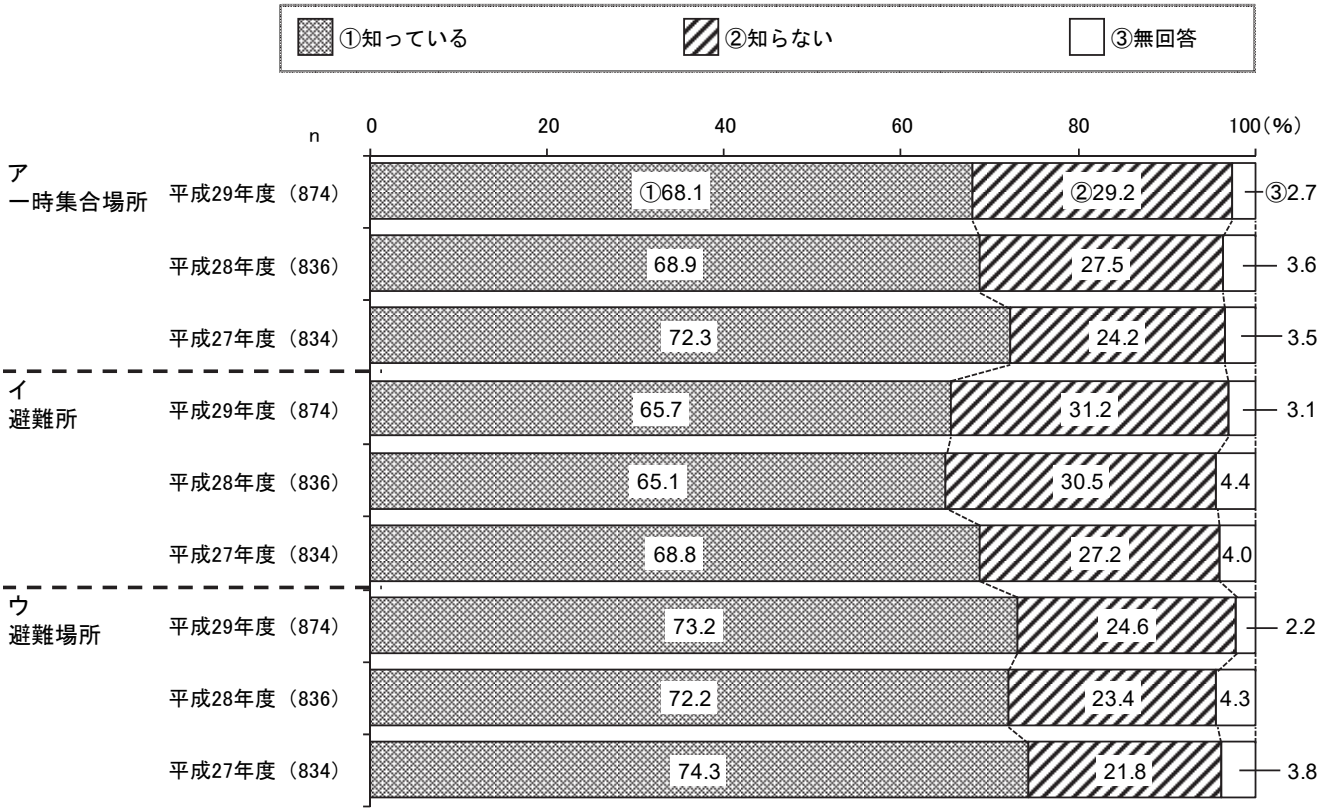
◎「知っている」は『避難場所』が７割台半ば近く

問１９　あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する場所がどこにあるか知っていますか。
（ア～ウそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

（n=874）

	知っている	知らない	無回答
ア　一時（いっとき）集合場所 ※避難所や避難場所に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所（自宅付近の公園など）	68.1%	29.2%	2.7%
イ　避難所 ※倒壊や焼失などによって、自宅での生活ができなくなった人が避難生活をする場所（小・中学校など）	65.7	31.2	3.1
ウ　避難場所 ※大震災時の大火災から生命を守るために必要なスペースのある大規模公園、緑地等をいい、都が指定している。（新宿御苑、戸山公園一帯、新宿中央公園一帯など）	73.2	24.6	2.2

図３－１０　避難場所・避難所の認知度（経年推移）

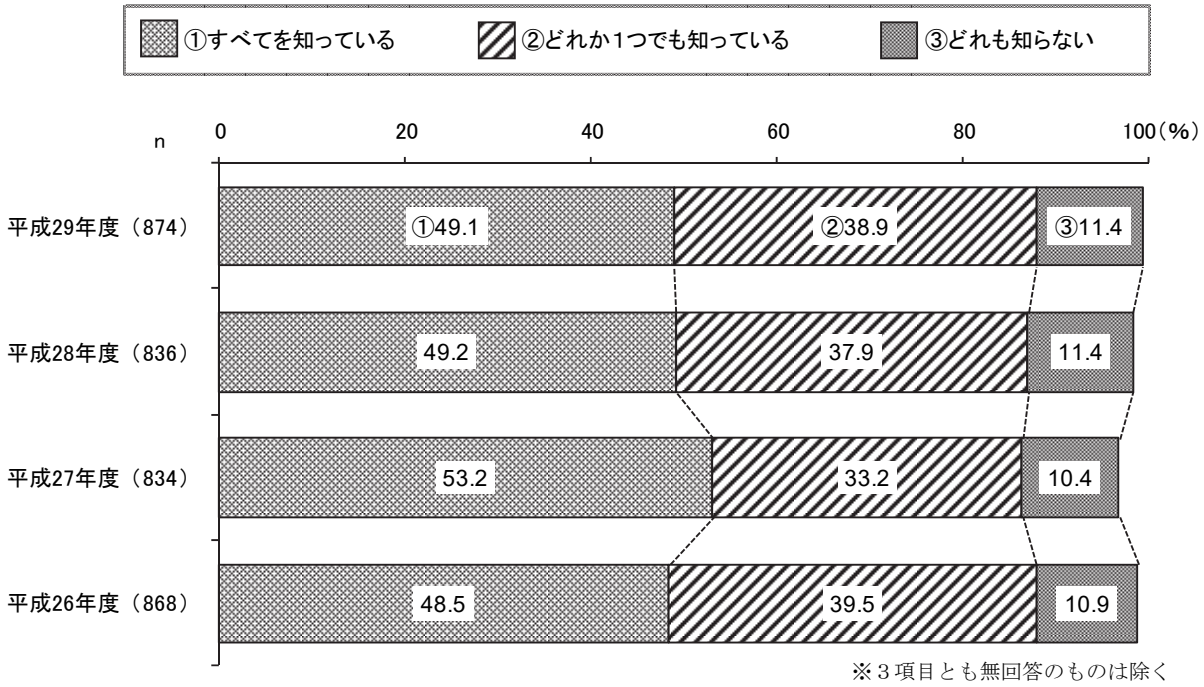


避難場所・避難所の認知度について、「知っている」は『避難場所』（73.2%）が７割台半ば近くで最も高く、『一時（いっとき）集合場所』(68.1%)が７割近く、『避難所』(65.7%)が６割台半ばとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「知っている」が、『一時集合場所』『避難所』『避難場所』で、平成 27 年度から平成 28 年度にかけてそれぞれ 2.1 ポイントから 3.7 ポイント低くなったが、平成 28 年度から平成 29 年度にかけては大きな変化はみられない。

（図３－１０）

図３－１１　避難場所・避難所の認知度
３項目の再分類※（経年推移）



※避難場所・避難所の認知度　３項目の再分類
『一時集合場所』『避難所』『避難場所』の３項目について「すべてを知っている」、「どれか１つでも知っている」、「どれも知らない」に再分類した。

避難場所・避難所の認知において３項目をいくつ知っているかについて、「すべてを知っている」（49.1%）が５割弱、「どれか１つでも知っている」（38.9%）が４割近く、「どれも知らない」（11.4%）が１割強となっている。

過去４年間の経年推移をみると、「すべてを知っている」では、平成 26 年度（48.5%）から平成 27 年度（53.2%）にかけて 4.7 ポイント高くなったが、平成 28 年度（49.2%）から平成 29 年度（49.1%）にかけて変化はみられない。（**図３－１１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

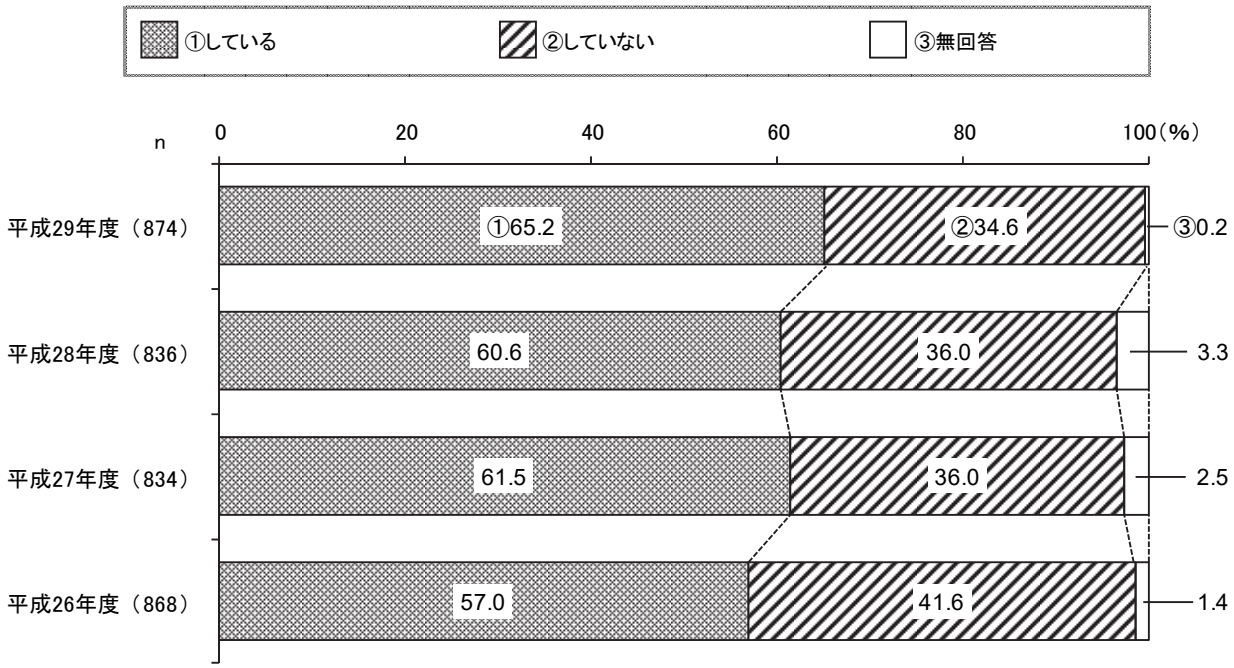
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、第一次避難所、広域避難場所を理解している区民の割合	被害を最小限にとどめ、区民の安全を確保するためには、避難場所等を知っていることは重要なため	23.8%	49.1%	80.0%

（２）家庭内の防災対策

◎「している」が６割台半ば

問２０　あなたのご家庭では、日ごろ防災対策をしていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　している	65.2%
2　していない	34.6
無回答	0.2

図３－１２　家庭内の防災対策（経年推移）



家庭内の防災対策について、「している」（65.2%）が６割台半ば、「していない」（34.6%）は３割台半ば近くとなっている。

過去４年間の経年推移をみると、「している」では、平成 26 年度（57.0%）から平成 29 年度（65.2%）にかけて 8.2 ポイント高くなっている。（**図３－１２**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	家庭内での防災対策の実施が一人ひとりの防災意識を高め、災害への対応能力の向上につながるため	81.5%	65.2%	90.0%

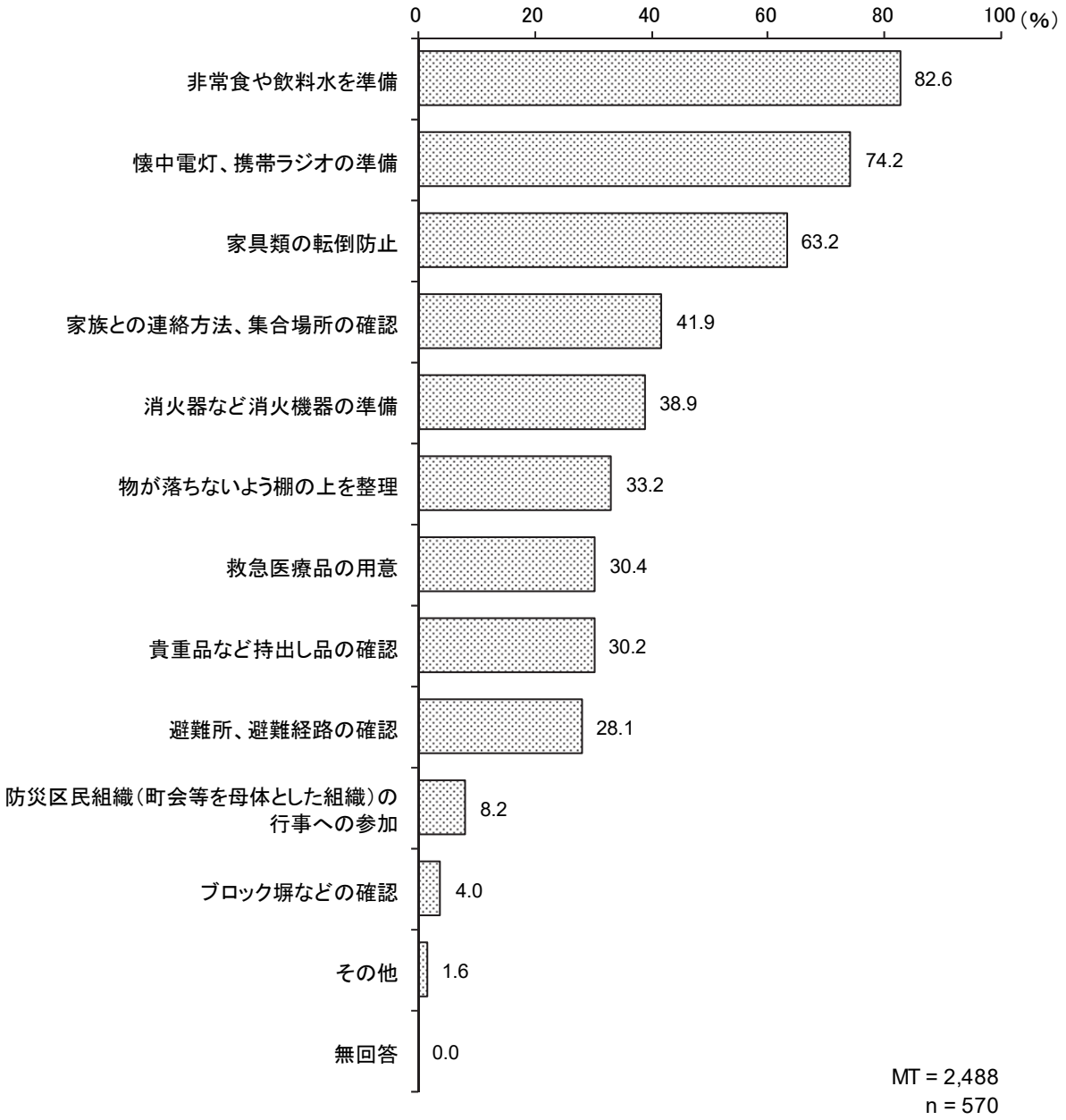
（３）防災対策の内容

◎「非常食や飲料水を準備」が８割強

問２０－１　問２０で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような対策をしていますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=570）
1	家具類の転倒防止	63.2%
2	物が落ちないよう棚の上を整理	33.2
3	非常食や飲料水を準備	82.6
4	貴重品など持出し品の確認	30.2
5	消火器など消火機器の準備	38.9
6	懐中電灯、携帯ラジオの準備	74.2
7	救急医療品の用意	30.4
8	家族との連絡方法、集合場所の確認	41.9
9	ブロック塀などの確認	4.0
10	避難所、避難経路の確認	28.1
11	防災区民組織（町会等を母体とした組織）の行事への参加	8.2
12	その他	1.6
	無回答	0.0

図３－１３　防災対策の内容



防災対策の内容について、「非常食や飲料水を準備」（82.6%）が８割強で最も高く、次いで「懐中電灯、携帯ラジオの準備」（74.2%）が７割台半ば近く、「家具類の転倒防止」（63.2%）が６割台半ば近くと続いている。（**図３－１３**）

［５］安全・安心

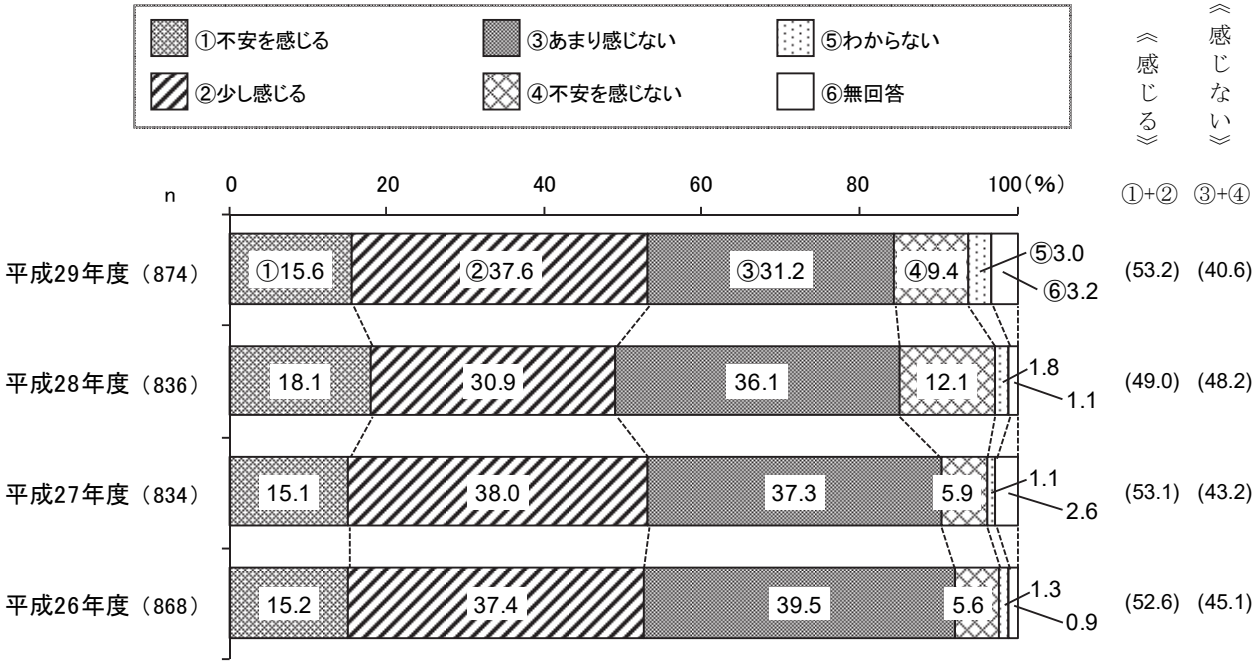
（１）犯罪への不安

◎不安を《感じない》が約４割

問２１　あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。
（○は１つ）

		(n=874)
1	不安を感じる	15.6%
2	少し感じる	37.6
3	あまり感じない	31.2
4	不安を感じない	9.4
5	わからない	3.0
	無回答	3.2

図３－１４　犯罪への不安（経年推移）



犯罪への不安について、「不安を感じる」（15.6%）と「少し感じる」（37.6%）を合わせた《感じる》（53.2%）が５割台半ば近くとなっている。一方、「あまり感じない」（31.2%）と「不安を感じない」（9.4%）を合わせた《感じない》（40.6%）が約４割となっている。

過去４年間の経年推移をみると、《感じない》では、平成 28 年度（48.2%）から平成 29 年度（40.6%）にかけて 7.6 ポイント低くなっている。（**図３－１４**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
区民の日常生活における安心度	居住地域での犯罪への不安を感じない区民の割合	安全・安心な生活については個々の施策の実施状況とあわせ、安心して暮らしているかどうかの実感が重要なため	22.8%	40.6%	↗

（２）不安を感じる理由

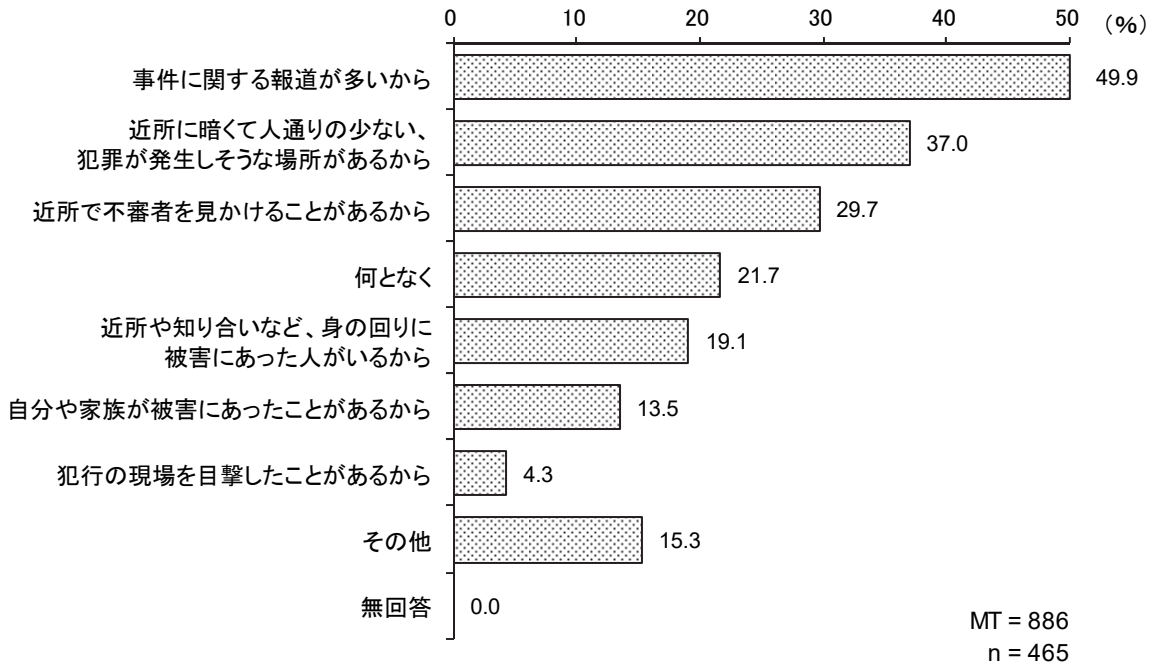
◎「事件に関する報道が多いから」が５割弱

問２１－１　問２１で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
不安を感じる理由はなんですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=465）

1	事件に関する報道が多いから	49.9%
2	近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから	37.0
3	近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから	19.1
4	近所で不審者を見かけることがあるから	29.7
5	自分や家族が被害にあったことがあるから	13.5
6	犯行の現場を目撃したことがあるから	4.3
7	何となく	21.7
8	その他	15.3
	無回答	0.0

図３－１５　不安を感じる理由



不安を感じる理由としては、「事件に関する報道が多いから」（49.9%）が５割弱で最も高くなっている。次いで「近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから」（37.0%）が３割台半ばを超え、「近所で不審者を見かけることがあるから」（29.7%）が３割弱と続いている。（**図３－１５**）

（３）安全・安心のまちにするための取り組み

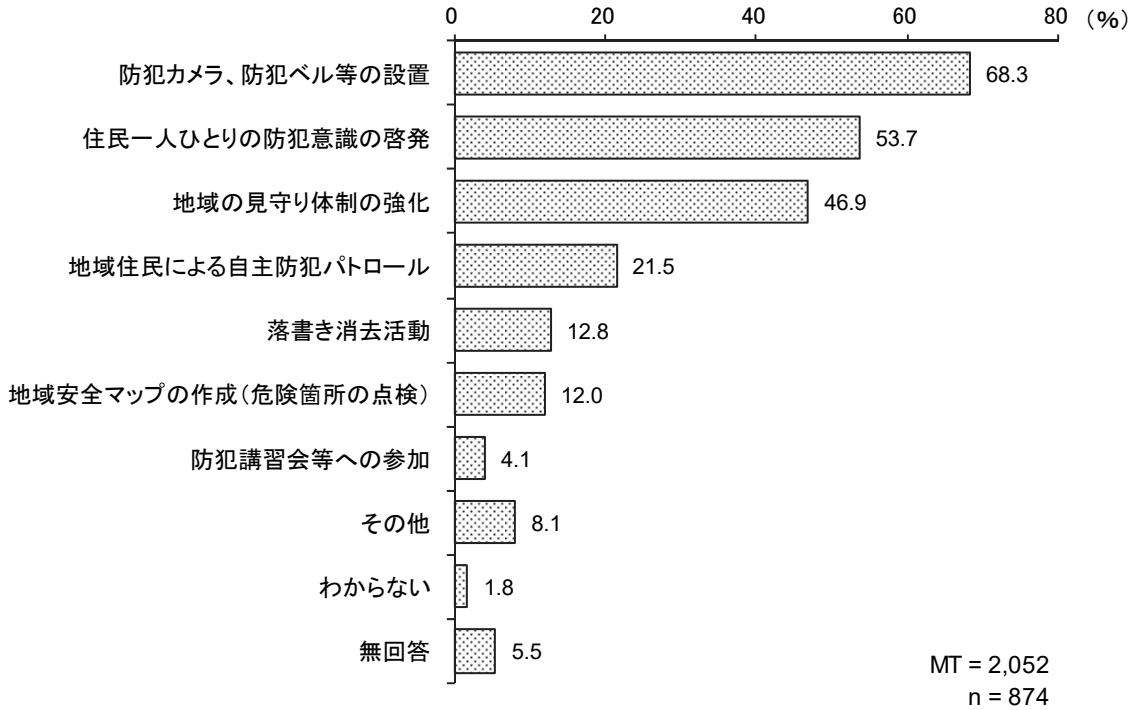
◎「防犯カメラ、防犯ベル等の設置」が７割近く

問２２　あなたは、犯罪の起こりにくい、安全・安心のまちにするためにどのような取り組みが有効だと思いますか。（○は３つまで）

（n=874）

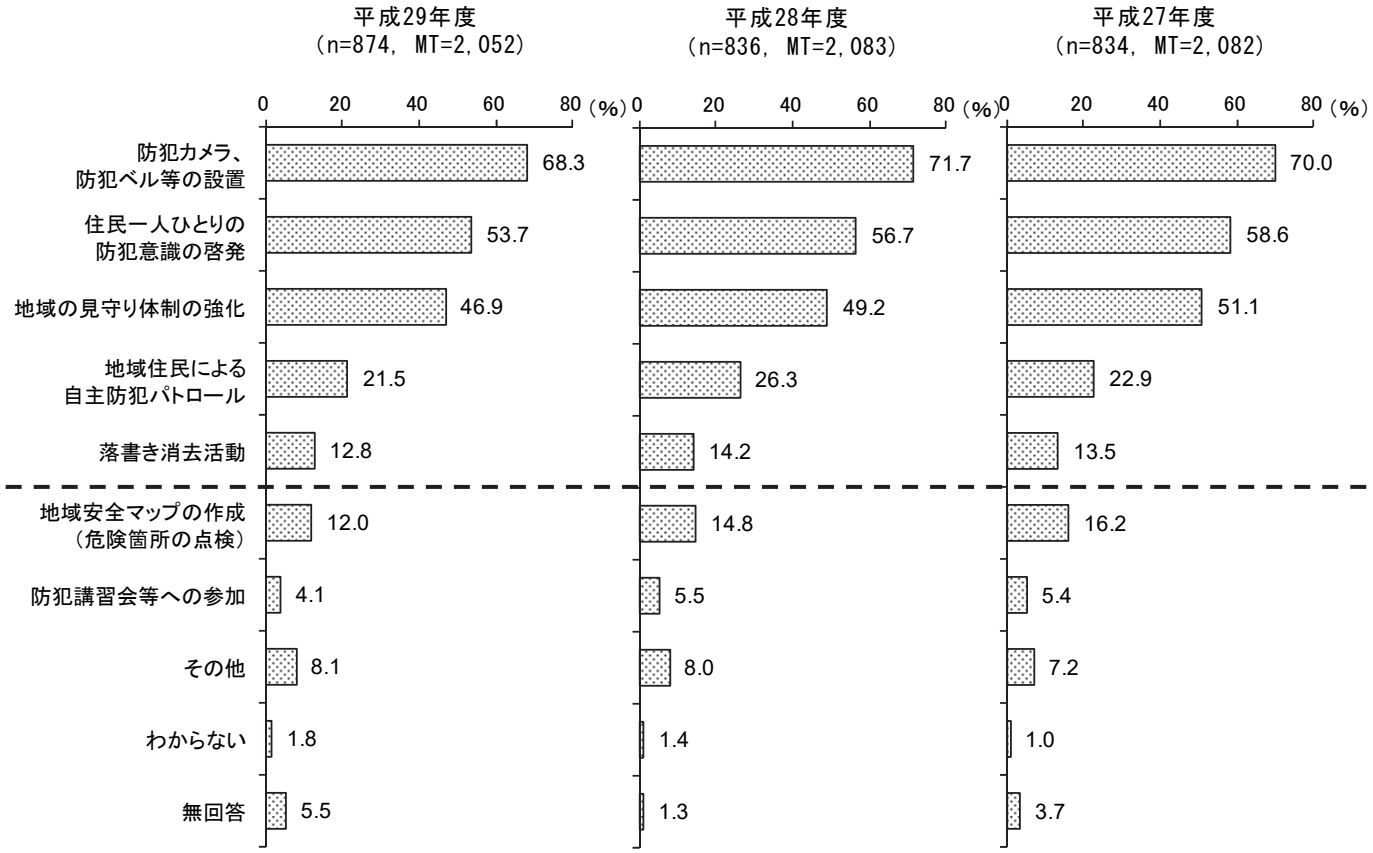
1	住民一人ひとりの防犯意識の啓発	53.7%
2	地域の見守り体制の強化	46.9
3	地域住民による自主防犯パトロール	21.5
4	防犯カメラ、防犯ベル等の設置	68.3
5	地域安全マップの作成（危険箇所の点検）	12.0
6	落書き消去活動	12.8
7	防犯講習会等への参加	4.1
8	その他	8.1
9	わからない	1.8
	無回答	5.5

図３－１６　安全・安心のまちにするための取り組み



安全・安心のまちにするための取り組みについて、「防犯カメラ、防犯ベル等の設置」（68.3%）が７割近くで最も高くなっている。次いで「住民一人ひとりの防犯意識の啓発」（53.7%）が５割台半ば近く、「地域の見守り体制の強化」（46.9%）が４割台半ばを超え、続いている。（**図３－１６**）

図３－１７　安全・安心のまちにするための取り組み（経年推移）



過去３年間の経年推移をみると、「防犯カメラ、防犯ベル等の設置」、「住民一人ひとりの防犯意識の啓発」、「地域の見守り体制の強化」は各年度ともすべて４割を超えて上位３位以内となっている。一方、「地域安全マップの作成（危険箇所の点検）」が年々低くなっている。（**図３－１７**）

［６］安全な消費生活

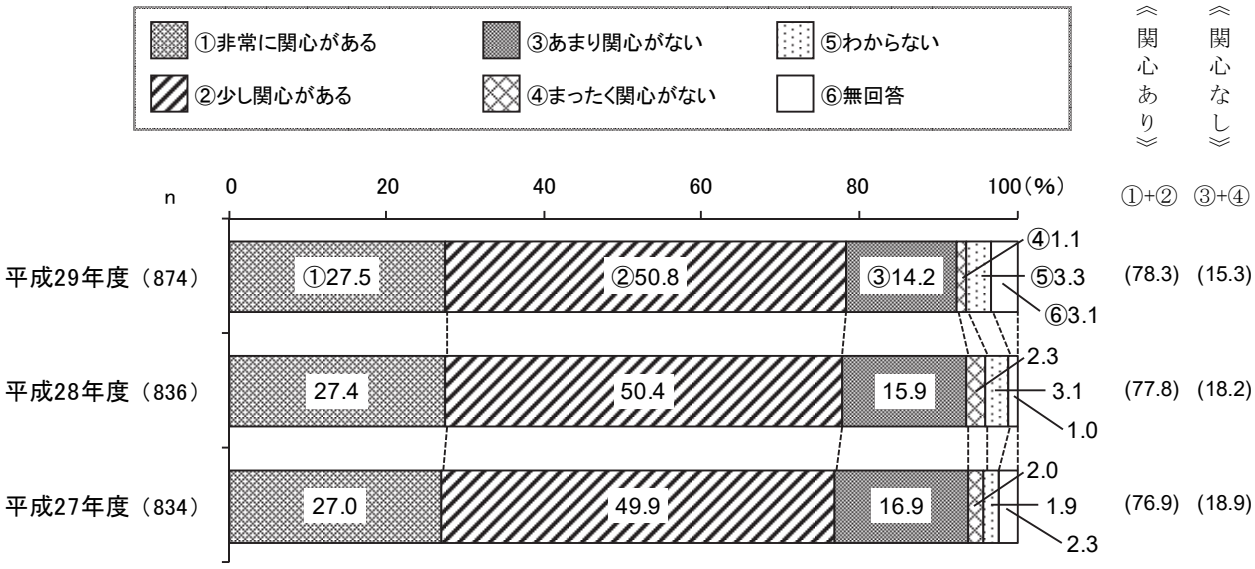
（１）消費者問題への関心度

◎《関心あり》が８割近く

問２３　あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。（○は１つ）

		（n=874）
1	非常に関心がある	27.5%
2	少し関心がある	50.8
3	あまり関心がない	14.2
4	まったく関心がない	1.1
5	わからない	3.3
	無回答	3.1

図３－１８　消費者問題への関心度（経年推移）



消費者問題への関心度について、「非常に関心がある」（27.5%）と「少し関心がある」（50.8%）を合わせた《関心あり》（78.3%）が８割近くとなっている。一方、「あまり関心がない」（14.2%）と「まったく関心がない」（1.1%）を合わせた《関心なし》（15.3%）は１割台半ばとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、《関心あり》では、平成 27 年度（76.9%）から平成 29 年度（78.3%）にかけて 1.4 ポイント高く、わずかながら年々高くなっている。

（図３－１８）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

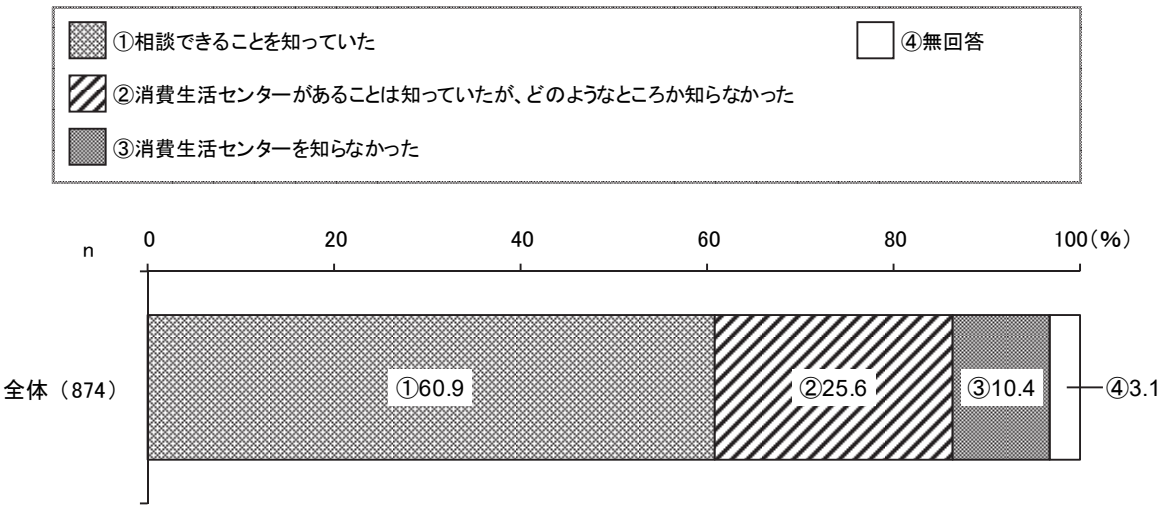
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	消費者問題に対して関心がある区民の割合により情報提供や普及啓発の進捗状況を計るため	82.5%	78.3%	↗

（２）区の消費生活センターへの相談

◎「相談できることを知っていた」が約６割

問２４	あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。（○は１つ）	
		（n=874）
1	相談できることを知っていた	60.9%
2	消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった	25.6
3	消費生活センターを知らなかった	10.4
	無回答	3.1

図３－１９　区の消費生活センターへの相談



区の消費生活センターへの相談について、「相談できることを知っていた」（60.9%）が約６割、「消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった」（25.6%）が２割台半ば、「消費生活センターを知らなかった」（10.4%）は約１割となっている。（**図３－１９**）

基本目標Ⅳ　持続可能な都市と環境を創造するまち

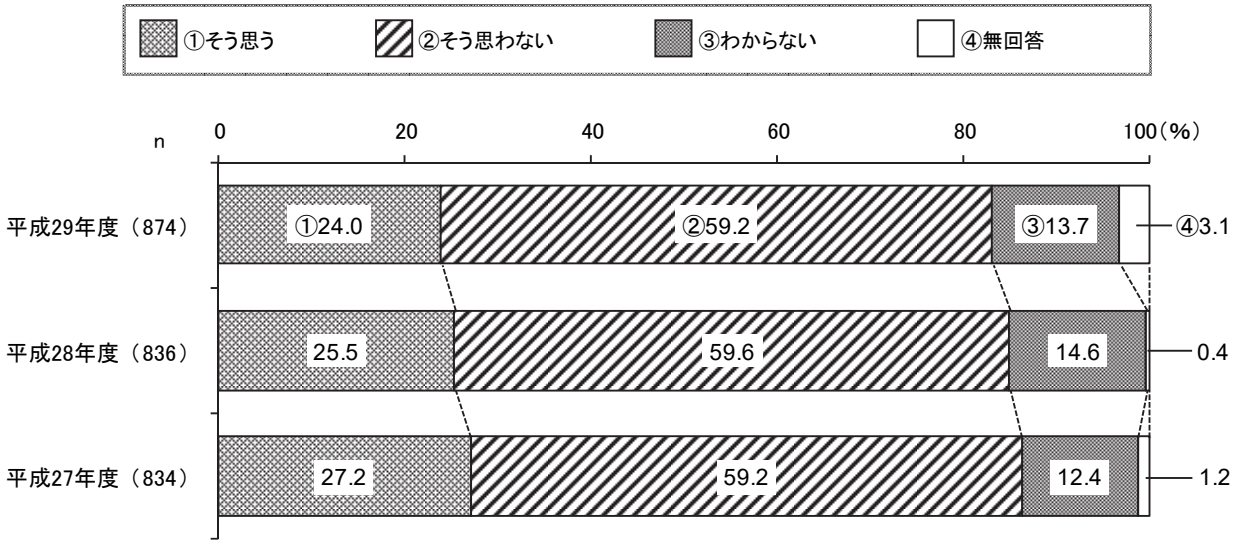
［１］安全で快適な道路

（１）道路の歩きやすさの満足度

◎「そう思う」が２割台半ば近く

問２５　新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　そう思う	24.0%
2　そう思わない	59.2
3　わからない	13.7
無回答	3.1

図４－１　道路の歩きやすさの満足度（経年推移）



道路の歩きやすさの満足度について、「そう思う」（24.0%）が２割台半ば近く、「そう思わない」（59.2%）が６割弱、「わからない」（13.7%）が１割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、「そう思う」では、平成 27 年度（27.2%）から平成 29 年度（24.0%）にかけて 3.2 ポイント低下し、年々低くなっている。**（図４－１）**

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	「歩きやすさ」を感じる区民の割合の増減で、放置自転車対策や道路整備の状況を検証するため	17.3%	24.0%	↗

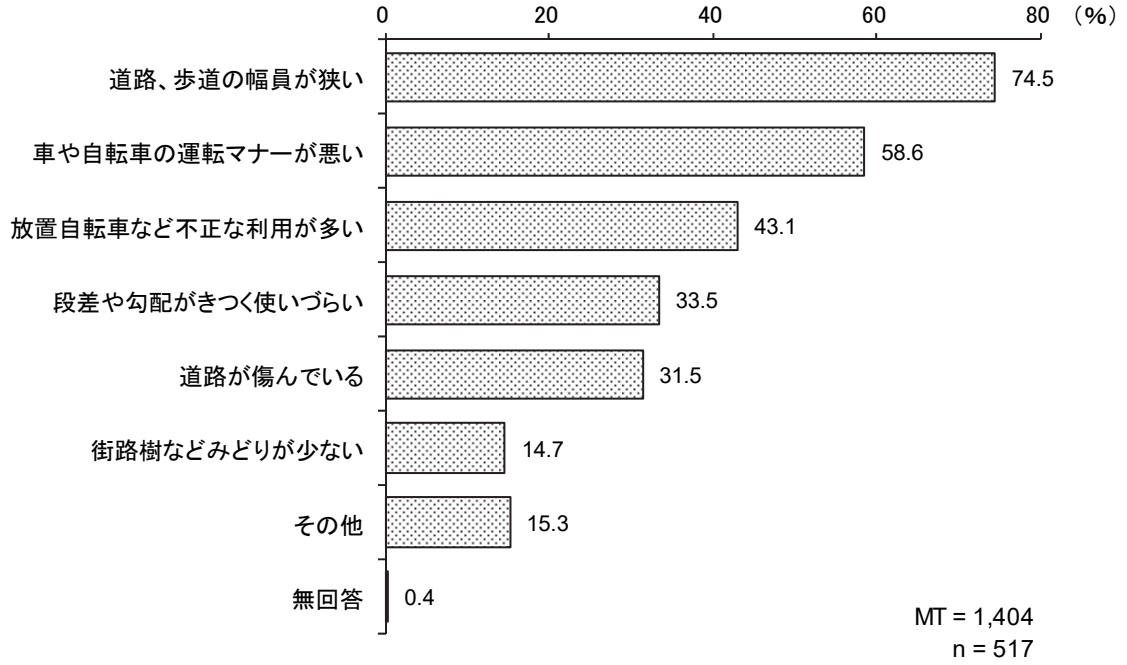
（２）安全で快適な道路だと思わない理由

◎「道路、歩道の幅員が狭い」が７割台半ば近く

問２５－１　問２５で、「２」に○をした方にお伺いします。
そう思わない理由はなんですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=517）
1	道路が傷んでいる	31.5%
2	段差や勾配がきつく使いづらい	33.5
3	道路、歩道の幅員が狭い	74.5
4	街路樹などみどりが少ない	14.7
5	放置自転車など不正な利用が多い	43.1
6	車や自転車の運転マナーが悪い	58.6
7	その他	15.3
	無回答	0.4

図４－２　安全で快適な道路だと思わない理由



安全で快適な道路だと思わない理由としては、「道路、歩道の幅員が狭い」（74.5%）が７割台半ば近くで最も高くなっている。次いで「車や自転車の運転マナーが悪い」(58.6%)が６割近く、「放置自転車など不正な利用が多い」（43.1%）が４割台半ば近くと続いている。（図４－２）

基本目標Ⅴ　まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

［１］美しいまちづくり

（１）新宿区全体の景観に対する区民意識

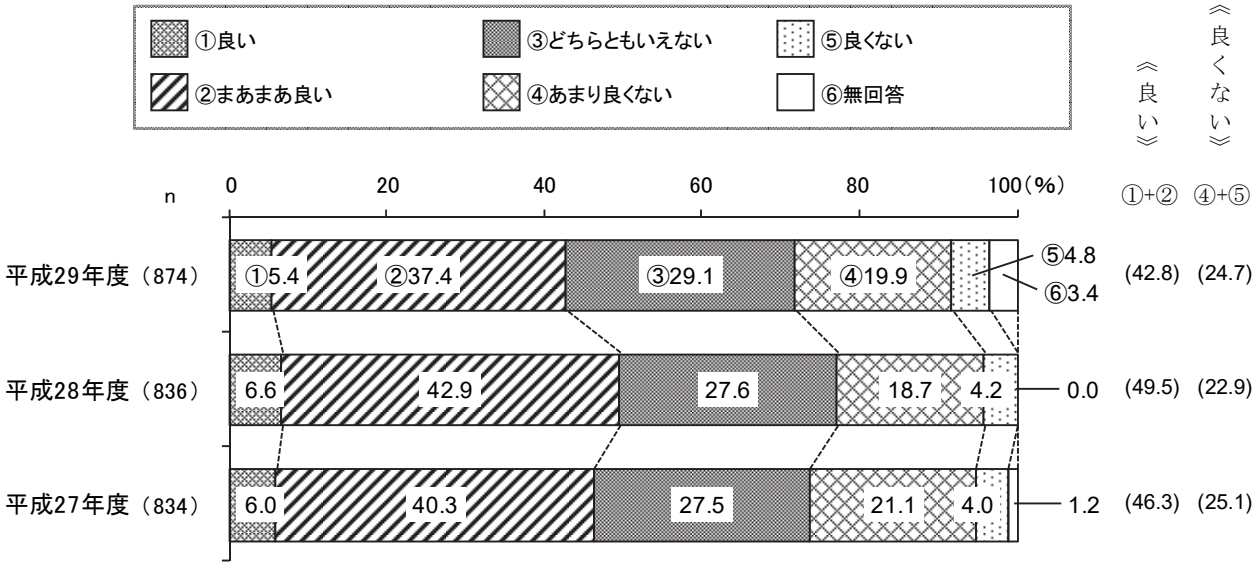
◎《良い》が４割強

問２６　あなたは、新宿区全体のまちなみや景観は良いと思いますか。（○は１つ）

（n=874）

1	良い	5.4%
2	まあまあ良い	37.4
3	どちらともいえない	29.1
4	あまり良くない	19.9
5	良くない	4.8
	無回答	3.4

図５－１　新宿区全体の景観に対する区民意識（経年推移）



新宿区全体の景観に対する区民意識について、「良い」（5.4%）と「まあまあ良い」（37.4%）を合わせた《良い》（42.8%）が４割強となっている。一方、「あまり良くない」（19.9%）と「良くない」（4.8%）を合わせた《良くない》（24.7%）は２割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、《良い》では、平成 28 年度（49.5%）から平成 29 年度（42.8%）にかけて 6.7 ポイント低くなっている。（**図５－１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

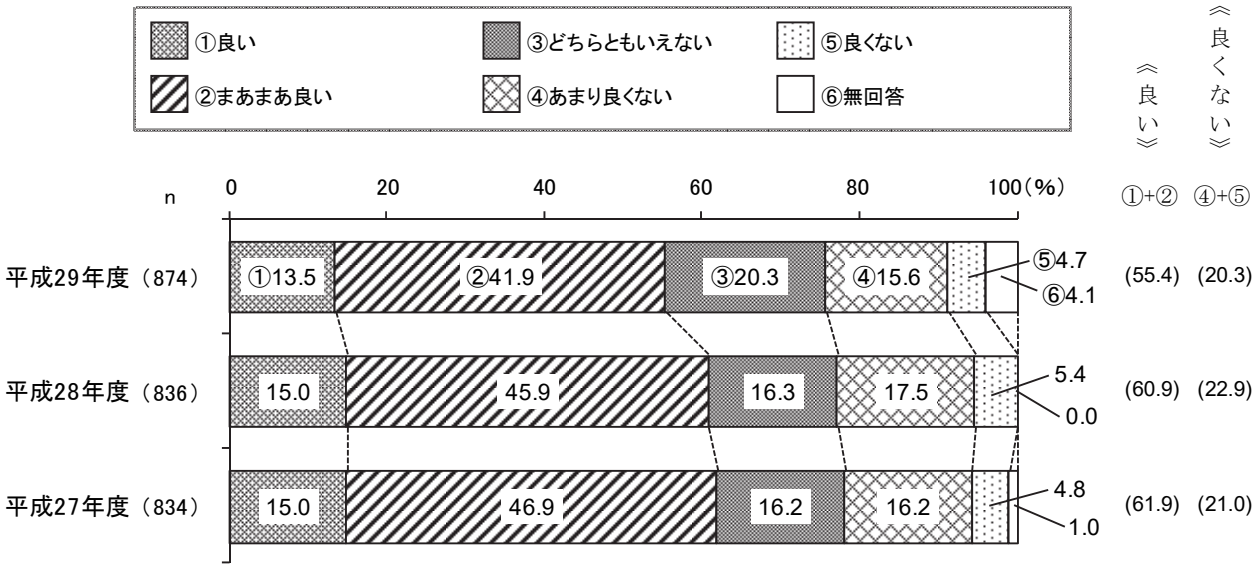
指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
景観に対する区民意識	まちなみや景観が良いと感じる区民の割合	美しい景観が実感できるか区民の意識を把握するため	28.1%	42.8%	↗

（２）居住地域の景観に対する区民意識

◎《良い》が５割台半ば

問２７　あなたは、お住まいの地域のまちなみや景観は良いと思いますか。（○は１つ）		
		(n=874)
1	良い	13.5%
2	まあまあ良い	41.9
3	どちらともいえない	20.3
4	あまり良くない	15.6
5	良くない	4.7
	無回答	4.1

図５－２　居住地域の景観に対する区民意識（経年推移）



居住地域の景観に対する区民意識について、「良い」(13.5%) と「まあまあ良い」(41.9%) を合わせた《良い》(55.4%) が５割台半ばとなっている。一方、「あまり良くない」(15.6%) と「良くない」(4.7%) を合わせた《良くない》(20.3%) は約２割となっている。

過去３年間の経年推移をみると、《良い》では、平成 27 年度 (61.9%) から平成 29 年度 (55.4%) にかけて 6.5 ポイント低下し、年々低くなっている。**（図５－２）**

（３）新宿の景観づくりに重要なこと

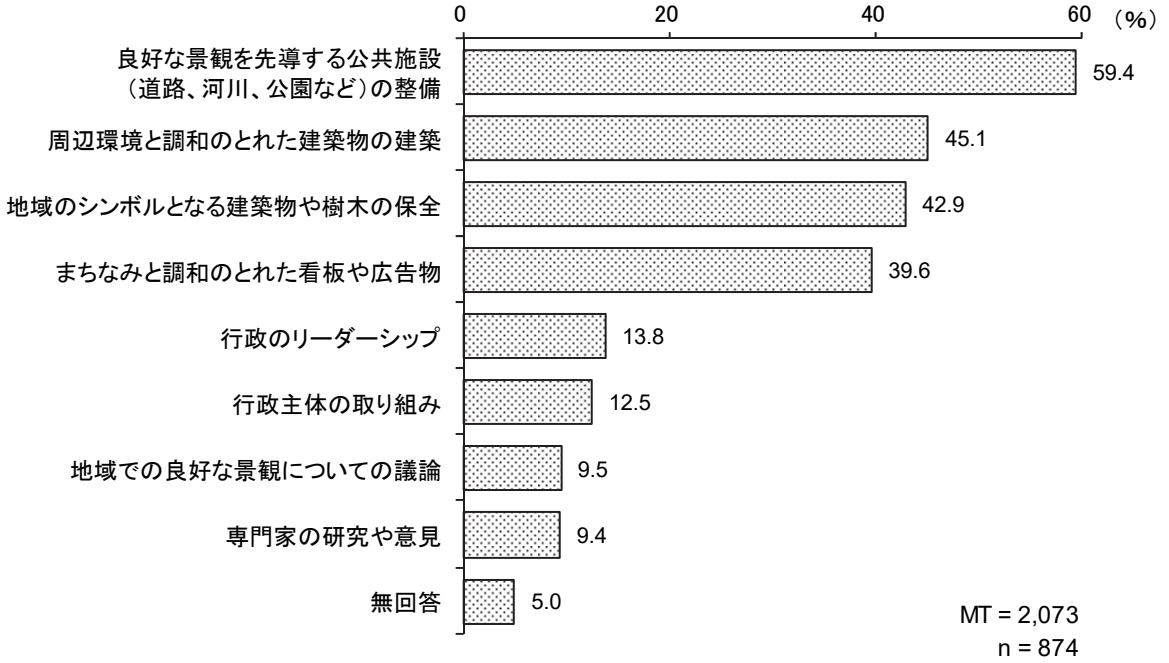
◎「良好な景観を先導する公共施設（道路、河川、公園など）の整備」が６割弱

問２８　あなたは、これからの新宿の景観づくりで、以下の中ではどれが重要だと思いますか。（○は３つまで）

（n=874）

1	地域のシンボルとなる建築物や樹木の保全	42.9%
2	周辺環境と調和のとれた建築物の建築	45.1
3	良好な景観を先導する公共施設（道路、河川、公園など）の整備	59.4
4	まちなみと調和のとれた看板や広告物	39.6
5	行政のリーダーシップ	13.8
6	行政主体の取り組み	12.5
7	地域での良好な景観についての議論	9.5
8	専門家の研究や意見	9.4
	無回答	5.0

図５－３　新宿の景観づくりに重要なこと



新宿の景観づくりに重要なことについて、「良好な景観を先導する公共施設（道路、河川、公園など）の整備」（59.4%）が６割弱で最も高くなっている。次いで「周辺環境と調和のとれた建築物の建築」（45.1%）が４割台半ば、「地域のシンボルとなる建築物や樹木の保全」（42.9%）が４割強、「まちなみと調和のとれた看板や広告物」（39.6%）が４割弱と続いている。（**図５－３**）

［２］地域特性をふまえたまちづくり

（１）地域の特性をふまえたまちづくりへの意識

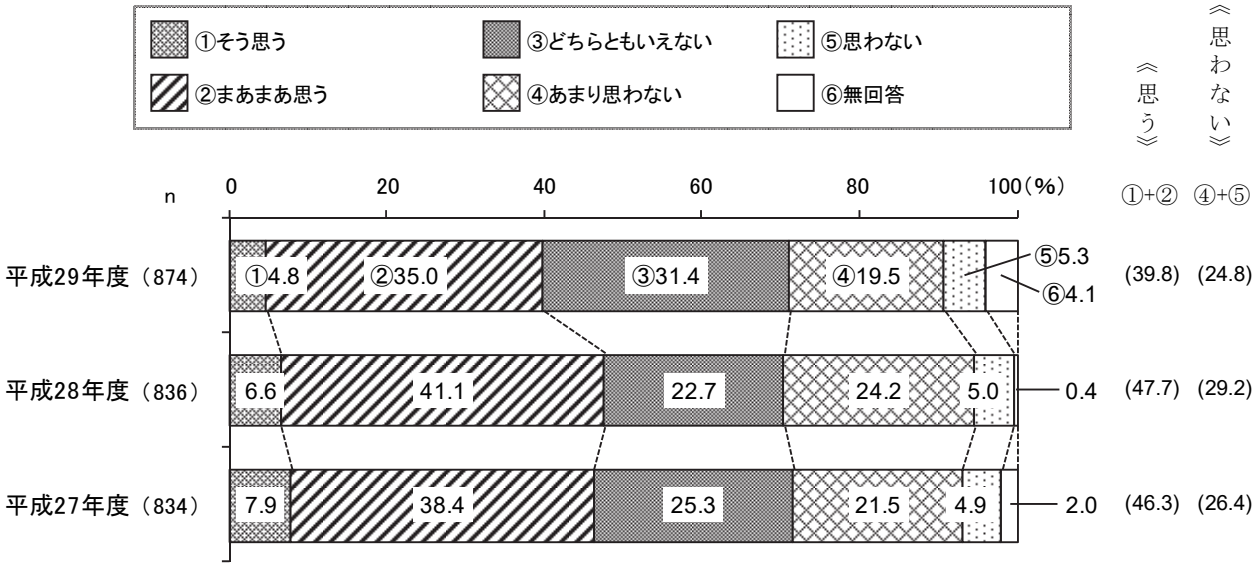
◎《思う》が４割弱

問２９　あなたは、新宿区では、地域の特性を活かして、住宅地における良好な居住環境の保全や商業地における賑わいの創出などを目指していくまちづくりが行われていると思いますか。（○は１つ）

（n=874）

1	そう思う	4.8%
2	まあまあ思う	35.0
3	どちらともいえない	31.4
4	あまり思わない	19.5
5	思わない	5.3
	無回答	4.1

図５－４　地域の特性をふまえたまちづくりへの意識（経年推移）



地域の特性をふまえたまちづくりへの意識について、「そう思う」（4.8%）と「まあまあ思う」（35.0%）を合わせた《思う》（39.8%）が４割弱、「あまり思わない」（19.5%）と「思わない」（5.3%）を合わせた《思わない》（24.8%）は２割台半ば近くとなっている。

過去３年間の経年推移をみると、《思う》では、平成 28 年度（47.7%）から平成 29 年度（39.8%）にかけて 7.9 ポイント低くなっている。（**図５－４**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
地域特性を踏まえたまちづくり	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	地域特性を踏まえたまちづくりを区民の実感で示すため	10.1%	39.8%	↗

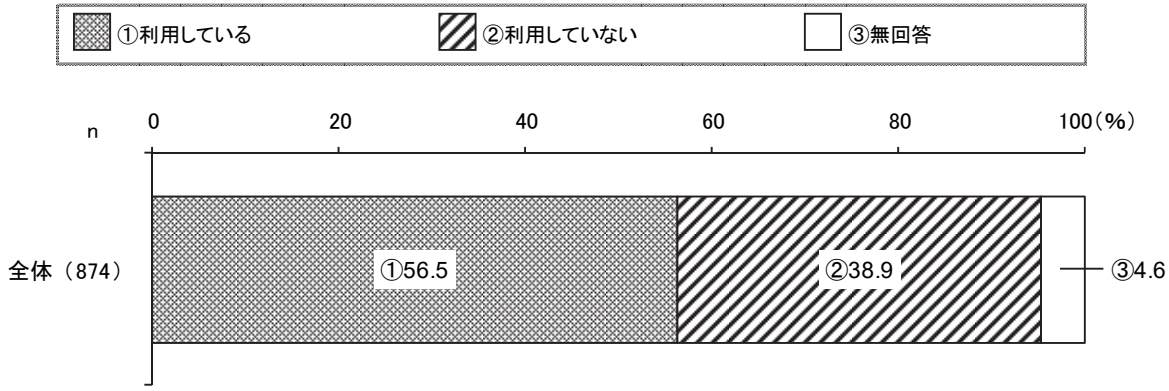
［３］公園整備

（１）公園の利用状況

◎「利用している」が５割台半ばを超え、「利用していない」が４割近く

問３０　あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　利用している	56.5%
2　利用していない	38.9
無回答	4.6

図５－５　公園の利用状況



公園の利用状況について、「利用している」（56.5%）が５割台半ばを超え、「利用していない」（38.9%）が４割近くとなっている。（**図５－５**）

（２）公園の満足度

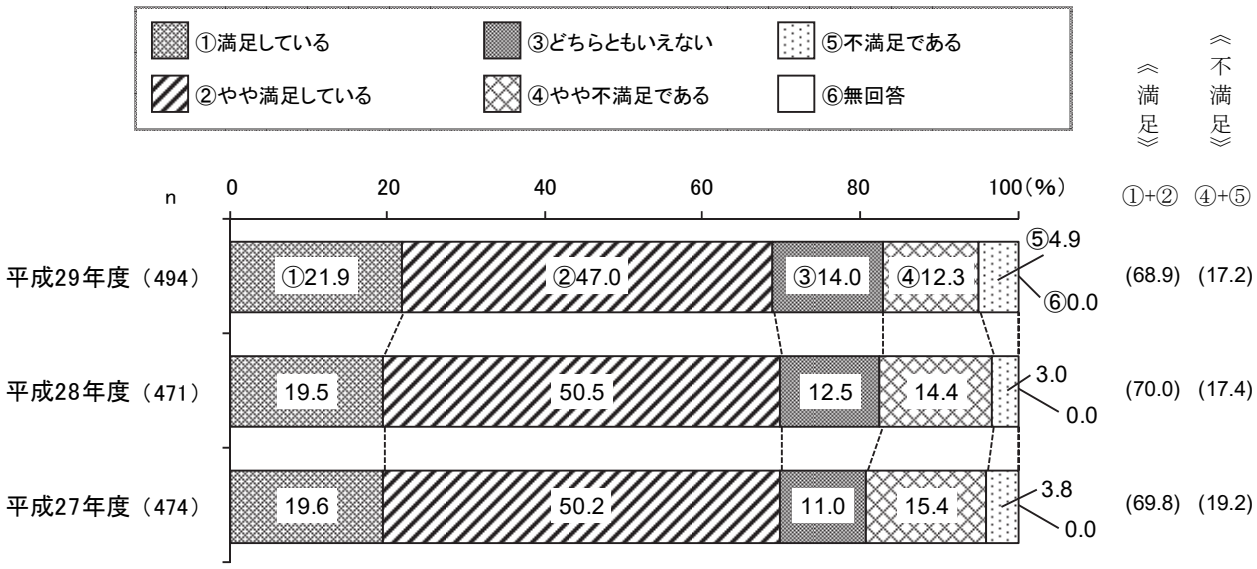
◎《満足》が７割近く

問３０－１　問３０で、「１」に○をした方にお伺いします。
新宿区内の公園に満足していますか。（○は１つ）

（n=494）

1	満足している	21.9%
2	やや満足している	47.0
3	どちらともいえない	14.0
4	やや不満足である	12.3
5	不満足である	4.9
	無回答	0.0

図５－６　公園の満足度（経年推移）



公園の満足度について、「満足している」（21.9%）と「やや満足している」（47.0%）を合わせた《満足》（68.9%）が７割近くとなっている。一方、「やや不満足である」（12.3%）と「不満足である」（4.9%）を合わせた《不満足》（17.2%）が１割台半ばを超えている。

過去３年間の経年推移をみると、割合に大きな変化はみられない。（**図５－６**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	公園利用者の満足度を把握するため	55.9%	68.9%	↗

（３）公園を利用しない理由

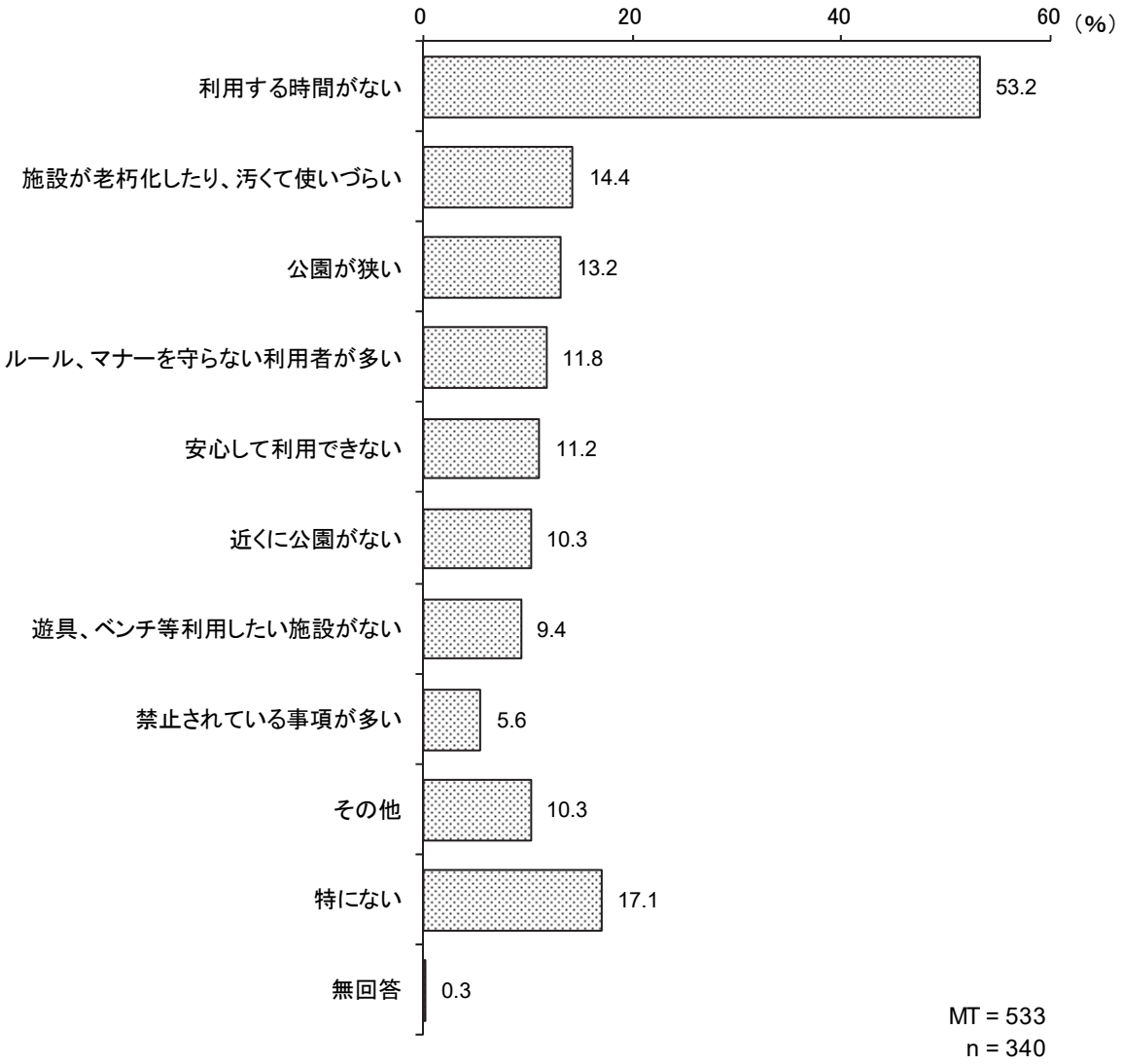
◎「利用する時間がない」が５割台半ば近く

問３０－２　問３０で、「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが公園を利用しない理由は何ですか。（○は３つまで）

（n=340）

1	利用する時間がない	53.2%
2	近くに公園がない	10.3
3	公園が狭い	13.2
4	遊具、ベンチ等利用したい施設がない	9.4
5	安心して利用できない	11.2
6	施設が老朽化したり、汚くて使いづらい	14.4
7	禁止されている事項が多い	5.6
8	ルール、マナーを守らない利用者が多い	11.8
9	その他	10.3
10	特にない	17.1
	無回答	0.3

図５－７　公園を利用しない理由



公園を利用しない理由としては、「利用する時間がない」（53.2%）が５割台半ば近くで最も高くなっている。以下「施設が老朽化したり、汚くて使いづらい」（14.4%）と「公園が狭い」（13.2%）がともに１割台半ば近く、「ルール、マナーを守らない利用者が多い」（11.8%）と「安心して利用できない」（11.2%）がともに１割強となっている。
（図５－７）

（４）地域の公園に望むこと

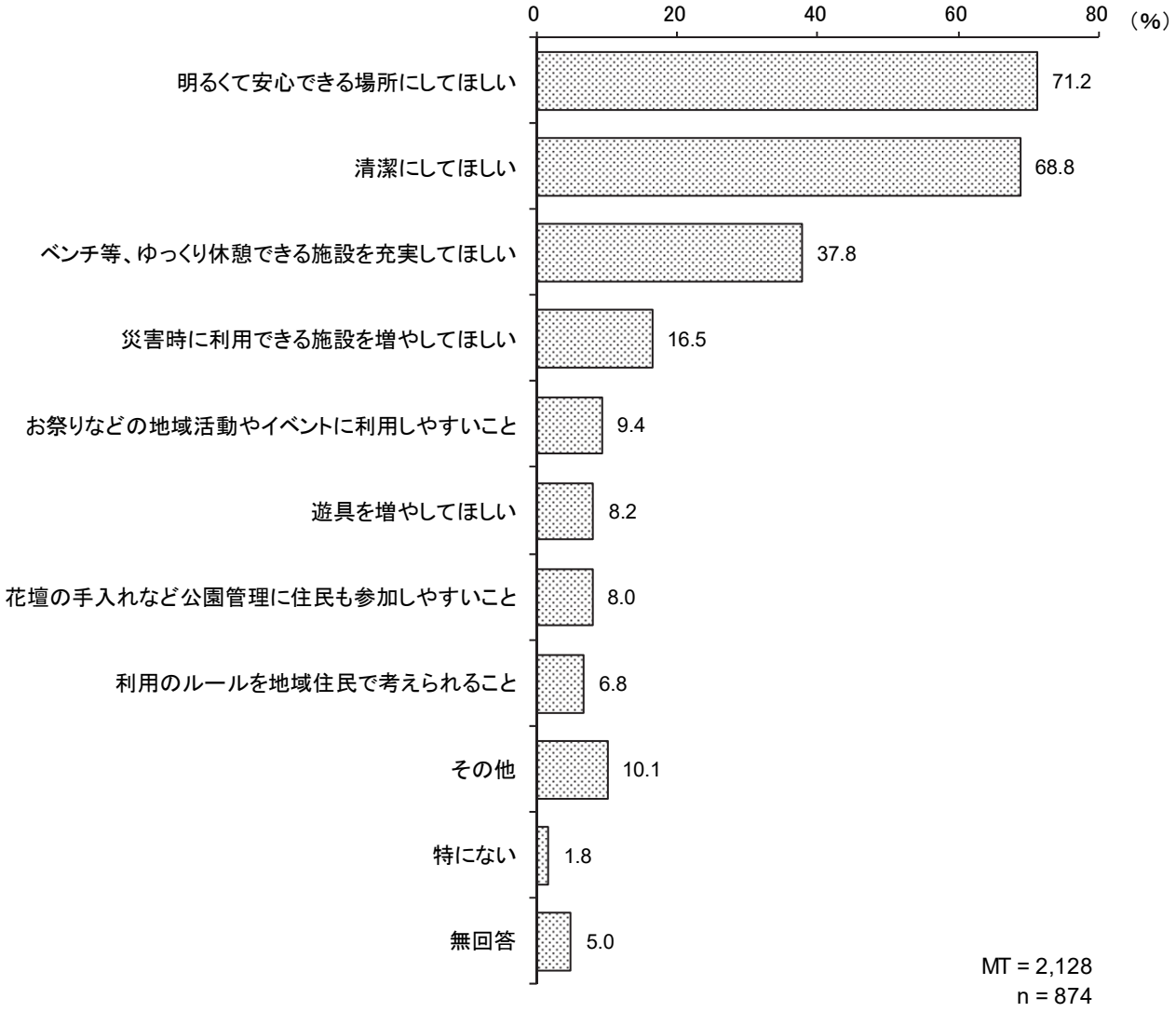
◎「明るくて安心できる場所にしてほしい」が７割強、
「清潔にしてほしい」が７割近く

問３１　あなたが地域の公園に望むことは何ですか。（○は３つまで）

（n=874）

1	清潔にしてほしい	68.8%
2	明るくて安心できる場所にしてほしい	71.2
3	遊具を増やしてほしい	8.2
4	ベンチ等、ゆっくり休憩できる施設を充実してほしい	37.8
5	災害時に利用できる施設を増やしてほしい	16.5
6	お祭りなどの地域活動やイベントに利用しやすいこと	9.4
7	花壇の手入れなど公園管理に住民も参加しやすいこと	8.0
8	利用のルールを地域住民で考えられること	6.8
9	その他	10.1
10	特にない	1.8
	無回答	5.0

図５－８　地域の公園に望むこと



地域の公園に望むことについて、「明るくて安心できる場所にしてほしい」（71.2%）が７割強で最も高く、次いで「清潔にしてほしい」（68.8%）が７割近くと続いている。（図５－８）

基本目標Ⅵ　多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

［１］文化・芸術

（１）新宿区の伝統文化や文化財への関心度

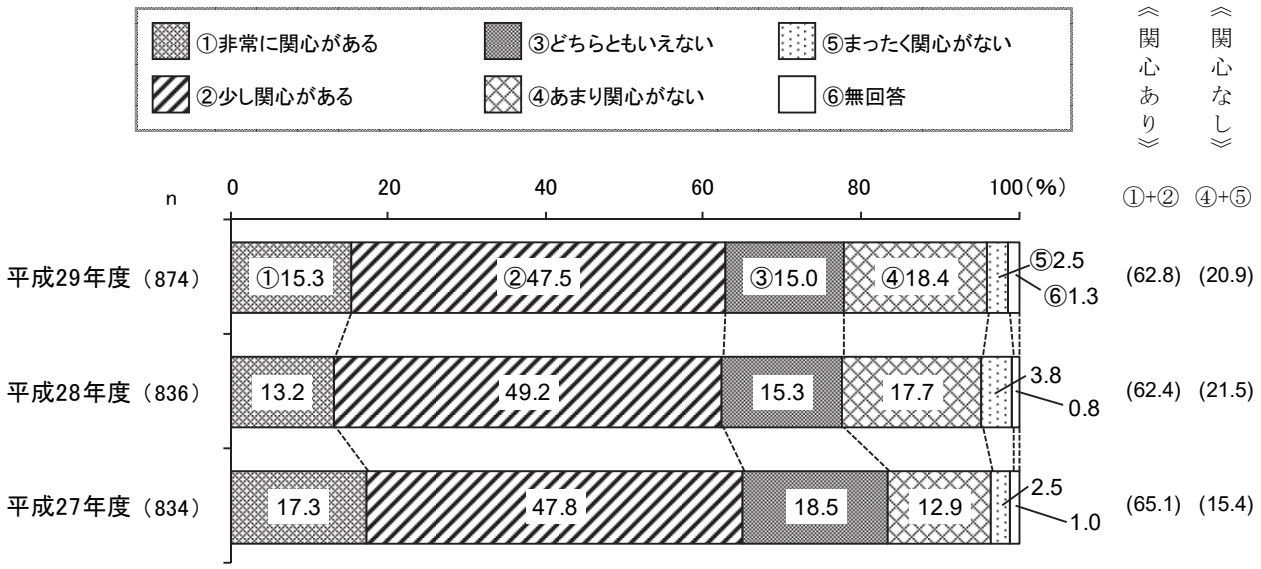
◎《関心あり》が６割強

問３２　あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。（○は１つ）

（n=874）

1	非常に関心がある	15.3%
2	少し関心がある	47.5
3	どちらともいえない	15.0
4	あまり関心がない	18.4
5	まったく関心がない	2.5
	無回答	1.3

図６－１　新宿区の伝統文化や文化財への関心度（経年推移）



新宿区の伝統文化や文化財への関心度について、「非常に関心がある」（15.3%）と「少し関心がある」（47.5%）を合わせた《関心あり》（62.8%）が６割強となっている。一方、「あまり関心がない」（18.4%）と「まったく関心がない」（2.5%）を合わせた《関心なし》（20.9%）は約２割となっている。

過去３年間の経年推移をみると、《関心あり》では、平成 27 年度（65.1%）から平成 29 年度（62.8%）にかけて 2.3 ポイント低くなっている。（**図６－１**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心の有無や深さ	区の伝統文化や文化財の認知度、興味の深さを示すため	69.9%	62.8%	↗

（２）関心のある事柄

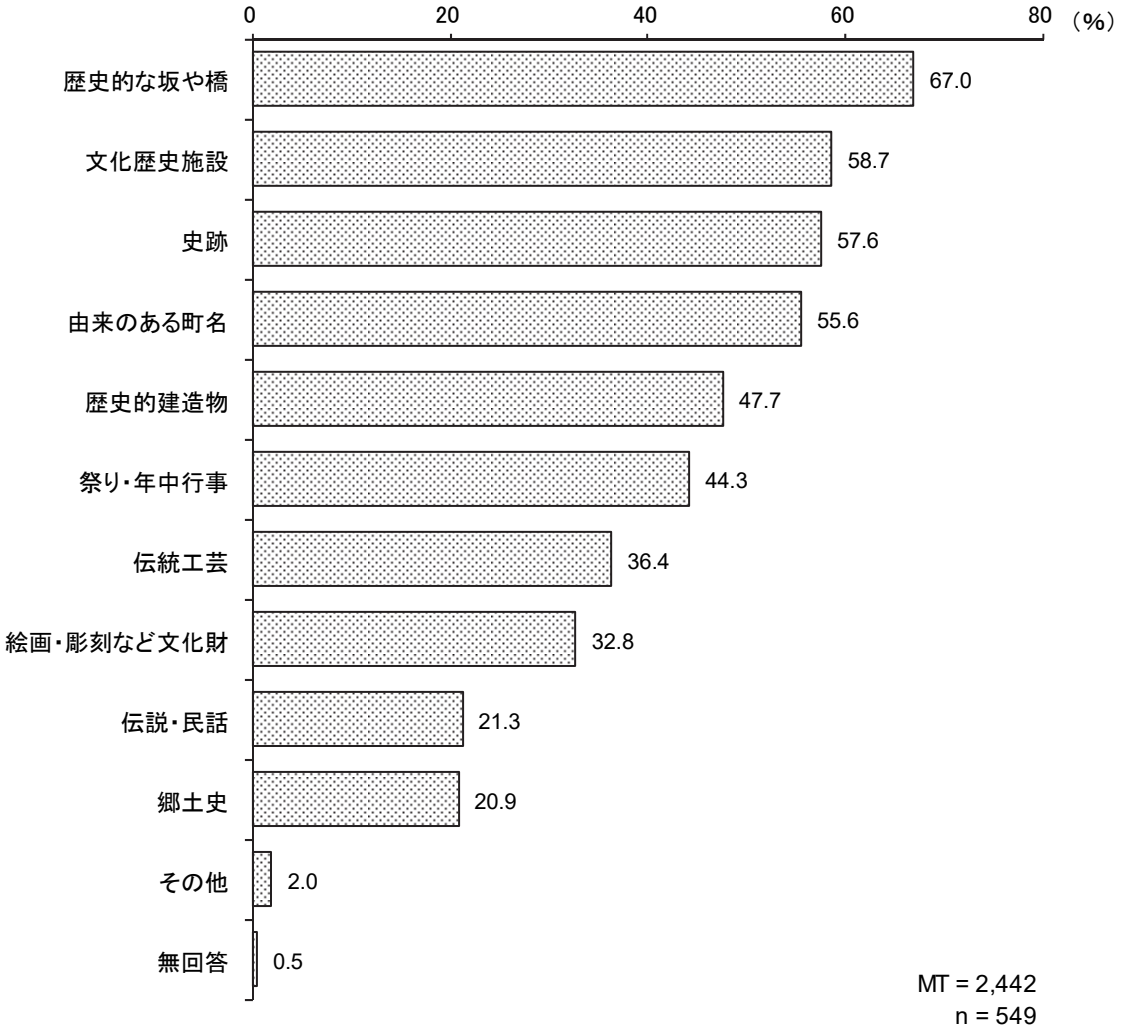
◎「歴史的な坂や橋」が６割台半ばを超え、「文化歴史施設」が６割近く

問３２－１　問３２で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=549）

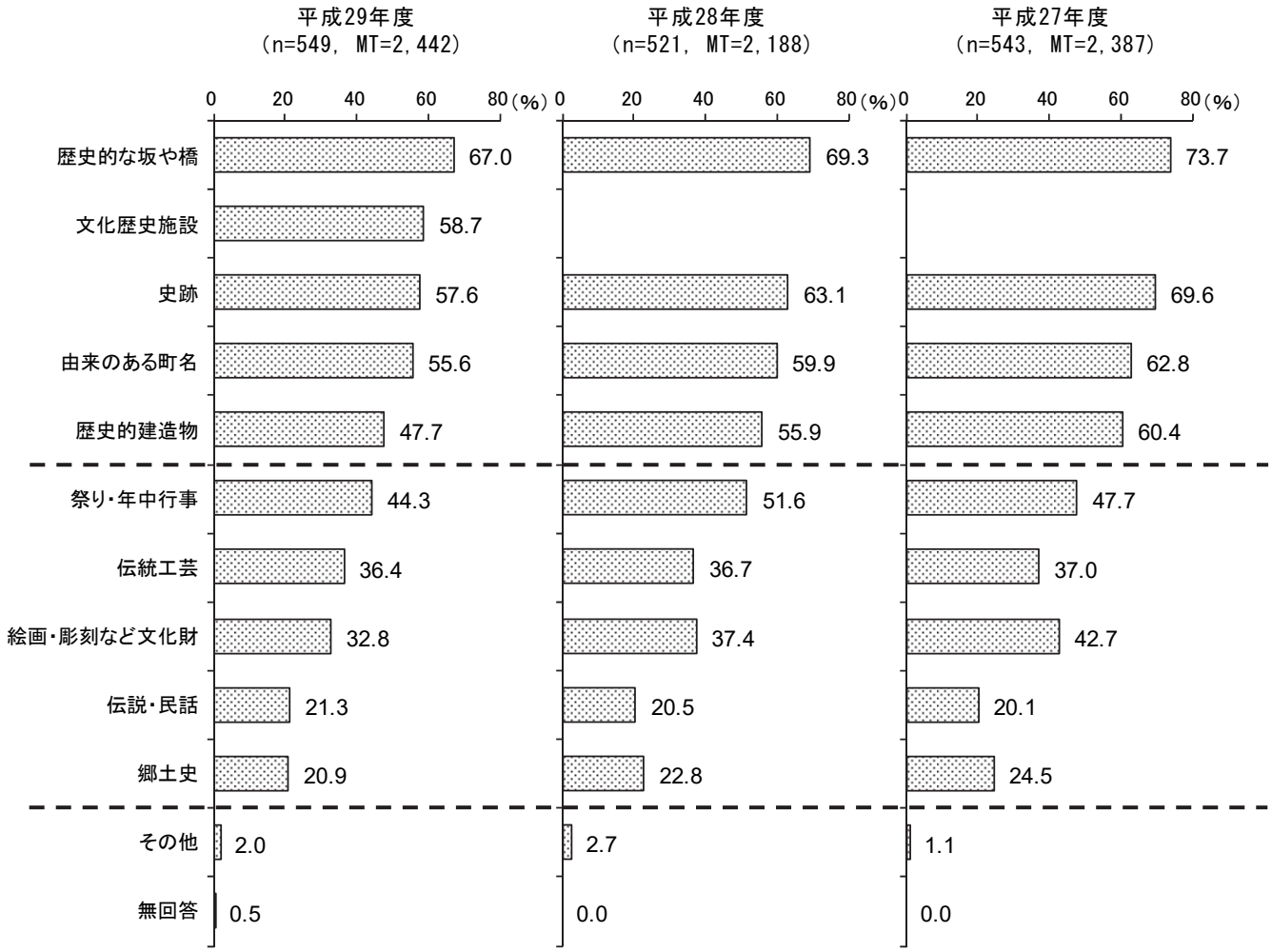
1	史跡	57.6%
	（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）	
2	文化歴史施設	58.7
	（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）	
3	歴史的建造物	47.7
	（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）	
4	由来のある町名	55.6
	（高田馬場・箪笥町など）	
5	歴史的な坂や橋	67.0
	（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）	
6	絵画・彫刻など文化財	32.8
	（善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など）	
7	祭り・年中行事	44.3
	（高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など）	
8	郷土史	20.9
9	伝説・民話	21.3
	（太田道灌の山吹の里・四谷怪談など）	
10	伝統工芸	36.4
	（江戸小紋・つまみかんざしなど）	
11	その他	2.0
	無回答	0.5

図６－２　関心のある事柄



関心のある事柄について、「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）」（67.0%）が６割台半ばを超えて最も高く、次いで「文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）」（58.7%）が６割近く、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」（57.6%）が５割台半ばを超え、「由来のある町名（高田馬場・箪笥町など）」（55.6%）が５割台半ばと続いている。（**図６－２**）

図６－３　関心のある事柄（経年推移）



過去３年間の経年推移をみると、「歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋など）」、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」、「由来のある町名（高田馬場・箪笥町など）」は、各年度とも５割を超えて上位となっている。

「歴史的建造物（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）」では、平成 27 年度（60.4%）から平成 29 年度（47.7%）にかけて 12.7 ポイント、「史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）」では、平成 27 年度(69.6%)から平成 29 年度(57.6%)にかけて 12.0 ポイント、それぞれ低くなっている。（**図６－３**）

（３）文化・芸術に触れる機会の有無

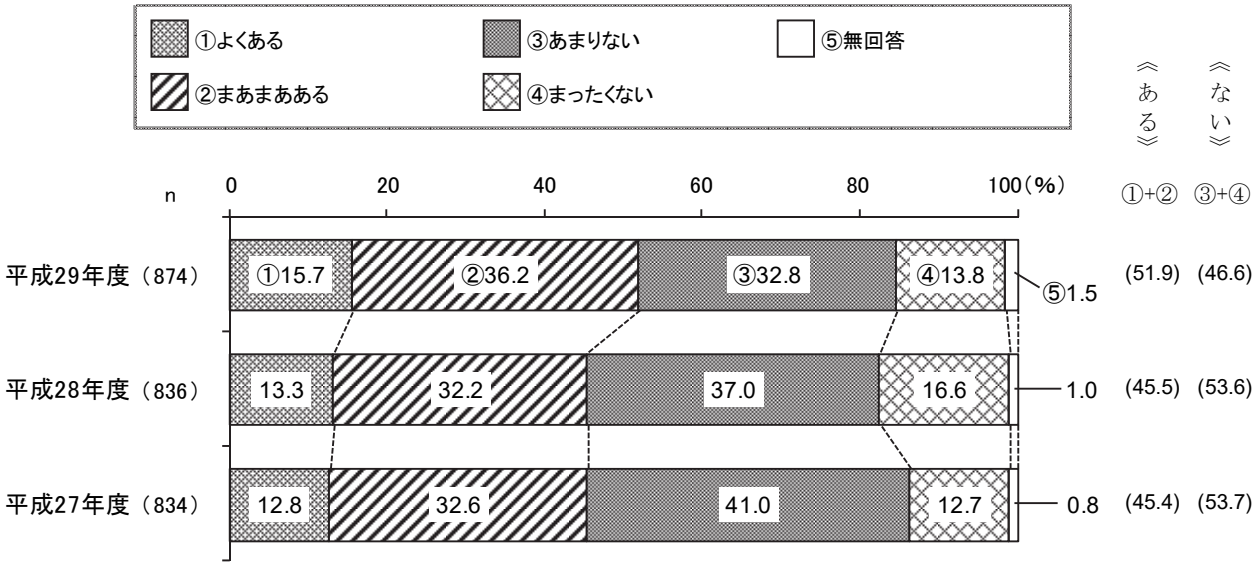
◎《ある》が５割強

問３３　あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。（○は１つ）

（n=874）

1	よくある	15.7%
2	まあまあある	36.2
3	あまりない	32.8
4	まったくない	13.8
	無回答	1.5

図６－４　文化・芸術に触れる機会の有無（経年推移）



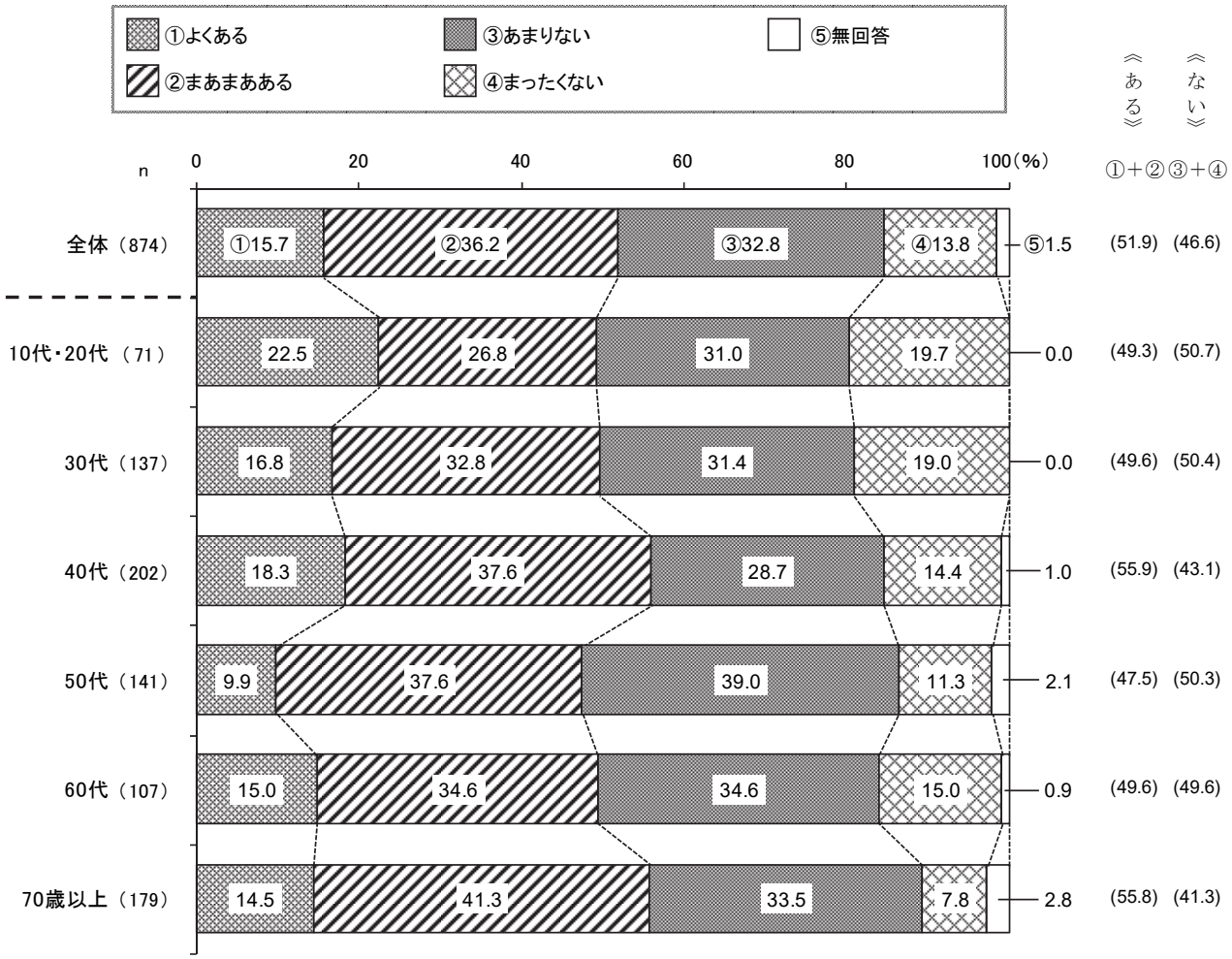
文化・芸術に触れる機会の有無について、「よくある」（15.7%）と「まあまあある」（36.2%）を合わせた《ある》（51.9%）が５割強となっている。一方、「あまりない」（32.8%）と「まったくない」（13.8%）を合わせた《ない》（46.6%）は４割台半ばを超えている。

過去３年間の経年推移をみると、《ある》では、平成 27 年度（45.4%）から平成 28 年度（45.5%）にかけてほぼ横ばいとなっているが、平成 27 年度（45.4%）から平成 29 年度（51.9%）にかけては 6.5 ポイント高くなっている。（**図６－４**）

～参考～　新宿区総合計画・成果指標

指標名	指標の定義	指標の選定理由	当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	区民が文化芸術に接する機会があると感じているかを示すため	70.7%	51.9%	↗

図６－５　文化・芸術に触れる機会の有無（年代別）



年代別にみると、《ある》では、40 代（55.9%）と 70 歳以上（55.8%）がともに５割台半ばとなっている。（**図６－５**）

（４）関心のある内容

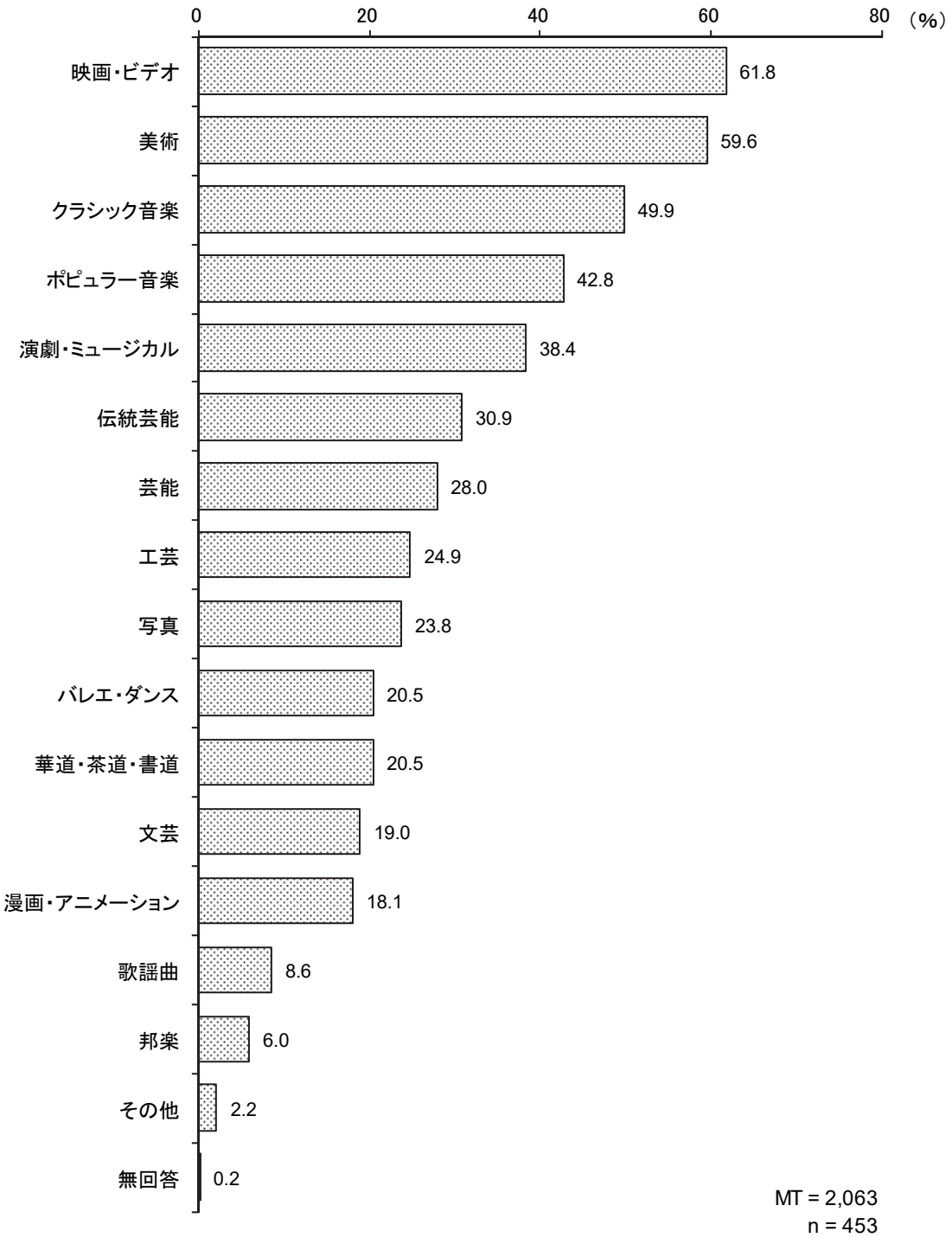
◎「映画・ビデオ」が６割強、「美術」が６割弱

問３３－１　問３３で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=453）

1	クラシック音楽 （オーケストラ・オペラ・合唱など）	49.9%
2	ポピュラー音楽 （ロック・ポップス・ジャズなど）	42.8
3	邦楽 （長唄・義太夫など）	6.0
4	歌謡曲 （演歌・民謡など）	8.6
5	美術 （絵画・彫刻など）	59.6
6	工芸 （陶芸・染色など）	24.9
7	映画・ビデオ	61.8
8	写真	23.8
9	演劇・ミュージカル	38.4
10	バレエ・ダンス	20.5
11	伝統芸能 （歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）	30.9
12	芸能 （落語・漫才・講談など）	28.0
13	華道・茶道・書道	20.5
14	文芸 （文学・俳句・短歌など）	19.0
15	漫画・アニメーション	18.1
16	その他	2.2
	無回答	0.2

図６－６　関心のある内容



関心のある内容について、「映画・ビデオ」（61.8%）が６割強で最も高く、次いで「美術（絵画・彫刻など）」（59.6%）が６割弱、「クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）」（49.9%）が５割弱、「ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）」（42.8%）が４割強と続いている。（**図６－６**）

（５）「新宿フィールドミュージアム」の認知度

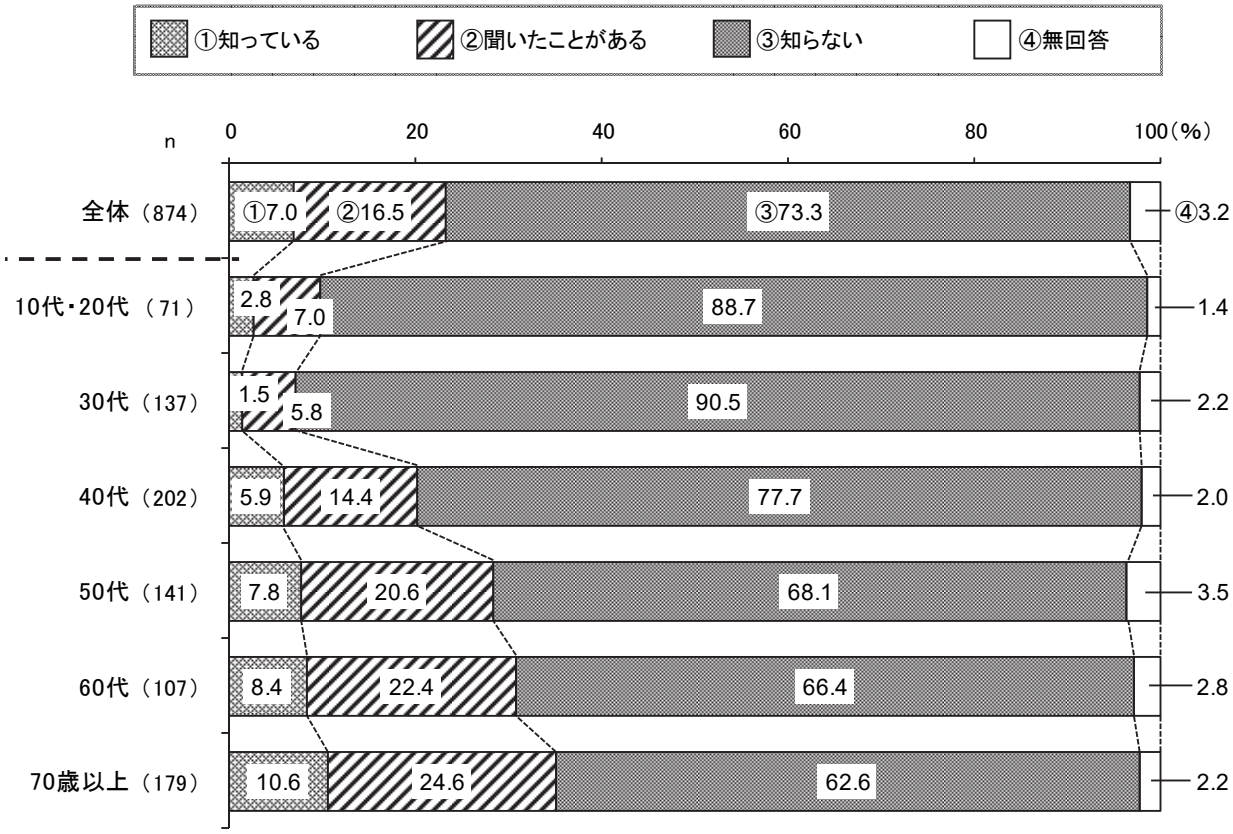
◎「知らない」が７割台半ば近く

問３４　新宿区では、特に１０月と１１月を文化月間として設定し、「来て・見て・楽しい新宿フィールドミュージアム」として区内の多彩な文化芸術イベントをガイドブックやインターネットなどで紹介しています。あなたは、「新宿フィールドミュージアム」を知っていますか。（○は１つ）

（n=874）

1	知っている	7.0%
2	聞いたことがある	16.5
3	知らない	73.3
	無回答	3.2

図６－７　「新宿フィールドミュージアム」の認知度（年代別）



「新宿フィールドミュージアム」の認知度について、「知らない」（73.3%）が７割台半ば近くとなっている。

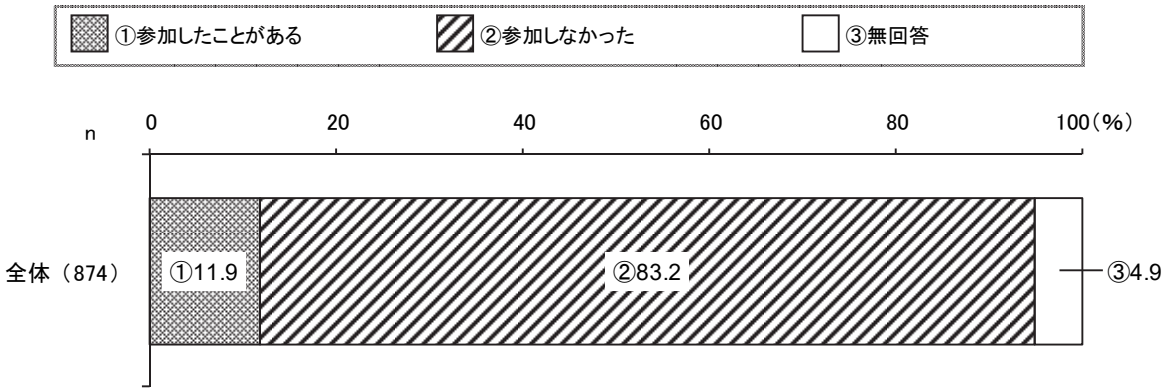
年代別でみると、「知らない」では、30 代（90.5%）が約９割と、全体（73.3%）を 17.2 ポイント上回っている。（**図６－７**）

（６）文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況

◎「参加しなかった」が８割台半ば近く

問３５　あなたは、１０月～１１月の文化月間中に、なんらかの文化芸術イベントに参加しましたか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　参加したことがある	11.9%
2　参加しなかった	83.2
無回答	4.9

図６－８　文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況



文化月間中の文化芸術イベントへの参加状況について、「参加しなかった」（83.2%）が８割台半ば近くとなっている。（**図６－８**）

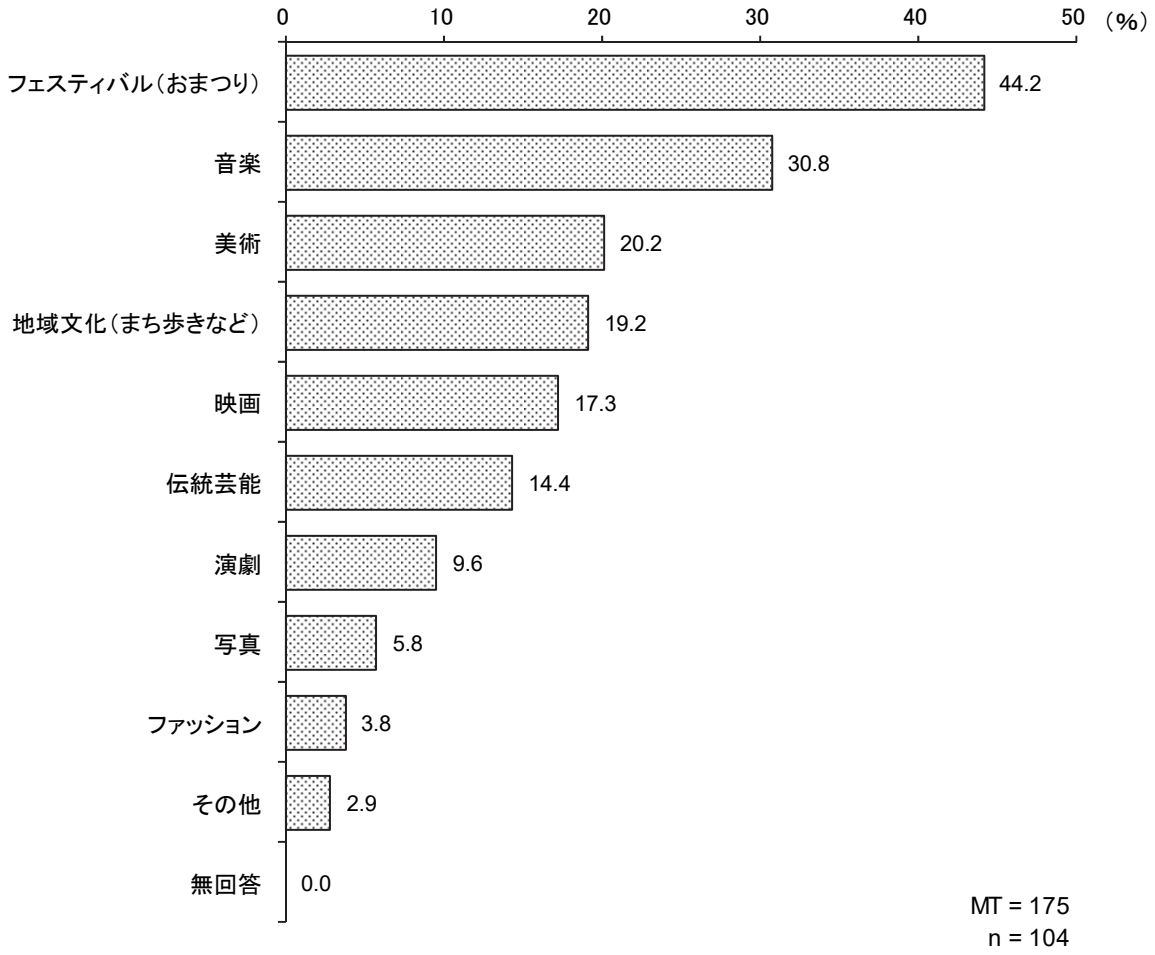
（７）どのようなジャンルのイベントに参加したか

◎「フェスティバル（おまつり）」が４割台半ば近く

問３５－１　問３５で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのようなジャンルの文化芸術イベントに参加しましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		(n=104)
1	フェスティバル（おまつり）	44.2%
2	音楽	30.8
3	映画	17.3
4	演劇	9.6
5	美術	20.2
6	写真	5.8
7	ファッション	3.8
8	地域文化（まち歩きなど）	19.2
9	伝統芸能	14.4
10	その他	2.9
	無回答	0.0

図６－９　どのようなジャンルのイベントに参加したか



どのようなジャンルのイベントに参加したかについて、「フェスティバル（おまつり）」（44.2%）が４割台半ば近くで最も高くなっている。次いで「音楽」（30.8%）が約３割、「美術」（20.2%）が約２割と続いている。（**図６－９**）

区政運営の目標Ⅰ　好感度一番の区役所の実現

［１］しんじゅくコール（新宿区コールセンター）

（１）「しんじゅくコール」の認知度

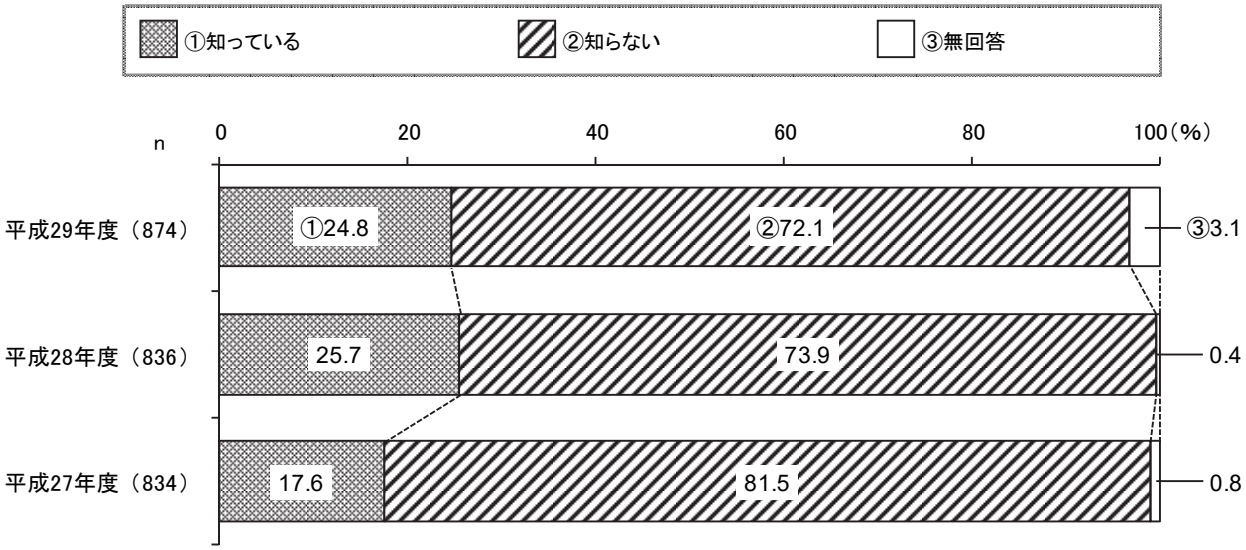
◎「知っている」が２割台半ば近く

問３６　あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター☎３２０９－９９９９）を知っていますか。（○は１つ）

（n=874）

1	知っている	24.8%
2	知らない	72.1
	無回答	3.1

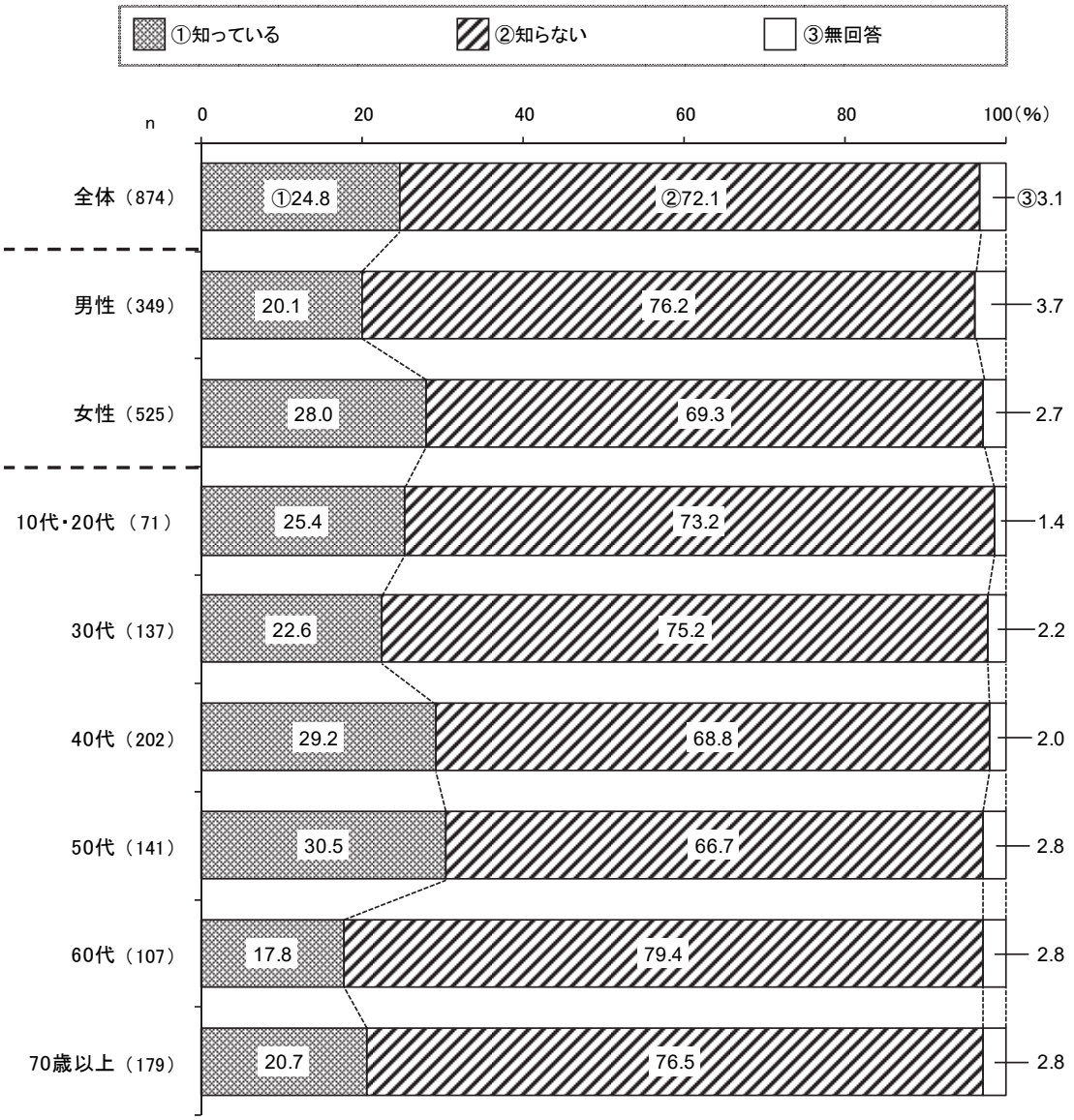
図７－１　「しんじゅくコール」の認知度（経年推移）



「しんじゅくコール」の認知度について、「知っている」（24.8%）が２割台半ば近く、「知らない」（72.1%）が７割強となっている。

過去の３年間の経年推移をみると、「知っている」では、平成 28 年度（25.7%）から平成 29 年度（24.8%）にかけてほぼ横ばいとなっているが、平成 27 年度（17.6%）から平成 29 年度（24.8%）にかけては 7.2 ポイント高くなっている。（**図７－１**）

図７－２　「しんじゅくコール」の認知度（性別・年代別）



性別でみると、「知っている」は女性（28.0%）が３割近くと、男性（20.1%）を 7.9 ポイント上回っている。

年代別でみると、「知っている」では 50 代（30.5%）が約３割で最も高くなっている。一方、「知らない」では、60 代（79.4%）が８割弱で最も高くなっている。（**図７－２**）

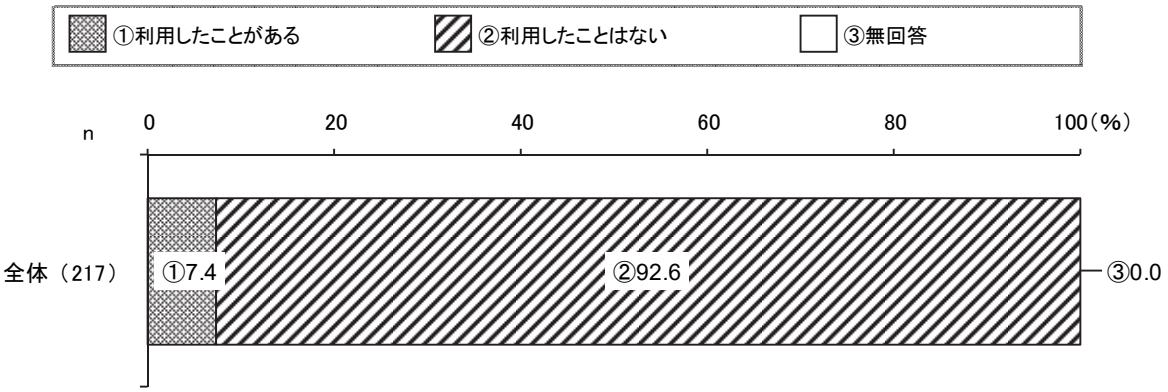
（２）「しんじゅくコール」利用の有無

◎「利用したことはない」が９割強

問３６－１　問３６で、「１」に○をした方にお伺いします。
「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。（○は１つ）

		（n=217）
1	利用したことがある	7.4%
2	利用したことはない	92.6
	無回答	0.0

図７－３　「しんじゅくコール」利用の有無



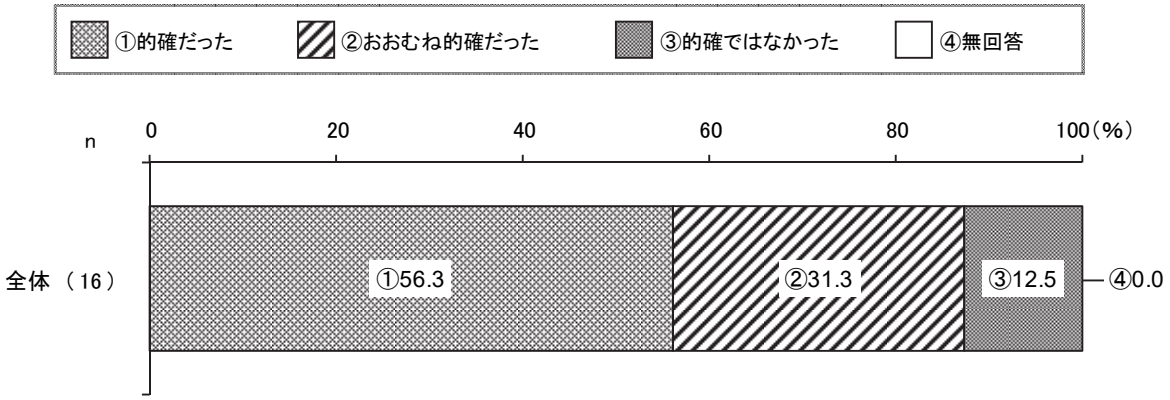
「しんじゅくコール」利用の有無について、「利用したことはない」（92.6%）が９割強となっている。（**図７－３**）

（３）オペレーターの案内について

問３６－２　問３６－１で、「１」に○をした方にお伺いします。
オペレーターの案内は的確でしたか。（○は１つ）

		（n=16）
1	的確だった	56.3%
2	おおむね的確だった	31.3
3	的確ではなかった	12.5
	無回答	0.0

図７－４　オペレーターの案内について



※この設問の回答者は無回答を含め 16 人と少なく、極端な結果になりやすいため参考値とする。

［２］区民意見を反映するしくみ

（１）区民意見を反映する制度やしくみの認知度

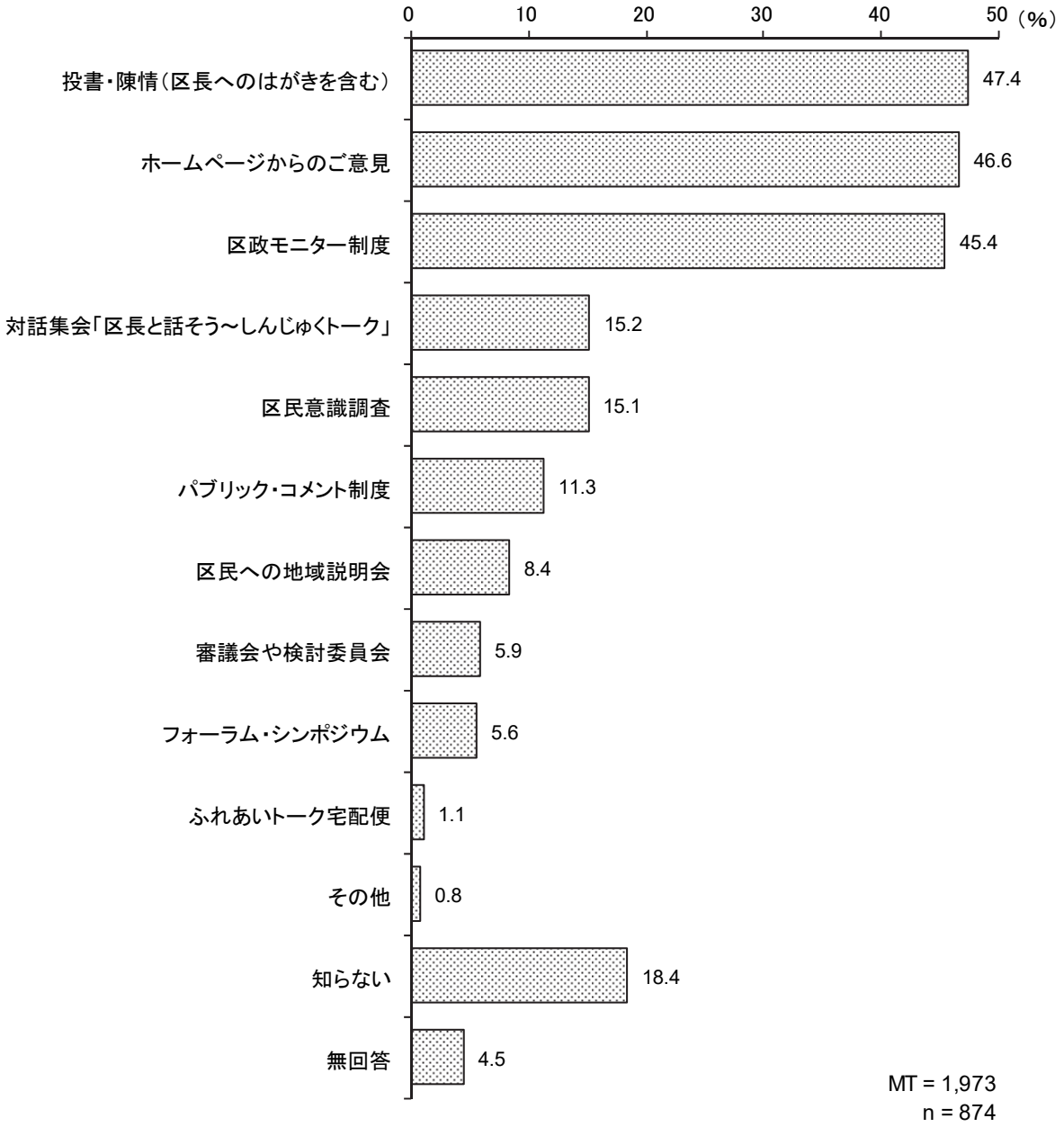
◎「投書・陳情（区長へのはがきを含む）」と「ホームページからのご意見」が４割台半ばを超える

問３７　皆様のご意見やご要望を区政に反映するための制度、方法等の中で、あなたが知っているものは何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

（n=874）

1	投書・陳情（区長へのはがきを含む）	47.4%
2	ホームページからのご意見	46.6
3	パブリック・コメント制度	11.3
4	区民意識調査	15.1
5	区政モニター制度	45.4
6	ふれあいトーク宅配便	1.1
7	対話集会「区長と話そう～しんじゅくトーク」	15.2
8	区民への地域説明会	8.4
9	フォーラム・シンポジウム	5.6
10	審議会や検討委員会	5.9
11	その他	0.8
12	知らない	18.4
	無回答	4.5

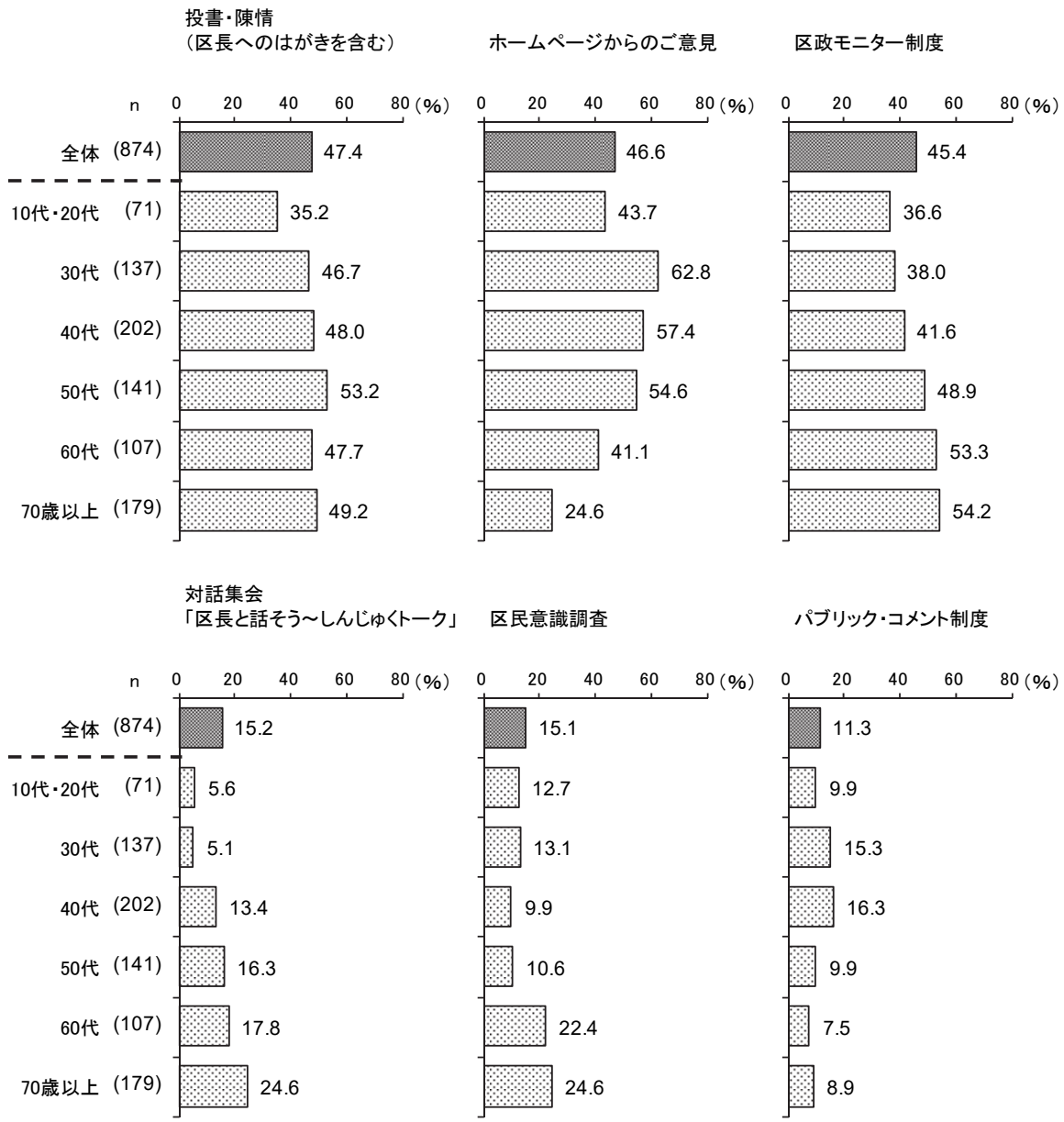
図７－５　区民意見を反映する制度やしくみの認知度



区民意見を反映する制度やしくみの認知度について、「投書・陳情（区長へのはがきを含む)」（47.4%）および「ホームページからのご意見」（46.6%）がともに４割台半ばを超えて最も高く、次いで「区政モニター制度」（45.4%）が４割台半ばと続いている。

一方、「知らない」（18.4%）は２割近くとなっている。（**図７－５**）

図７－６　区民意見を反映する制度やしくみの認知度（年代別）上位６項目



上位６項目を年代別でみると、「ホームページからのご意見」では、30 代（62.8%）が６割強で、全体を 16.2 ポイント上回っている。一方、70 歳以上（24.6%）が２割台半ば近くで、全体を 22.0 ポイント下回っている。

「投書・陳情（区長へのはがきを含む）」では、10 代・20 代（35.2%）が３割台半ばで、全体（47.4%）を 12.2 ポイント下回っている。（**図７－６**）

基本政策Ⅱ　新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

［１］感染症予防

（１）手洗い習慣

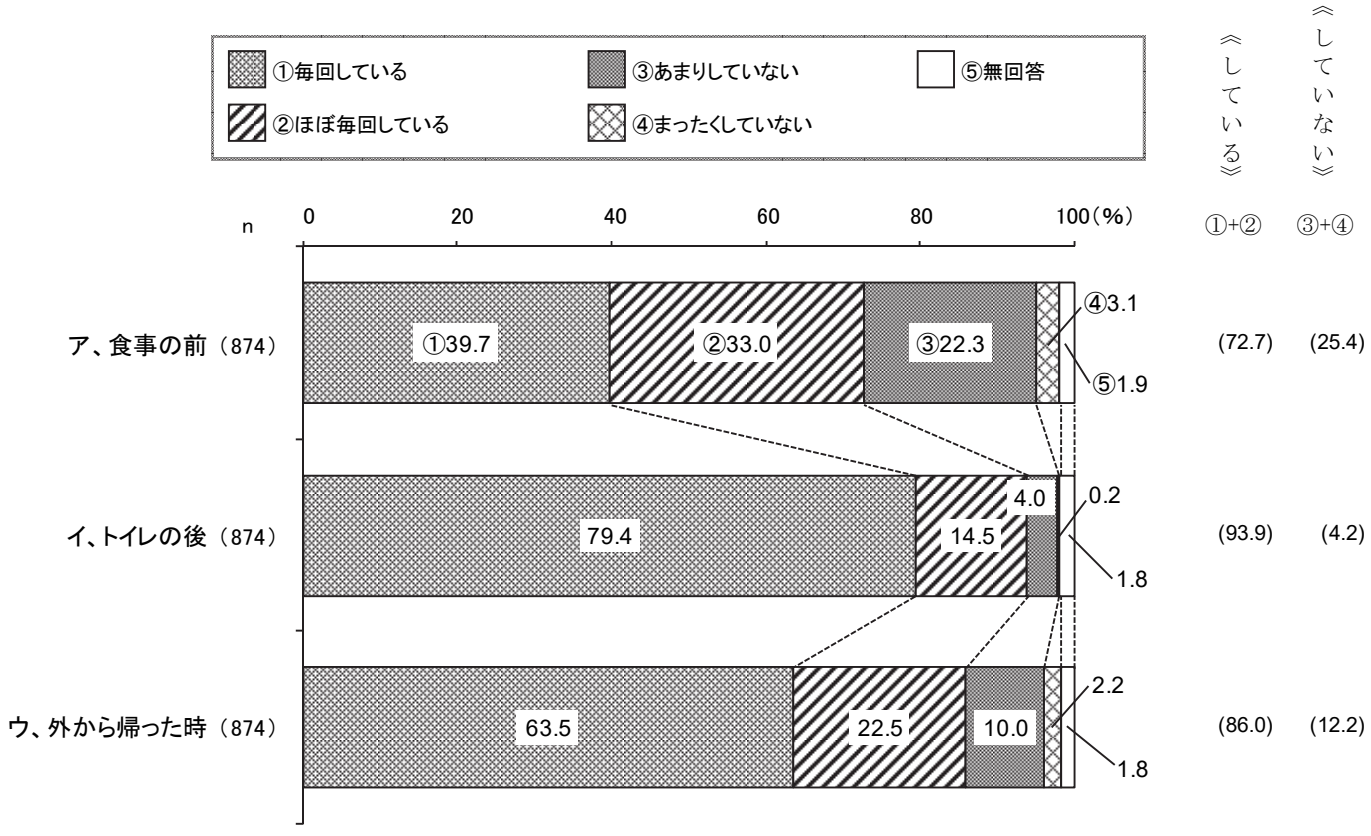
◎「毎回している」は『トイレの後』が８割弱

問３８　インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、次のようなときに流水で手洗いをしていますか。（○は１つ）

（n=874）

	毎回している	ほぼ毎回している	あまりしていない	まったくしていない	無回答
ア、食事の前	39.7%	33.0%	22.3%	3.1%	1.9%
イ、トイレの後	79.4	14.5	4.0	0.2	1.8
ウ、外から帰った時	63.5	22.5	10.0	2.2	1.8

図８－１　手洗い習慣



手洗い習慣について、「毎回している」は『トイレの後』（79.4%）が８割弱で最も高く、次いで『外から帰った時』（63.5%）が６割台半ば近く、『食事の前』（39.7%）が４割弱となっている。

「毎回している」と「ほぼ毎回している」を合わせた《している》は、『トイレの後』(93.9%)が９割台半ば近くで最も高く、次いで『外から帰った時』（86.0%）が８割台半ばを超え、『食事の前』（72.7%）が７割強となっている。

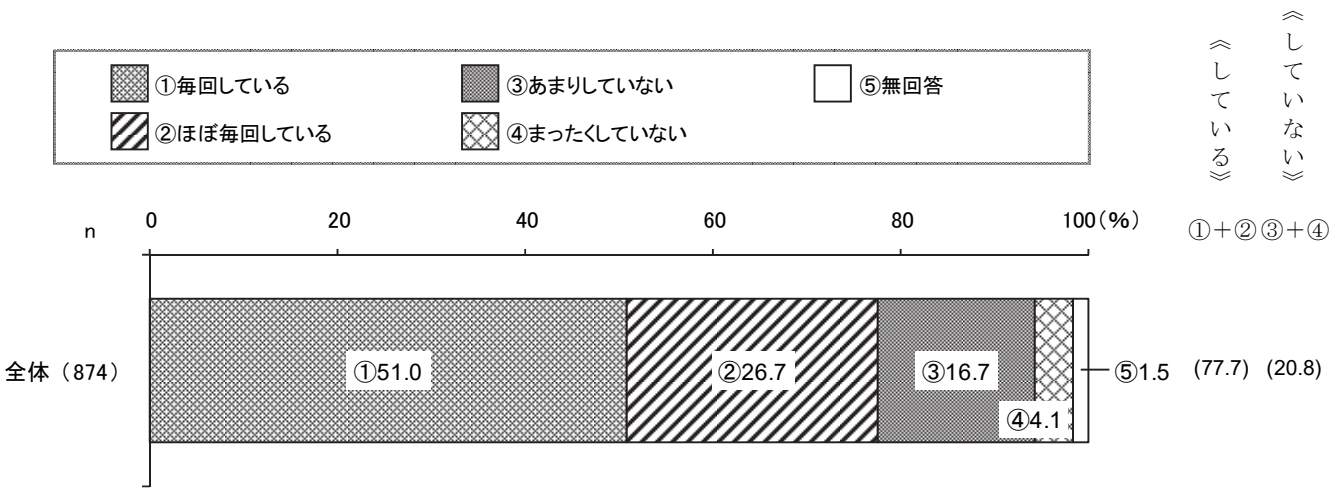
一方、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた《していない》は、『食事の前』（25.4%）が２割台半ばで最も高くなっている。（**図８－１**）

（２）「咳エチケット」の実施

◎「毎回している」が５割強

問３９　咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　毎回している	51.0%
2　ほぼ毎回している	26.7
3　あまりしていない	16.7
4　まったくしていない	4.1
無回答	1.5

図８－２　「咳エチケット」の実施



「咳エチケット」の実施について、「毎回している」（51.0%）が５割強、「ほぼ毎回している」（26.7%）が２割台半ばを超え、「あまりしていない」（16.7%）が１割台半ばを超えている。

「毎回している」(51.0%)と「ほぼ毎回している」(26.7%)を合わせた《している》(77.7%)が７割台半ばを超えている。（**図８－２**）

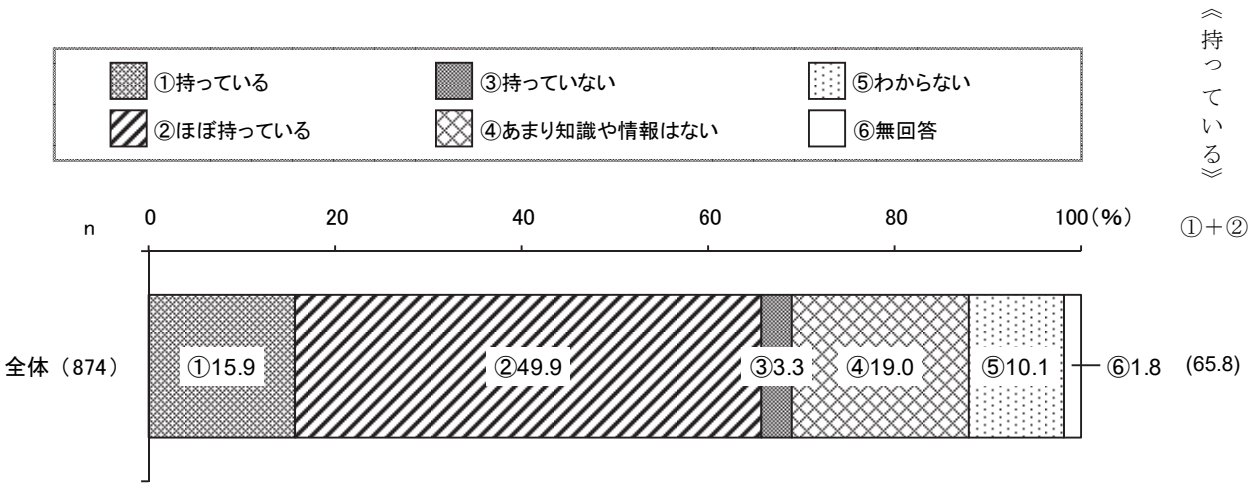
（３）食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況

◎《持っている》が６割台半ば

問４０　あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていると思いますか。
（○は１つ）

		(n=874)
1	持っている	15.9%
2	ほぼ持っている	49.9
3	持っていない	3.3
4	あまり知識や情報はない	19.0
5	わからない	10.1
	無回答	1.8

図８－３　食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況



食の安全に関する正しい知識や情報の保有状況について、「ほぼ持っている」（49.9%）が５割弱、「あまり知識や情報はない」（19.0%）が２割弱となっている。

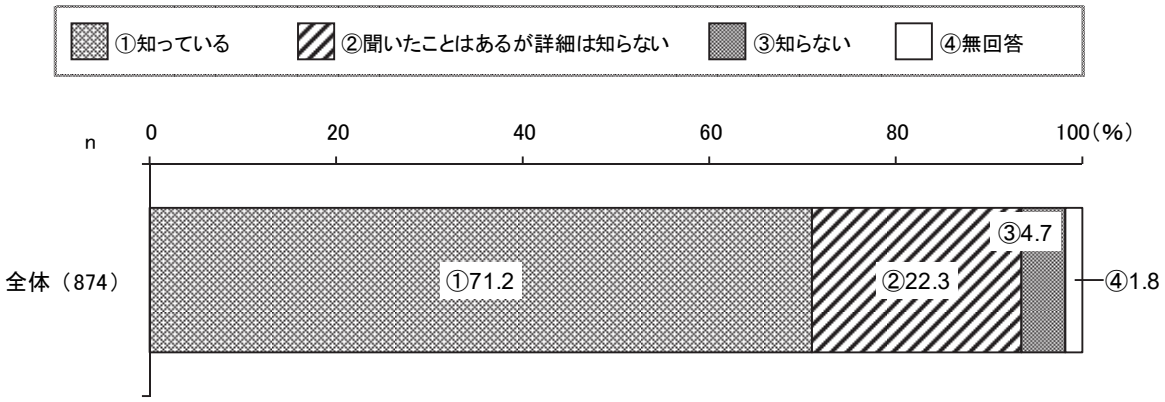
「持っている」(15.9%)と「ほぼ持っている」(49.9%)を合わせた《持っている》(65.8%)が６割台半ばとなっている。（**図８－３**）

（４）ノロウイルス食中毒の認知

◎「知っている」が７割強

問４１　あなたは、ノロウイルスによって発症する食中毒について知っていますか。（○は１つ）	
	（n=874）
1　知っている	71.2%
2　聞いたことはあるが詳細は知らない	22.3
3　知らない	4.7
無回答	1.8

図８－４　ノロウイルス食中毒の認知



ノロウイルス食中毒の認知について、「知っている」（71.2%）が７割強、「聞いたことはあるが詳細は知らない」（22.3%）が２割強となっている。（**図８－４**）

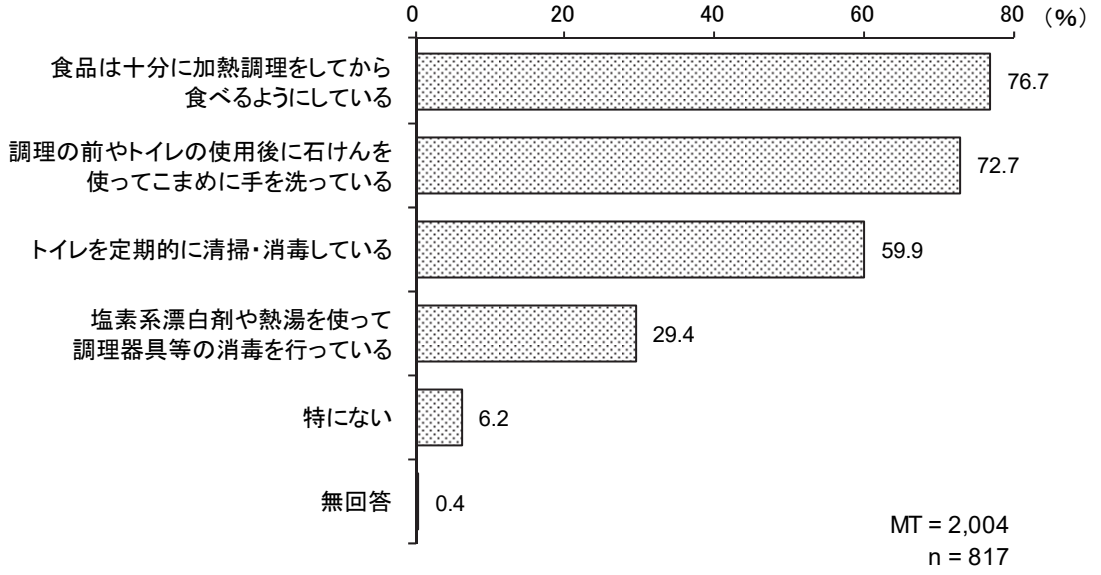
（５）ノロウイルス食中毒の予防方法

◎「食品は十分に加熱調理をしてから食べるようにしている」が７割台半ばを超え、「調理の前やトイレの使用後に石けんを使ってこまめに手を洗っている」が７割強

問４１－１　問４１で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
ノロウイルスによる食中毒の予防のために実施していることはありますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=817）
1	調理の前やトイレの使用後に石けんを使ってこまめに手を洗っている	72.7%
2	食品は十分に加熱調理をしてから食べるようにしている	76.7
3	塩素系漂白剤や熱湯を使って調理器具等の消毒を行っている	29.4
4	トイレを定期的に清掃・消毒している	59.9
5	特にない	6.2
	無回答	0.4

図８－５　ノロウイルス食中毒の予防方法



ノロウイルス食中毒の予防方法について、「食品は十分に加熱調理をしてから食べるようにしている」（76.7%）が７割台半ばを超えて最も高く、次いで「調理の前やトイレの使用後に石けんを使ってこまめに手を洗っている」（72.7%）が７割強、「トイレを定期的に清掃・消毒している」（59.9%）が６割弱で続いている。（**図８－５**）

基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造

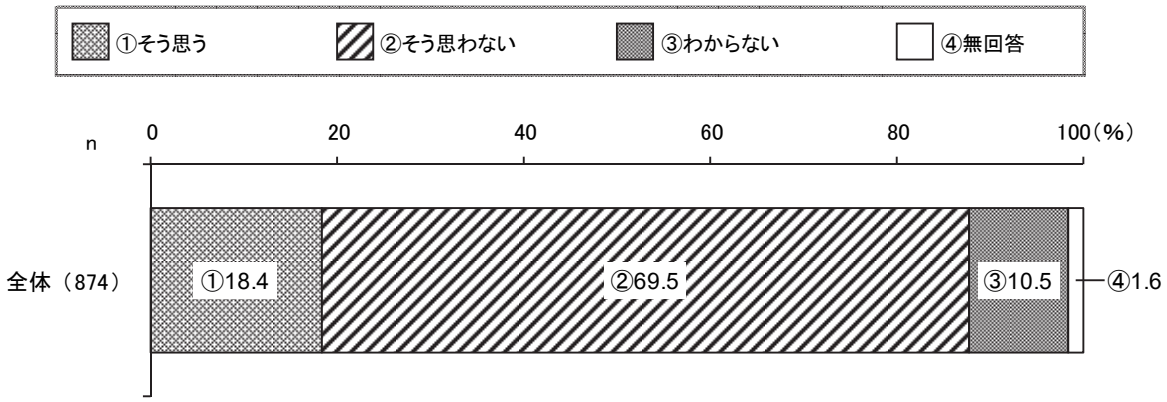
［１］新宿駅周辺の回遊性

（１）新宿駅周辺の歩きやすさ

◎「そう思わない」が７割弱

問４２　新宿駅周辺は、歩きやすいまちと感じますか。（○は１つ）		
		（n=874）
1	そう思う	18.4%
2	そう思わない	69.5
3	わからない	10.5
	無回答	1.6

図９－１　新宿駅周辺の歩きやすさ



新宿駅周辺の歩きやすさについて、「そう思わない」（69.5%）が７割弱、「そう思う」（18.4%）が２割近く、「わからない」（10.5%）が約１割となっている。（**図９－１**）

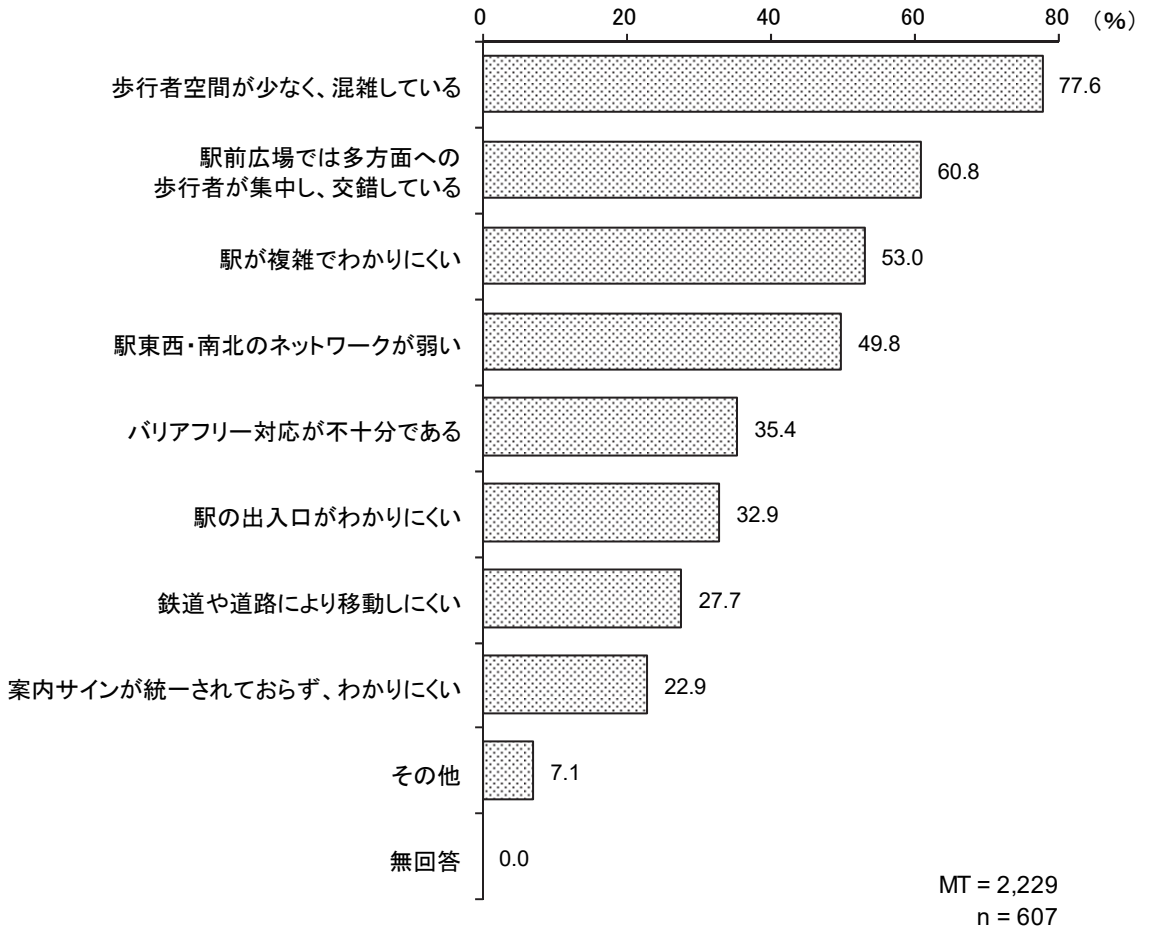
（２）新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由

◎「歩行者空間が少なく、混雑している」が７割台半ばを超える

問４２－１　問４２で、「２」に○をした方にお伺いします。
そう思う理由は何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		（n=607）
1	歩行者空間が少なく、混雑している	77.6%
2	駅東西・南北のネットワークが弱い	49.8
3	鉄道や道路により移動しにくい	27.7
4	駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している	60.8
5	バリアフリー対応が不十分である	35.4
6	案内サインが統一されておらず、わかりにくい	22.9
7	駅が複雑でわかりにくい	53.0
8	駅の出入口がわかりにくい	32.9
9	その他	7.1
	無回答	0.0

図９－２　新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由



新宿駅周辺が歩きにくいと思う理由としては、「歩行者空間が少なく、混雑している」（77.6％）が７割台半ばを超えて最も高くなっている。次いで「駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している」（60.8％）が約６割、「駅が複雑でわかりにくい」（53.0％）が５割台半ば近く、「駅東西・南北のネットワークが弱い」（49.8％）が５割弱で続いている。（**図９－２**）

［２］環境

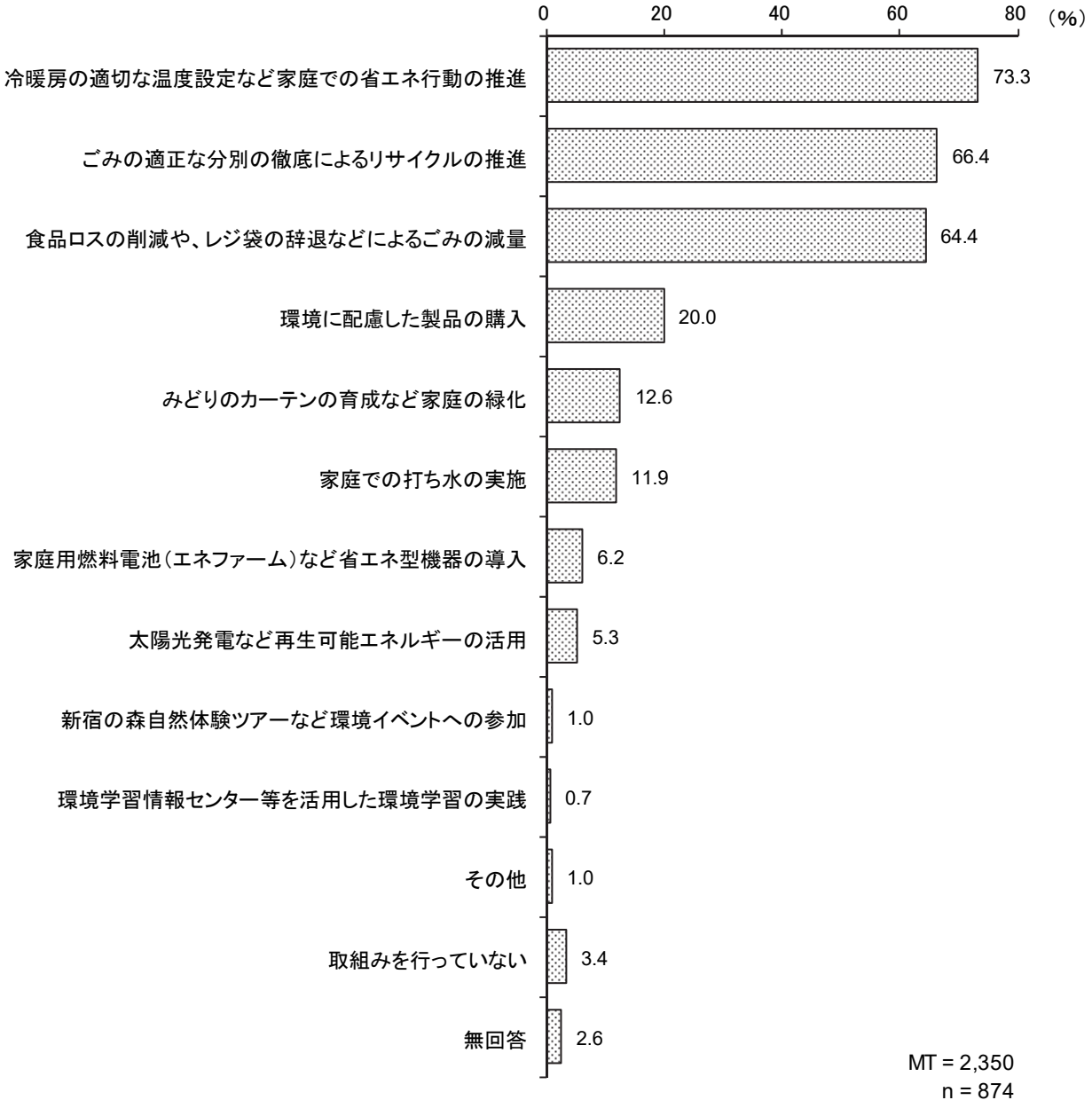
（１）環境配慮のために実施していること

◎「冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進」が７割台半ば近く

問４３　環境に配慮するために、実施していることはありますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

		(n=874)
1	冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進	73.3%
2	家庭用燃料電池（エネファーム）など省エネ型機器の導入	6.2
3	太陽光発電など再生可能エネルギーの活用	5.3
4	みどりのカーテンの育成など家庭の緑化	12.6
5	家庭での打ち水の実施	11.9
6	新宿の森自然体験ツアーなど環境イベントへの参加	1.0
7	環境学習情報センター等を活用した環境学習の実践	0.7
8	環境に配慮した製品の購入	20.0
9	食品ロスの削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量	64.4
10	ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進	66.4
11	その他	1.0
12	取組みを行っていない	3.4
	無回答	2.6

図９－３　環境配慮のために実施していること



環境配慮のために実施していることについて、「冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進」（73.3%）が７割台半ば近くで最も高く、次いで「ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進」（66.4%）が６割台半ばを超え、「食品ロスの削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量」（64.4%）が６割台半ば近くと続いている。（**図９－３**）

基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造

［１］多文化共生

（１）多文化共生の進捗度

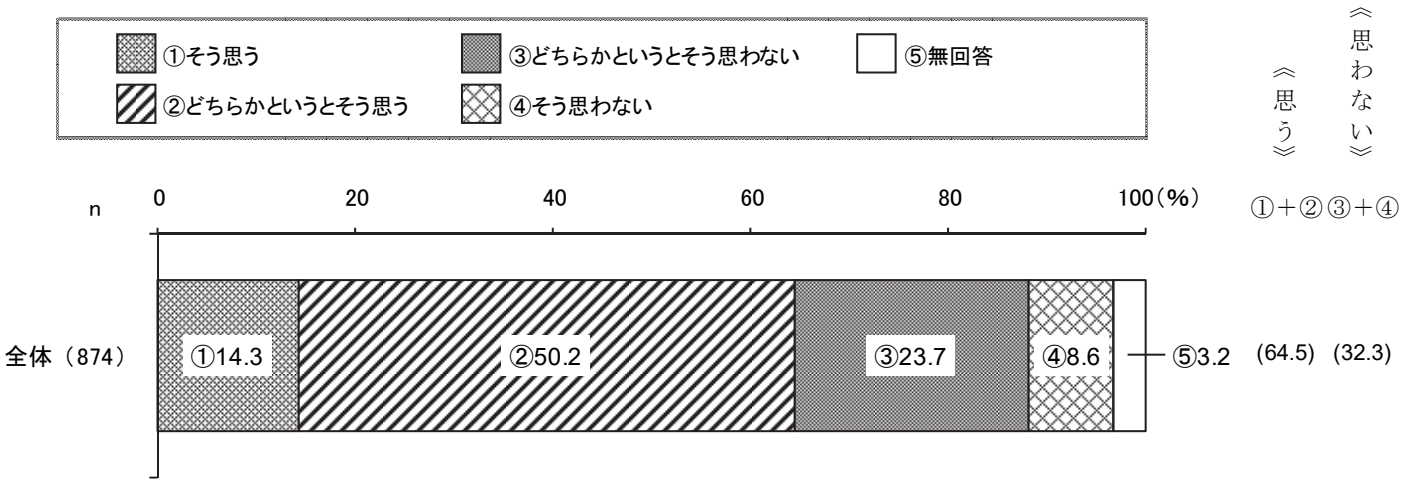
◎《思う》が６割台半ば近く

問４４　区では、様々な国籍・民族の人々が、互いに文化の違いを認め、理解し、地域で共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。
あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。（○は１つ）

（n=874）

1	そう思う	14.3%
2	どちらかというとそう思う	50.2
3	どちらかというとそう思わない	23.7
4	そう思わない	8.6
	無回答	3.2

図１０－１　多文化共生の進捗度



多文化共生の進捗度について、「そう思う」（14.3%）と「どちらかというとそう思う」（50.2%）を合わせた《思う》（64.5%）が６割台半ば近くとなっている。一方、「どちらかというとそう思わない」（23.7%）と「そう思わない」（8.6%）を合わせた《思わない》（32.3%）は３割強となっている。（**図１０－１**）

（２）多文化共生を進めるために区が力を入れるべきこと

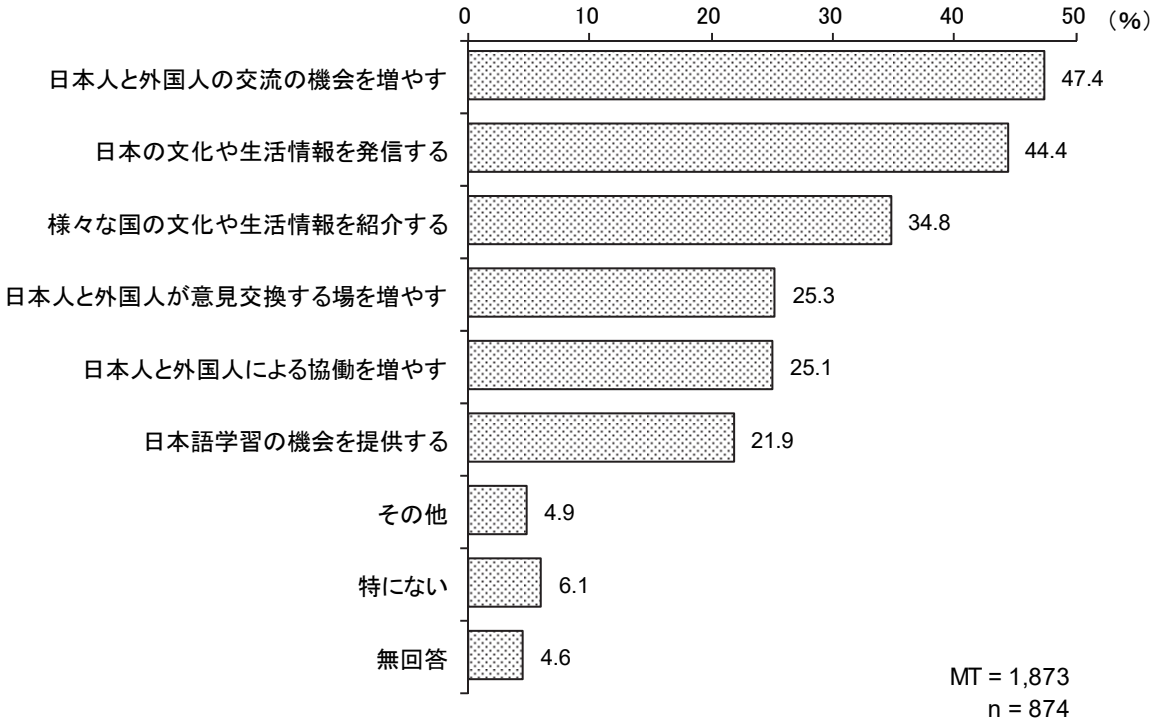
◎「日本人と外国人の交流の機会を増やす」が４割台半ばを超える

問４５　あなたは多文化共生を進めていく上で、区が力を入れるべきことは何だと思いますか。（○は３つまで）

（n=874）

1	日本人と外国人の交流の機会を増やす	47.4%
2	日本の文化や生活情報を発信する	44.4
3	様々な国の文化や生活情報を紹介する	34.8
4	日本語学習の機会を提供する	21.9
5	日本人と外国人が意見交換する場を増やす	25.3
6	日本人と外国人による協働を増やす	25.1
7	その他	4.9
8	特にない	6.1
	無回答	4.6

図１０－２　多文化共生を進めるために区が力を入れるべきこと



多文化共生を進めるために区が力を入れるべきことについて、「日本人と外国人の交流の機会を増やす」（47.4%）が４割台半ばを超えて最も高く、次いで「日本の文化や生活情報を発信する」(44.4%)が４割台半ば近く、「様々な国の文化や生活情報を紹介する」(34.8%)が３割台半ば近くと続いている。（**図１０－２**）

基本政策Ⅴ　好感度１番の区役所

［１］行政サービス

（１）行政サービスの印象

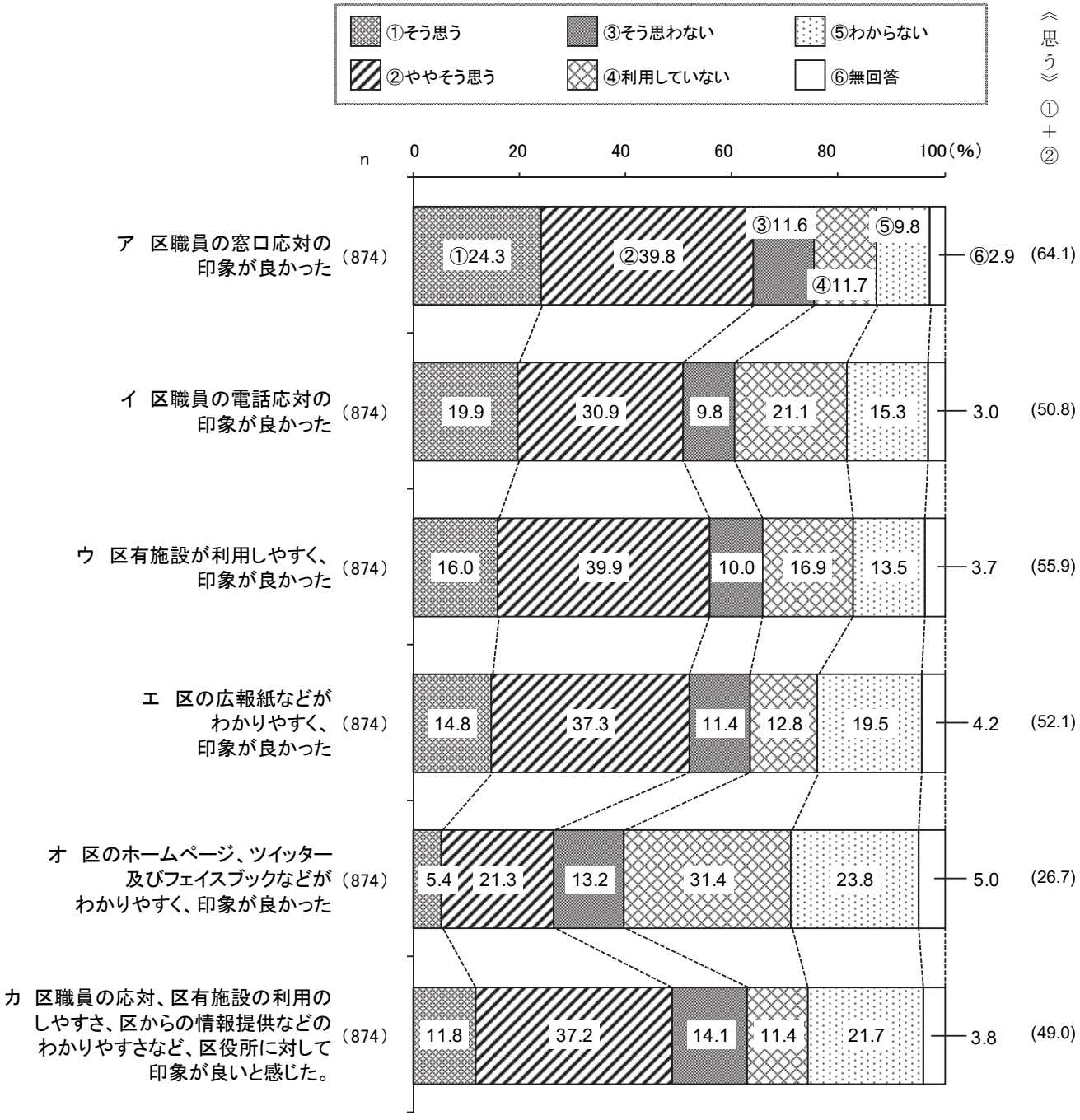
◎《思う》は『区職員の窓口応対の印象が良かった』が６割台半ば近く

問４６　あなたが区役所とのかかわりの中で感じている区職員の応対や区の発行物のわかりやすさなどの印象をお答えください。
（ア～カそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

（n=874）

	そう思う	ややそう思う	そう思わない	利用していない	わからない	無回答
ア　区職員の窓口応対の印象が良かった	24.3%	39.8%	11.6%	11.7%	9.8%	2.9%
イ　区職員の電話応対の印象が良かった	19.9	30.9	9.8	21.1	15.3	3.0
ウ　区有施設が利用しやすく、印象が良かった	16.0	39.9	10.0	16.9	13.5	3.7
エ　区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった	14.8	37.3	11.4	12.8	19.5	4.2
オ　区のホームページ、ツイッター及びフェイスブックなどがわかりやすく、印象が良かった	5.4	21.3	13.2	31.4	23.8	5.0
カ　区職員の応対、区有施設の利用のしやすさ、区からの情報提供などのわかりやすさなど、区役所に対して印象が良いと感じた。	11.8	37.2	14.1	11.4	21.7	3.8

図１１－１　行政サービスの印象



行政サービスの印象について、「そう思う」は『区職員の窓口応対の印象が良かった』（24.3%）が２割台半ば近くで最も高く、次いで『区職員の電話応対の印象が良かった』（19.9%）が２割弱となっている。

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた《思う》は、『区職員の窓口応対の印象が良かった』（64.1%）が６割台半ば近くで最も高く、次いで『区有施設が利用しやすく、印象が良かった』（55.9%）が５割台半ば、『区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった』（52.1%）が５割強、『区職員の電話応対の印象が良かった』（50.8%）が約５割となっている。（**図１１－１**）

＜参考＞区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画・成果指標」の項目

指標名		指標の定義	計画当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
まちづくり編					
基本目標Ⅰ 区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち	地域コミュニティ活動への参加率	地域の中でコミュニティ活動を行っている人の割合	46.0%	50.0%	60.0%
基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち	区民の人権に対する意識	性別、障害の有無、信条、職業、国籍の違いにかかわらずお互いを尊重し認め合っていると思う区民の割合	29.7%	40.4%	↑
	男女共同参画に対する意識	家庭生活や職場、地域活動など、社会全体で男女が平等と感じる区民の割合	37.1%	35.8%※1	↑
	子育て支援に関する地域活動状況	子育て支援に関する活動に参加している人や参加意欲を持っている人の割合	56.5%	55.4%	70.0%
	健康に対する状態	現在の健康状態を良いと感じている人の割合	70.9%	74.4%	↑
	毎年の健康診断の受診	毎年健康診断を受診している人の割合	62.7%	75.5%	↑
	学習・スポーツ活動の実施状況	学習・スポーツ活動を継続的に行っている区民の割合	51.7%	56.4%	↑
	学校・家庭・地域が協力した教育の取組	学校・家庭・地域が協力して教育に取り組んでいると感じる区民の割合	24.9%	28.9%	↑
基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち	区民の地域福祉活動への協働意識	「高齢者の見守りを住民同士で行う」と考える区民の割合	8.2%	8.5%	30.0%
	介護サービスを利用した在宅生活の継続	「介護サービスを受けたい場所」の「在宅」の割合	一般高齢者 60.4%	71.0%※2	一般高齢者 70.0%
	障害者の社会参加のしやすさ	障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思う割合	16.2%	14.8%	↑
	高齢者で生きがいを感じている人の割合	高齢者で生きがいを感じている人の割合	94.1%	91.7%	↑
	避難場所・避難所の理解度	一時集合場所、第一次避難所、広域避難場所を理解している区民の割合	23.8%	49.1%	80.0%
	家庭内の防災対策の普及	家庭内の防災対策実施率	81.5%	65.2%	90.0%
	区民の日常生活における安心度	居住地域で犯罪への不安を感じない区民の割合	22.8%	40.6%	↑
	消費者問題に対する関心度	悪質商法や消費者問題に対して関心がある区民の割合	82.5%	78.3%	↑
基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち	道路の歩きやすさ満足度	安全で快適な歩きやすい道路だと感じる人の割合	17.3%	24.0%	↑

※１　データ出典「平成 29 年度第１回新宿区区政モニターアンケート」
※２　65 歳以上の高齢者の割合

※行政管理課が実施する行政評価の指標と異なる場合があります。

＜参考＞区政モニターアンケートで調査する「新宿区総合計画・成果指標」の項目

指標名		指標の定義	計画当初（平成 19 年度）	現状（平成 29 年度）	目標（平成 29 年度）
まちづくり編					
基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち	景観に対する区民意識	まちなみや景観が良いと感じる区民の割合	28.1%	42.8%	↑
	地域特性を踏まえたまちづくり	地域の土地利用の特性を踏まえたまちづくりが行われていると感じる区民の割合	10.1%	39.8%	↑
	公園利用者満足度	公園の利用に関して満足している区民の割合	55.9%	68.9%	↑
基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち	区の伝統文化や文化財への関心度	区の伝統文化や文化財への関心の有無や深さ	69.9%	62.8%	↑
	文化芸術活動の状況	文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化芸術に触れる機会がある区民の割合	70.7%	51.9%	↑
区政運営編					
基本目標Ⅰ 好感度一番の区役所の実現	接遇応対力の向上度	職員の窓口応対の印象が「良い」と感じる人の割合	42.6%	48.3%※3	↑

※３　データ出典「平成 29 年度第３回新宿区区政モニターアンケート」

※行政管理課が実施する行政評価の指標と異なる場合があります。

Ⅲ　資料（調査票）

平成２９年度　新宿区区政モニターアンケート

第４回

テーマ１　「めざすまちの姿」の実現のために　～新宿区総合計画～

返送時の紙折り位置

テーマ１に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

アンケートご記入にあたってのお願い

１．回答は、**あてはまる番号に○印**をつけてください。設問によって、**１つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“(○は１つ)”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。

２．**前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります**。
（例：問１で、「１」に○をした方におたずねします、など）
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。

３．「その他」を選んだ場合には、（　）内に具体的な回答をご記入ください。

返送時の紙折り位置

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

整理票を取り外さず、

平成２９年１２月２６日（火）までにご返送ください。

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先　新宿区総合政策部　区政情報課　広聴係
電話　０３－５２７３－４０６５（直通）
ＦＡＸ　０３－５２７２－５５００
E-Mail　kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

テーマ１「めざすまちの姿」の実現のために～新宿区総合計画～

現在、区は基本構想と総合計画（平成 20 年度から平成 29 年度）に基づき、区民が安心して心豊かに住み続けられる新宿区を実現していくための取り組みを行っています。（同封資料参照）

総合計画では基本構想に定める「めざすまちの姿」の実現にどのくらい近づけたかを測定するための成果指標を設けています。成果指標とは、行政活動の結果、目的に照らしてどのような成果があったかを示すものです。

今回は、新宿区のまちに対する印象や日常生活の中で感じている意識、行動などについてお伺いし、この成果指標がどの程度達成しているかを検証し、事業の改善に役立てていくとともに、平成 30 年度から始まる新たな総合計画の策定にかかる現状把握を行います。

基本目標Ⅰ　区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち

＜地域活動＞

問１　次の地域活動・ボランティア活動のうち、参加している（したことがある）ものに○をつけてください。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　町会や自治会の活動（おまつりの手伝いや防災訓練、ゴミの分別回収や不用品のリサイクル活動、通学時などのパトロールなども含む）
２　高齢者クラブ、ＰＴＡ、青少年育成委員会、消防団などの活動
３　民生委員・児童委員、公園サポーター、エコライフ推進員など、行政事業に協力する活動
４　学習・趣味・スポーツを主目的としたグループ活動
５　清掃・資源ごみの回収・リサイクル活動、交通安全、草刈りなどの地域活動
６　ＮＰＯ（非営利活動団体）による活動
７　地区協議会の活動
８　その他（　　）
９　活動に参加したことはない（理由：　　）

基本目標Ⅱ　だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

＜人権意識＞

問２　新宿のまちは、性別や障害の有無、信条や職業、国籍の違いにかかわらず、お互いを尊重し、認めあうまちだと思いますか。（○は１つ）

１　そう思う　　２　そう思わない　　３　わからない

＜健康＞

問３　あなたは、現在の健康状態をどのように感じていますか。**（○は１つ）**

１　良い	４　あまり良くない
２　まあ良い	５　良くない
３　どちらともいえない	

問４　あなたは、次のがん検診を受けていますか。受けている検診すべてに○をつけてください。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　胃がん検診
２　大腸がん検診
３　肺がん検診
４　前立腺がん検診　※男性のみ
５　子宮頸がん検診　※女性のみ
６　乳がん検診　※女性のみ

→ 問４－１へ

７　受けていない

問４－１　問４で、「１」～「６」に○をした方にお伺いします。
問４のうち、新宿区のがん検診を受診されたのは、次のうちどの検診ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　胃がん検診
２　大腸がん検診
３　肺がん検診
４　前立腺がん検診　※男性のみ
５　子宮頸がん検診　※女性のみ
６　乳がん検診　※女性のみ
７　全て区のがん検診ではない（職場健診・人間ドック等）

問５　あなたは、毎年、一般の健康診査を受けていますか。**（○は１つ）**

１　受けている	２　受けていない　→　問５－１へ

問５－１　問５で、「２」に○をした方にお伺いします。
受けていない理由でもっともあてはまるものは何ですか。**（○は１つ）**

１　時間がなかったから
２　毎年受ける必要性を感じないから
３　健康状態に自信があるから
４　心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
５　結果が不安なため受けたくないから
６　面倒だから
７　理由は特にない
８　その他（　　）

問６　あなたは、食育について関心がありますか。**（○は１つ）**

１　関心がある	２　やや関心がある	３　関心がない

問７　あなたは、食べ物の量や組み合わせを考えて食べていますか。**（○は１つ）**

１　よく考える	３　あまり考えない
２　ときどき考える	４　考えない

問８　あなたは、友人・知人などと一緒に食事をすることがありますか。**（○は１つ）**

１　月４回以上	２　月２回以上４回未満	３　月１回以下

＜生涯学習＞

問９　あなたは現在、スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング・ウォーキング、体操等を含む）、文化・学習活動等を行っていますか。**（○は１つ）**

１　行っている　→　問９－１～問９－３へ	２　行っていない　→　問９－４へ

問９－１　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
平均して、どのくらいの頻度で行っていますか。**（○は１つ）**

１　週１回以上	３　年数回程度
２　月１回程度	４　その他（　　）

問９－２　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような活動をしていますか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　スポーツ・身体活動
２　文化・学習活動
３　その他（　　）

問９－３　問９で、「１」に○をした方にお伺いします。
活動の目的はなんですか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　趣味・気晴らし
２　健康づくり
３　仲間づくり
４　自己実現・技術向上
５　その他（　　）

問９－４　問９で、「２」に○をした方にお伺いします。
行っていない理由はなんですか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　やりたい活動がない
２　時間がない
３　身近に活動場所がない
４　指導者がいない
５　仲間がいない
６　興味がない
７　その他（　　）

＜子育て支援活動への参加＞

問１０　あなたは、子育て支援に関する活動をしていますか。**（○は１つ）**

１　現在、活動している ２　かつて活動したことがあるが、現在は活動していない	→問１０－１へ
３　活動したいと思っているが、活動していない	→問１０－２へ
４　活動したいと思わない	

問１０－１　問１０で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
それはどんな活動ですか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　一時保育、ショートステイなどの保育支援
２　保育園、学童クラブ等の送り迎え
３　子育てに関する相談
４　子育て情報の収集・発信
５　子育て家庭の仲間づくり
６　世代間の交流
７　児童館や保育園などでのボランティア
８　学校でのＰＴＡ・ボランティア
９　本の読み聞かせボランティア
10　自主的な教育講座、講習会の開催
11　子どもと子育て家庭を対象にした体験学習やスポーツイベントの企画・運営
12　家庭教育学級・家庭教育講座の企画・運営
13　安全で安心して遊べる公園づくり
14　プレイパーク（冒険遊び場）活動
15　非行防止などの青少年健全育成活動
16　事件や犯罪防止のための安全パトロール
17　交通安全活動
18　その他（　　）

問１０－２　問１０で、「３」に○をした方にお伺いします。
活動したいが、活動していない理由は何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　どうしたら活動できるかわからない
２　活動の場があるのは知っているが、きっかけがない
３　忙しいので活動する余裕がない
４　その他（　　）
５　わからない

＜地域連携による教育＞

問１１　新宿のまちは、学校・家庭・地域が協力して子どもの教育に取り組んでいるまちだと思いますか。**（○は１つ）**

１　そう思う	２　そう思わない	３　わからない

問１２　あなたは、地域連携による教育の一環として下記の活動等を知っていますか。
（ア～エそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

	知っている	知らない
ア　学校による授業公開や道徳授業地区公開講座の実施、学校便り等の配布による地域への情報発信	１	２
イ　登下校時のパトロールをはじめとする、子どもの安全や健全育成のための地域の方の活動	１	２
ウ　地域の事業所の方や高齢者の方による子どもの学習活動の支援のための授業への参加	１	２
エ　地域特性を活かした教育活動を展開するための教育ボランティアによる読書活動やクラブ活動の支援	１	２

基本目標Ⅲ　安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち

＜地域福祉＞

問１３　あなたは、高齢者や障害のある人などを見守り支えるための取り組みを、どのように推進していくのが良いと思いますか。**（○は１つ）**

１　地域の住民同士で協力して取り組むのが良いと思う
２　区と地域住民が協力して取り組むのが良いと思う
３　区の責任で取り組むのが良いと思う

問１４　あなたは、高齢者のための相談機関である「高齢者総合相談センター」※を知っていますか。**（○は１つ）**

１　よく知っている	２　名前は聞いたことがある	３　知らない

※「高齢者総合相談センター」は、区役所本庁舎を含め、区内に１０か所あります。

問１５　あなたやあなたの家族が自宅で療養生活（在宅療養）を送ることになった場合、どこに（誰に）相談しますか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　病院（医師、看護師等）	５　在宅医療相談窓口
２　かかりつけの診療所、クリニック	６　保健所、保健センター
３　高齢者総合相談センター	７　その他（　　）
４　居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)	８　わからない

問１６　あなたは、介護が必要になったら介護サービスをどのように利用したいと思いますか。
（○は１つ）

１　介護保険の範囲で、サービスを利用して自宅で生活したい
２　介護保険の範囲を超えても、自己負担できる程度のサービスを利用して自宅で生活したい
３　主に家族の介護を受け、介護保険サービスをあまり利用しないで自宅で生活したい
４　特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
５　有料老人ホームなどを利用したい
６　わからない

＜障害福祉＞

問１７　新宿のまちは、障害があっても積極的に社会参加しやすいまちだと思いますか。
（○は１つ）

１　そう思う→ 問１７－１へ	２　そう思わない	３　わからない

問１７－１　問１７で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような点でそう思いますか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　障害に関する正しい知識の普及啓発などが進んでいるから
２　企業などで働く障害のある人が増えているから
３　学校での障害に関する教育が進んでいるから
４　地域で障害者との交流が進んでいるから
５　障害者作品展やイベントなどが開催されているから
６　公共の施設等にエレベーターなどの設置が進んでいるから
７　公共の施設等のトイレなどが利用しやすくなっているから
８　放置自転車や路上等障害物の対策が進んでいるから
９　道路の段差などが解消されてきているから

＜生きがい＞

問１８　あなたは、現在どのようなことに生きがいを感じていますか。（○は３つまで）

１　職業・仕事	７　友人・仲間とすごすこと
２　町会・自治会・子ども会などの地域活動	８　家族との団らん
３　ボランティア活動等	９　孫や子どもの成長
４　趣味	10　親の世話や介護
５　スポーツ	11　その他（　　）
６　勉強・習い事	12　特にない

＜防災対策＞

問１９　あなたは、地震などの災害が発生した際、安全を確保するために避難する場所がどこにあるか知っていますか。
（ア～ウそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

	知っている	知らない
ア　一時（いっとき）集合場所 ※避難所や避難場所に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所（自宅付近の公園など）	1	2
イ　避難所 ※倒壊や焼失などによって、自宅での生活ができなくなった人が避難生活をする場所（小・中学校など）	1	2
ウ　避難場所 ※大震災時の大火災から生命を守るために必要なスペースのある大規模公園、緑地等をいい、都が指定している。 （新宿御苑、戸山公園一帯、新宿中央公園一帯など）	1	2

問２０　あなたのご家庭では、日ごろ防災対策をしていますか。**（○は１つ）**

1　している　→　問２０－１へ	2　していない

問２０－１　問２０で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのような対策をしていますか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

1　家具類の転倒防止
2　物が落ちないよう棚の上を整理
3　非常食や飲料水を準備
4　貴重品など持出し品の確認
5　消火器など消火機器の準備
6　懐中電灯、携帯ラジオの準備
7　救急医療品の用意
8　家族との連絡方法、集合場所の確認
9　ブロック塀などの確認
10　避難所、避難経路の確認
11　防災区民組織（町会等を母体とした組織）の行事への参加
12　その他（　　）

＜安全・安心＞

問２１　あなたは、お住まいの地域で、犯罪への不安を感じることがありますか。（○は１つ）

１　不安を感じる
２　少し感じる
→ 問２１－１へ
３　あまり感じない
４　不安を感じない
５　わからない

問２１－１　問２１で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
不安を感じる理由はなんですか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　事件に関する報道が多いから
２　近所に暗くて人通りの少ない、犯罪が発生しそうな場所があるから
３　近所や知り合いなど、身の回りに被害にあった人がいるから
４　近所で不審者を見かけることがあるから
５　自分や家族が被害にあったことがあるから
６　犯行の現場を目撃したことがあるから
７　何となく
８　その他（　　）

問２２　あなたは、犯罪の起こりにくい、安全・安心のまちにするためにどのような取り組みが有効だと思いますか。（○は３つまで）

１　住民一人ひとりの防犯意識の啓発
２　地域の見守り体制の強化
３　地域住民による自主防犯パトロール
４　防犯カメラ、防犯ベル等の設置
５　地域安全マップの作成（危険箇所の点検）
６　落書き消去活動
７　防犯講習会等への参加
８　その他（　　）
９　わからない

＜安全な消費生活＞

問２３　あなたは、悪質商法の被害防止や消費生活上のトラブル解決に対して関心がありますか。**（○は１つ）**

１　非常に関心がある	４　まったく関心がない
２　少し関心がある	５　わからない
３　あまり関心がない	

問２４　あなたは、契約のトラブルなどで困ったときに区の消費生活センターに相談できることを知っていましたか。**（○は１つ）**

１　相談できることを知っていた
２　消費生活センターがあることは知っていたが、どのようなところか知らなかった
３　消費生活センターを知らなかった

基本目標Ⅳ　持続可能な都市と環境を創造するまち

＜安全で快適な道路＞

問２５　新宿区内の道路は、安全で快適な歩きやすい道路だと思いますか。**（○は１つ）**

１　そう思う	２　そう思わない　→　問２５－１へ	３　わからない

問２５－１　問２５で、「２」に○をした方にお伺いします。
そう思わない理由はなんですか。**（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）**

１　道路が傷んでいる
２　段差や勾配がきつく使いづらい
３　道路、歩道の幅員が狭い
４　街路樹などみどりが少ない
５　放置自転車など不正な利用が多い
６　車や自転車の運転マナーが悪い
７　その他（　　）

基本目標Ⅴ　まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

＜美しいまちづくり＞

問２６　あなたは、新宿区全体のまちなみや景観は良いと思いますか。**（○は１つ）**

１　良い	４　あまり良くない
２　まあまあ良い	５　良くない
３　どちらともいえない	

問２７　あなたは、お住まいの地域のまちなみや景観は良いと思いますか。（○は１つ）

１　良い	４　あまり良くない
２　まあまあ良い	５　良くない
３　どちらともいえない	

問２８　あなたは、これからの新宿の景観づくりで、以下の中ではどれが重要だと思いますか。（○は３つまで）

１　地域のシンボルとなる建築物や樹木の保全
２　周辺環境と調和のとれた建築物の建築
３　良好な景観を先導する公共施設（道路、河川、公園など）の整備
４　まちなみと調和のとれた看板や広告物
５　行政のリーダーシップ
６　行政主体の取り組み
７　地域での良好な景観についての議論
８　専門家の研究や意見

＜地域特性をふまえたまちづくり＞

問２９　あなたは、新宿区では、地域の特性を活かして、住宅地における良好な居住環境の保全や商業地における賑わいの創出などを目指していくまちづくりが行われていると思いますか。（○は１つ）

１　そう思う	４　あまり思わない
２　まあまあ思う	５　思わない
３　どちらともいえない	

＜公園整備＞

問３０　あなたは、新宿区内の公園を利用していますか。（○は１つ）

１　利用している　→　問３０－１へ	２　利用していない　→　問３０－２へ

問３０－１　問３０で、「１」に○をした方にお伺いします。
新宿区内の公園に満足していますか。（○は１つ）

１　満足している	４　やや不満足である
２　やや満足している	５　不満足である
３　どちらともいえない	

問３０－２　問３０で、「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが公園を利用しない理由は何ですか。（○は３つまで）

１　利用する時間がない
２　近くに公園がない
３　公園が狭い
４　遊具、ベンチ等利用したい施設がない
５　安心して利用できない
６　施設が老朽化したり、汚くて使いづらい
７　禁止されている事項が多い
８　ルール、マナーを守らない利用者が多い
９　その他（　　）
10　特にない

問３１　あなたが地域の公園に望むことは何ですか。（○は３つまで）

１　清潔にしてほしい
２　明るくて安心できる場所にしてほしい
３　遊具を増やしてほしい
４　ベンチ等、ゆっくり休憩できる施設を充実してほしい
５　災害時に利用できる施設を増やしてほしい
６　お祭りなどの地域活動やイベントに利用しやすいこと
７　花壇の手入れなど公園管理に住民も参加しやすいこと
８　利用のルールを地域住民で考えられること
９　その他（　　）
10　特にない

基本目標Ⅵ　多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち
＜文化・芸術＞

問３２　あなたは、新宿区の伝統文化や文化財への関心がありますか。**（○は１つ）**

１　非常に関心がある	→ 問３２－１へ	４　あまり関心がない
２　少し関心がある		５　まったく関心がない
３　どちらともいえない		

問３２－１　問３２で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　史跡（小泉八雲終焉の地・夏目漱石誕生及び終焉の地・玉川上水跡など）
２　文化歴史施設（新宿歴史博物館・漱石山房記念館・林芙美子記念館など）
３　歴史的建造物（絵画館・早稲田大学の演劇博物館など）
４　由来のある町名（高田馬場・箪笥町など）
５　歴史的な坂や橋（神楽坂・夏目坂・面影橋・淀橋など）
６　絵画・彫刻など文化財（善国寺の毘沙門天・須賀神社の三十六歌仙絵など）
７　祭り・年中行事（高田馬場流鏑馬・萩原社中里神楽・鉄砲組百人隊行列など）
８　郷土史
９　伝説・民話（太田道灌の山吹の里・四谷怪談など）
10　伝統工芸（江戸小紋・つまみかんざしなど）
11　その他（　　）

問３３　あなたは、日頃、文化芸術の鑑賞や創作、表現活動など、文化・芸術を実際に体験する機会がありますか。**（○は１つ）**

※「文化・芸術」の範囲については、次の問３３－１の選択肢をご参照の上、回答してください。

１　よくある	→ 問３３－１へ	３　あまりない
２　まあまあある		４　まったくない

問３３－１　問３３で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
あなたが、関心があるのはどのようなものですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　クラシック音楽（オーケストラ・オペラ・合唱など）
２　ポピュラー音楽（ロック・ポップス・ジャズなど）
３　邦楽（長唄・義太夫など）
４　歌謡曲（演歌・民謡など）
５　美術（絵画・彫刻など）
６　工芸（陶芸・染色など）
７　映画・ビデオ
８　写真
９　演劇・ミュージカル
10　バレエ・ダンス
11　伝統芸能（歌舞伎・能・狂言・文楽・日本舞踊など）
12　芸能（落語・漫才・講談など）
13　華道・茶道・書道
14　文芸（文学・俳句・短歌など）
15　漫画・アニメーション
16　その他（　　）

問３４　新宿区では、特に１０月と１１月を文化月間として設定し、「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム」として区内の多彩な文化芸術イベントをガイドブックやインターネットなどで紹介しています。

あなたは、「新宿フィールドミュージアム」を知っていますか。**（○は１つ）**

１　知っている	２　聞いたことがある	３　知らない

問３５　あなたは、１０月～１１月の文化月間中に、なんらかの文化芸術イベントに参加しましたか。**（○は１つ）**

１　参加したことがある　→　問３５－１へ	２　参加しなかった

問３５－１　問３５で、「１」に○をした方にお伺いします。
どのようなジャンルの文化芸術イベントに参加しましたか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　フェスティバル（おまつり）
２　音楽
３　映画
４　演劇
５　美術
６　写真
７　ファッション
８　地域文化（まち歩きなど）
９　伝統芸能
10　その他（　　）

区政運営の目標Ⅰ　好感度一番の区役所の実現

＜しんじゅくコール（新宿区コールセンター）＞

問３６　あなたは、「しんじゅくコール」（新宿区コールセンター☎３２０９－９９９９）を知っていますか。**（○は１つ）**

１　知っている　→　問３６－１へ	２　知らない

問３６－１　問３６で、「１」に○をした方にお伺いします。
「しんじゅくコール」を利用したことはありますか。**（○は１つ）**

１　利用したことがある　→　問３６－２へ	２　利用したことはない

問３６－２　問３６－１で、「１」に○をした方にお伺いします。
オペレーターの案内は的確でしたか。**（○は１つ）**

１　的確だった	２　おおむね的確だった	３　的確ではなかった

＜区民意見を反映するしくみ＞

問３７　皆様のご意見やご要望を区政に反映するための制度、方法等の中で、あなたが知っているものは何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　投書・陳情（区長へのはがきを含む）
２　ホームページからのご意見
３　パブリック・コメント制度
４　区民意識調査
５　区政モニター制度
６　ふれあいトーク宅配便
７　対話集会「区長と話そう～しんじゅくトーク」
８　区民への地域説明会
９　フォーラム・シンポジウム
10　審議会や検討委員会
11　その他（　　）
12　知らない

次からは、平成３０年度から始まる新たな総合計画に関する内容についてお聞きします。

基本政策Ⅱ　新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

（現：基本目標Ⅱだれもが人として尊重され自分らしく成長していけるまち）

＜感染症予防＞

問３８　インフルエンザ等の感染症や食中毒を予防するための習慣として、次のようなときに流水で手洗いをしていますか。**（○は１つ）**

ア、食事の前	イ、トイレの後	ウ、外から帰った時
１　毎回している	１　毎回している	１　毎回している
２　ほぼ毎回している	２　ほぼ毎回している	２　ほぼ毎回している
３　あまりしていない	３　あまりしていない	３　あまりしていない
４　まったくしていない	４　まったくしていない	４　まったくしていない

問３９　咳・くしゃみの症状がある時、マスク等で鼻や口を覆う「咳エチケット」をしていますか。**（○は１つ）**

１　毎回している	３　あまりしていない
２　ほぼ毎回している	４　まったくしていない

問４０　あなたは、食の安全に関する正しい知識や情報を持っていると思いますか。**（○は１つ）**

１　持っている	４　あまり知識や情報はない
２　ほぼ持っている	５　わからない
３　持っていない	

問４１　あなたは、ノロウイルスによって発症する食中毒について知っていますか。**（○は１つ）**

１　知っている

２　聞いたことはあるが詳細は知らない

→ 問４１－１へ

３　知らない

問４１－１　問４１で、「１」または「２」に○をした方にお伺いします。
ノロウイルスによる食中毒の予防のために実施していることはありますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　調理の前やトイレの使用後に石けんを使ってこまめに手を洗っている
２　食品は十分に加熱調理をしてから食べるようにしている
３　塩素系漂白剤や熱湯を使って調理器具等の消毒を行っている
４　トイレを定期的に清掃・消毒している
５　特にない

基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造

（現：基本目標Ⅳ　持続可能な都市と環境を創造するまち）

＜新宿駅周辺の回遊性＞

問４２　新宿駅周辺は、歩きやすいまちと感じますか。**（○は１つ）**

１　そう思う	２　そう思わない　→　問４２－１へ	３　わからない

問４２－１　問４２で、「２」に○をした方にお伺いします。そう思う理由は何ですか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　歩行者空間が少なく、混雑している
２　駅東西・南北のネットワークが弱い
３　鉄道や道路により移動しにくい
４　駅前広場では多方面への歩行者が集中し、交錯している
５　バリアフリー対応が不十分である
６　案内サインが統一されておらず、わかりにくい
７　駅が複雑でわかりにくい
８　駅の出入口がわかりにくい
９　その他（　　）

＜環境＞

問４３　環境に配慮するために、実施していることはありますか。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

1	冷暖房の適切な温度設定など家庭での省エネ行動の推進
2	家庭用燃料電池（エネファーム）など省エネ型機器の導入
3	太陽光発電など再生可能エネルギーの活用
4	みどりのカーテンの育成など家庭の緑化
5	家庭での打ち水の実施
6	新宿の森自然体験ツアーなど環境イベントへの参加
7	環境学習情報センター等を活用した環境学習の実践
8	環境に配慮した製品の購入
9	食品ロス（※）の削減や、レジ袋の辞退などによるごみの減量
10	ごみの適正な分別の徹底によるリサイクルの推進
11	その他
12	取組みを行っていない

※　食品ロスとは、①消費期限・賞味期限が切れているため、②食べ切れずに残ったため、③調理の際に食べられる部分も過剰に除去したためなどの理由により食べられるのに廃棄される食品を指します。

基本政策Ⅲ　賑わい都市・新宿の創造

（現：基本目標Ⅵ　多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち）

＜多文化共生＞

問４４　区では、様々な国籍・民族の人々が、互いに文化の違いを認め、理解し、地域で共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。
あなたは、地域における多文化共生が進んでいると思いますか。（○は１つ）

1	そう思う	3	どちらかというとそう思わない
2	どちらかというとそう思う	4	そう思わない

問４５　あなたは多文化共生を進めていく上で、区が力を入れるべきことは何だと思いますか。
（○は３つまで）

１　日本人と外国人の交流の機会を増やす
２　日本の文化や生活情報を発信する
３　様々な国の文化や生活情報を紹介する
４　日本語学習の機会を提供する
５　日本人と外国人が意見交換する場を増やす
６　日本人と外国人による協働を増やす
７　その他（　　）
８　特にない

基本政策Ⅴ　好感度１番の区役所
（現：区政運営の基本目標Ⅰ　好感度１番の区役所の実現）

＜行政サービス＞

問４６　あなたが区役所とのかかわりの中で感じている区職員の応対や区の発行物のわかりやすさなどの印象をお答えください。
（ア～カそれぞれで、あてはまるものに１つ○をつけてください）

	そう思う	ややそう思う	そう思わない	利用していない	わからない
ア　区職員の窓口応対の印象が良かった	１	２	３	４	５
イ　区職員の電話応対の印象が良かった	１	２	３	４	５
ウ　区有施設が利用しやすく、印象が良かった	１	２	３	４	５
エ　区の広報紙などがわかりやすく、印象が良かった	１	２	３	４	５
オ　区のホームページ、ツイッター及びフェイスブックなどがわかりやすく、印象が良かった	１	２	３	４	５
カ　区職員の応対、区有施設の利用のしやすさ、区からの情報提供などのわかりやすさなど、区役所に対して印象が良いと感じた。	１	２	３	４	５

―― 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ――

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、次ページ以降の回答者の属性もご記入ください。
※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはございません。

回 答 者 の 属 性

問ア　あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（○は１つ）

１　四谷	６　戸塚
２　箪笥町	７　落合第一
３　榎町	８　落合第二
４　若松町	９　柏木
５　大久保	10　角筈・区役所

問イ　性別をお答えください。（○は１つ）

１　男性	２　女性

問ウ　あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（○は１つ）

１　１８～１９歳	８　５０～５４歳
２　２０～２４歳	９　５５～５９歳
３　２５～２９歳	10　６０～６４歳
４　３０～３４歳	11　６５～６９歳
５　３５～３９歳	12　７０～７４歳
６　４０～４４歳	13　７５～７９歳
７　４５～４９歳	14　８０歳以上

問エ　あなたのご職業を、次の中からお選びください。（○は１つ）

１　会社員・団体職員
２　会社役員・団体役員
３　パート・アルバイト、非常勤、嘱託、派遣など　→　問エ－１へ
４　自営業、自由業（開業医、弁護士、司法書士なども含む）
５　学生
６　専業主婦・主夫
７　無職
８　その他（　　）

問エ－１　問エで、「１」～「５」に○をした方にお伺いします。現在のあなたの職場・学校はどこにありますか。**（○は１つ）**

１　新宿区内	２　新宿区外

問オ　現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

１　子
２　妻または夫
３　親
４　祖父母
５　孫
６　兄弟姉妹
７　その他（　　）
８　ひとり暮らし

１～７の方は、
→　問オ－１～問オ－２へ

問オ－１　問オで、「１」～「７」に○をした方にお伺いします。同居している人は、あなたを除いて全員で何人ですか。
【　　】の中に人数を記入してください。

同居している人は、あなた＋【　　】人

問オ－２　問オで、「１　子」に○をした方にお伺いします。同居している子の就学状況は、次のどれにあてはまりますか。**（○は１つ）**

１　一番上の子が小学校入学前	３　一番上の子が高・大学生
２　一番上の子が小・中学生	４　一番上の子が学校を卒業

問カ　あなたは新宿区に住んで何年になりますか。**（○は１つ）**

１　１年未満	５　１０年以上２０年未満
２　１年以上３年未満	６　２０年以上３０年未満
３　３年以上５年未満	７　３０年以上
４　５年以上１０年未満	

問キ　現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。（○は１つ）

一戸建て	集合住宅
１　持ち家の一戸建て ２　賃貸の一戸建て ３　社宅・公務員官舎の一戸建て ４　その他（　　）	５　分譲マンション・アパート （自己所有のものを含む） ６　賃貸マンション・アパート ７　賃貸の UR 都市機構（旧公団） ・公社のマンション・アパート ８　賃貸の都営・区営住宅 ９　社宅・公務員官舎 10　その他（　　）

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

整理票を取り外さず、

１２月２６日（火）までに、ご返送ください。

（返送・問合せ先）
〒160-8484　新宿区歌舞伎町１－４－１
新宿区総合政策部　区政情報課　広聴係
電話　　０３－５２７３－４０６５（直通）
ＦＡＸ　０３－５２７２－５５００
E-mail　kuseijoho@city.shinjuku.lg.jp

平成 29 年度第４回新宿区区政モニターアンケート

平成 30 年 3 月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町１－４－１

電話（０３）５２７３－４０６５（直通）

印刷物作成番号
２０１７－３８－２１０６

この印刷物は、業者委託により 1,320 部印刷製本しています。その経費として、1 部あたり 226 円（税込み）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。
本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用